

# 安城市市民アンケート調査報告書

平成30年3月



## 目次

|      |                               |    |
|------|-------------------------------|----|
| I.   | 調査概要                          |    |
| 1    | 調査の目的                         | 1  |
| 2    | 調査対象及び調査方法                    | 2  |
| 3    | 調査票の回収状況                      | 2  |
| 4    | 調査項目                          | 2  |
| 5    | 報告書の見方                        | 3  |
| 6    | 居住地区区分                        | 3  |
| II.  | 調査対象者（回答者）の属性                 |    |
| 1    | 調査対象者（回答者）の属性                 | 5  |
| III. | 調査結果                          |    |
| 1    | 住みやすさについて                     | 11 |
| 2    | 安城市の取組みについての評価                | 17 |
| 1.   | 評価分析方法                        | 17 |
| 2.   | 満足度                           | 18 |
| 3.   | 重要度                           | 37 |
| 4.   | 満足度評価平均得点と重要度評価平均得点の関係分布      | 56 |
| 3    | 日常生活について                      | 59 |
| 1.   | 健康状態について                      | 59 |
| 2.   | 健康のために実践していること                | 60 |
| 3.   | 1日の歩行時間                       | 61 |
| 4.   | 「健康寿命」の認知                     | 63 |
| 5.   | スポーツ・運動の頻度                    | 65 |
| 6.   | 外出先への移動手段                     | 67 |
| 7.   | 今後の公共交通や自転車の利用                | 69 |
| 8.   | 安城市の文化や芸術への愛着や誇り              | 71 |
| 9.   | デンパークの満足度                     | 74 |
| 10.  | 子育て中の人への就労環境の整備               | 76 |
| 11.  | 消費生活に関する相談体制                  | 78 |
| 12.  | 自治基本条例の認知度                    | 80 |
| 13.  | マイナンバーでの証明書等コンビニ交付サービスの利用予定状況 | 81 |
| 14.  | 「健幸」の認知度                      | 84 |
| 15.  | 「健幸」のために普段から心掛けていること          | 85 |
| 4    | 自由記入意見のまとめ                    | 88 |
| 1.   | 自由記入意見の内訳                     | 88 |
| 2.   | 主な意見                          | 89 |



## I. 調査概要



# 1 調査の目的

安城市では、平成28年に第8次安城市総合計画（平成28年度（2016年度）～平成35年度（2023年度））を策定し、目指す都市像「幸せつながる健幸都市 安城」の実現に向け、あらゆる施策分野に健康の視点を取り入れ、安城市の特性を活かした個性あるまちづくりを進めています。

＜総合計画とは？＞

総合計画とは、安城市のまちづくりを進める上で最も重要な基本となる計画で、市が目指すまちづくりの方向性やそれを実現するために取り組むべきことを定めた計画です。

第8次安城市総合計画は、「幸せつながる健幸都市 安城」をテーマに次の5つの要素について目標とするまちの姿を掲げ、具体的な施策や事業を推進しています。



| ＜5つの要素と目標とするまちの姿＞ |                        |
|-------------------|------------------------|
| 「健康」              | 生涯にわたり心身ともに健康にすごせるまち   |
| 「環境」              | くらしの質を高める持続可能なまち       |
| 「経済」              | 地域の魅力、潤いと活力あふれるまち      |
| 「きずな」             | 人々が優しくつながり、支え合う安全安心なまち |
| 「こども」             | 子どもたちを社会で豊かに育むまち       |

「第8次安城市総合計画」は市公式ウェブサイトで見ることができます。

市公式ウェブサイト <http://www.city.anjo.aichi.jp/>

本調査は、第8次安城市総合計画における目指す都市像「幸せつながる健幸都市 安城」の実現に向けて各取組みを進める中、市民の生活意識や市政の各取組みに対する満足度、重要度を把握することにより、計画の進捗状況の把握や今後の取組みへの基礎資料を得ることを目的とします。

## 2 調査対象及び調査方法

- ・調査地域：安城市全域
- ・調査対象：市内在住の18歳以上の男女
- ・標本数：3,000人
- ・抽出方法：無作為抽出法
- ・調査方法：郵送配布、郵送回収
- ・調査時期：平成29年11月7日（火）～平成29年11月27日（月）

## 3 調査票の回収状況

|       |        |
|-------|--------|
| 配布数   | 3,000件 |
| 回収数   | 1,745件 |
| 回収率   | 58.2%  |
| 有効回答数 | 1,745件 |
| 有効回収率 | 58.2%  |

※回収数は無効回答（調査票への記載が全くなかったもの等）を含めた回収数。有効回答数は無効回答を除いた回収数。本調査では無効回答が無かったため、回収数と有効回答数が同数となっています。

## 4 調査項目

| 調査項目                   |
|------------------------|
| 1. 調査対象者（回答者）の属性       |
| 2. 安城市の住みやすさについて       |
| 3. これまでの安城市の取組みに対する満足度 |
| 4. 今後、安城市が取り組むことの重要性   |
| 5. 日常生活について            |



## 5 報告書の見方

- ・図表中の「n」はアンケートの有効回答数を示しています。
- ・回答率（％）は、その質問の回答者数を母数（n）として算出しています。
- ・比率はすべて百分率（％）で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。そのため比率の合計が100.0％にならないこともあります。
- ・複数回答が可能な質問では、比率算出の基数は回答者数とし、その項目を選んだ人が全体からみて何％なのかという見方をしています。そのため、各項目の比率の合計は通常100.0％を超えます。
- ・本報告書の表の見出し及び文章中での回答選択肢の表現は、趣旨が変わらない程度に簡略化して掲載している場合があります。

## 6 居住地区区分

市民アンケートを分析するにあたり、居住地区については「中学校区（全8区分）」を単位に分析しました。

図表1 居住地区区分





## II. 調査対象者（回答者）の属性



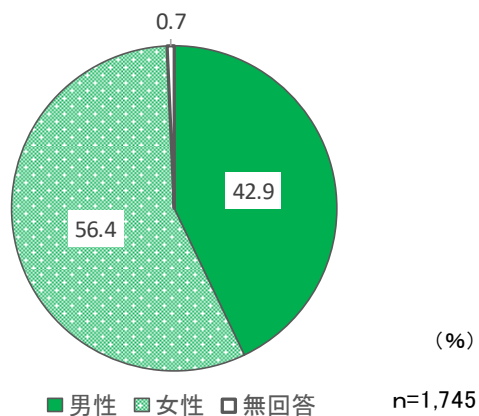
# 1 調査対象者（回答者）の属性

## 1. 調査対象者（回答者）の性別

回答者の性別は、「男性」が 42.9%、「女性」が 56.4%となっています。

図表 2 性別

| カテゴリー名 | n     | %     |
|--------|-------|-------|
| 男性     | 749   | 42.9  |
| 女性     | 984   | 56.4  |
| 無回答    | 12    | 0.7   |
| 調査数    | 1,745 | 100.0 |



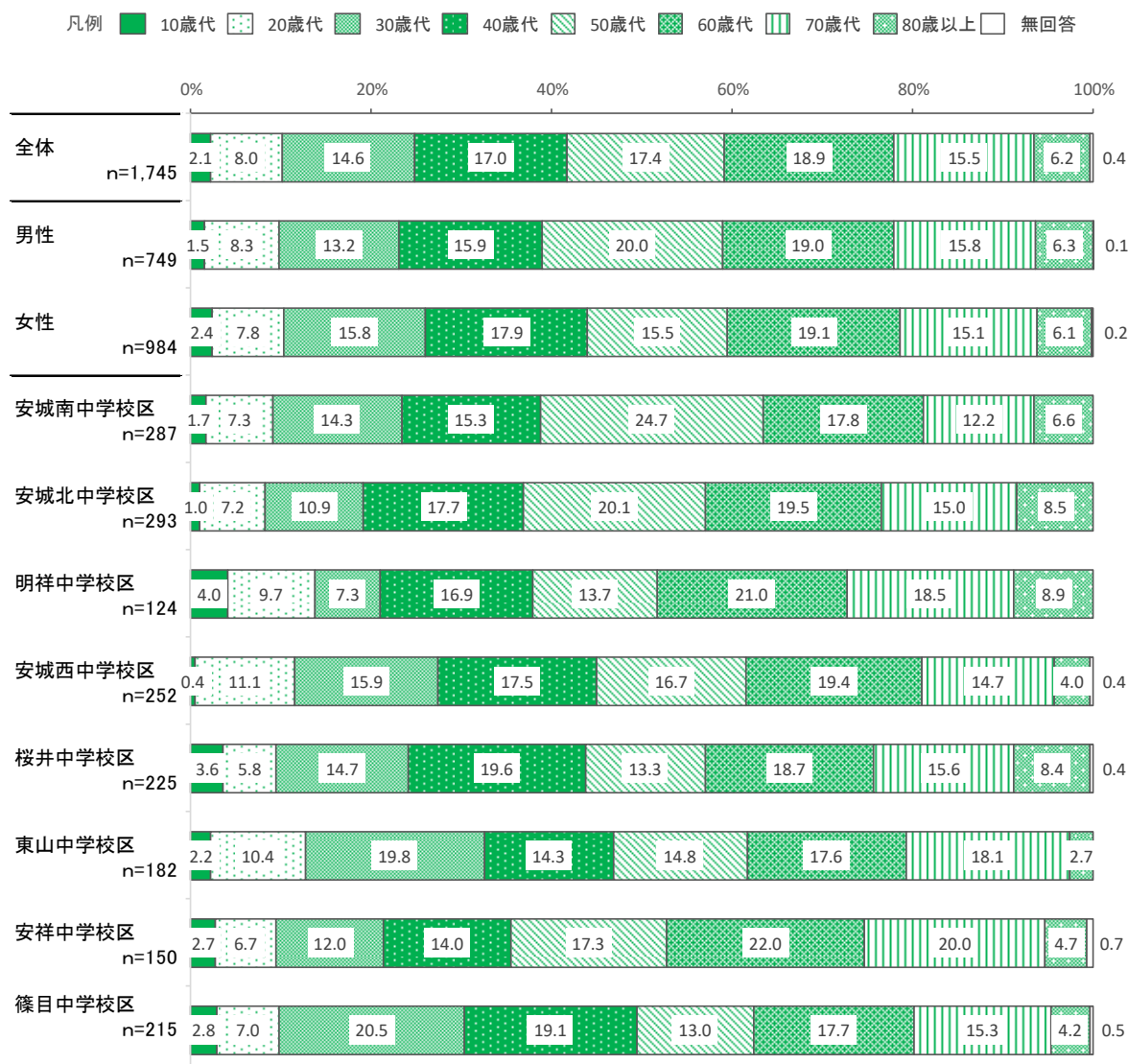
## 2. 調査対象者（回答者）の年齢

回答者の年齢について、全体でみると、「60歳代」が18.9%で最も高く、次いで「50歳代」（17.4%）、「40歳代」（17.0%）となっています。

性別でみると、男性は「50歳代」（20.0%）、「60歳代」（19.0%）、女性は「60歳代」（19.1%）、「40歳代」（17.9%）の順になっています。

居住地区別でみると、安城南中学校区・安城北中学校区では「50歳代」（24.7%・20.1%）、明祥中学校区・安城西中学校区・安祥中学校区では「60歳代」（21.0%・19.4%・22.0%）、桜井中学校区では40歳代（19.6%）、東山中学校区・篠目中学校区では「30歳代」（19.8%・20.5%）がそれぞれ最も高くなっています。

図表3 年齢（全体・性・居住地区別）



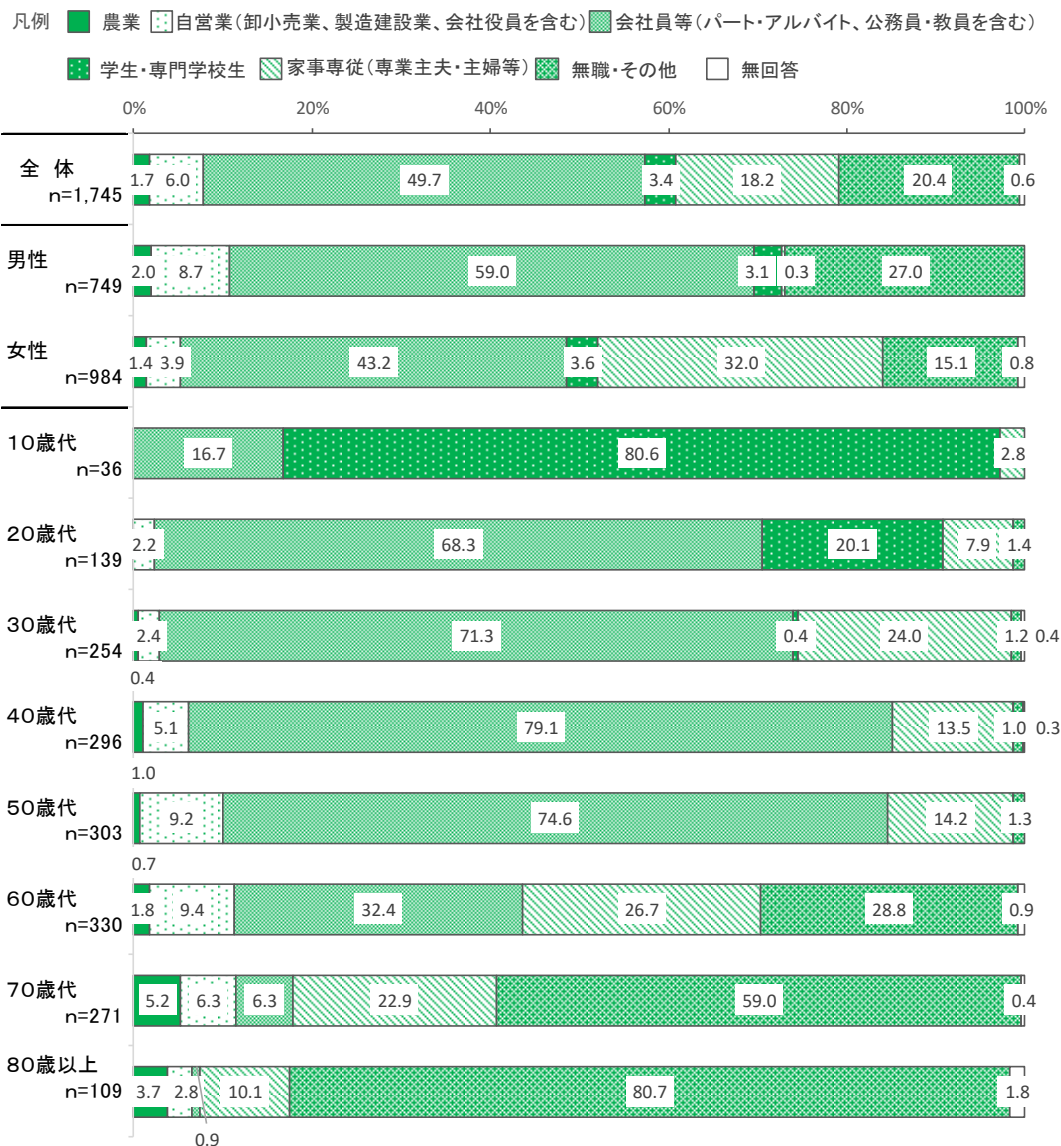
### 3. 調査対象者（回答者）の職業

回答者の職業について、全体でみると、「会社員等（パート・アルバイト、公務員・教員を含む）」が49.7%で最も高く、次いで「無職・その他」（20.4%）、「家事専従（専業主夫・主婦等）」（18.2%）となっています。

性別でみると、男性は「会社員等（パート・アルバイト、公務員・教員を含む）」（59.0%）、「無職・その他」（27.0%）、女性は「会社員等（パート・アルバイト、公務員・教員を含む）」（43.2%）、「家事専従（専業主夫・主婦等）」（32.0%）の順となっています。

年齢別でみると、20歳代～50歳代では「会社員等（パート・アルバイト、公務員・教員を含む）」が最も高く、6割以上となっています。10歳代では「学生・専門学校生」（80.6%）、70歳代・80歳以上では「無職・その他」（59.0%、80.7%）が最も高くなっています。

図表4 職業（全体・性・年齢別）

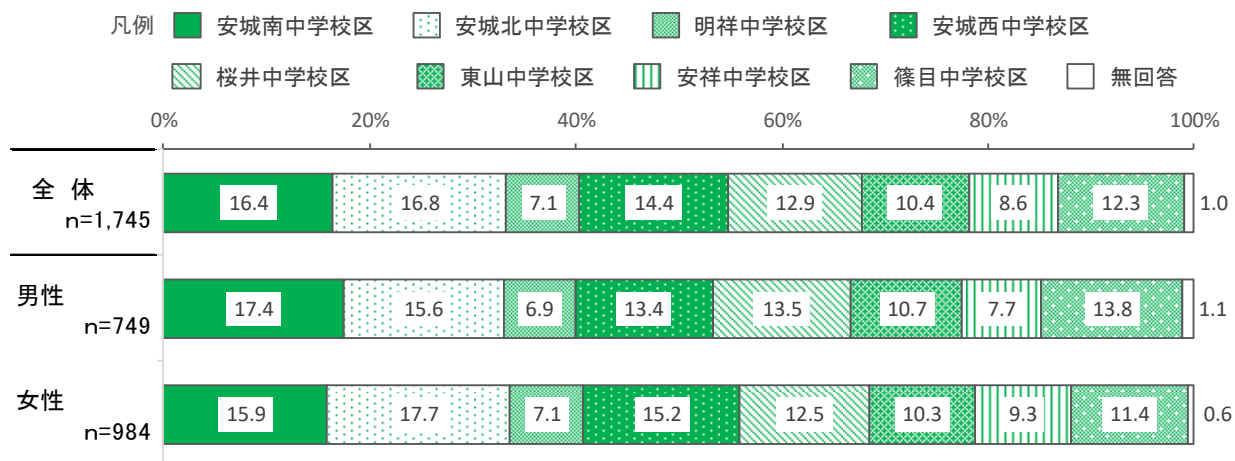


## 4. 調査対象者（回答者）の居住地区（中学校区）

居住地区について、全体でみると、「安城北中学校区」が16.8%で最も高く、次いで「安城南中学校区」（16.4%）、「安城西中学校区」（14.4%）となっています。

性別による大きな差はみられません。

図表5 居住地区（中学校区）（全体・性別）



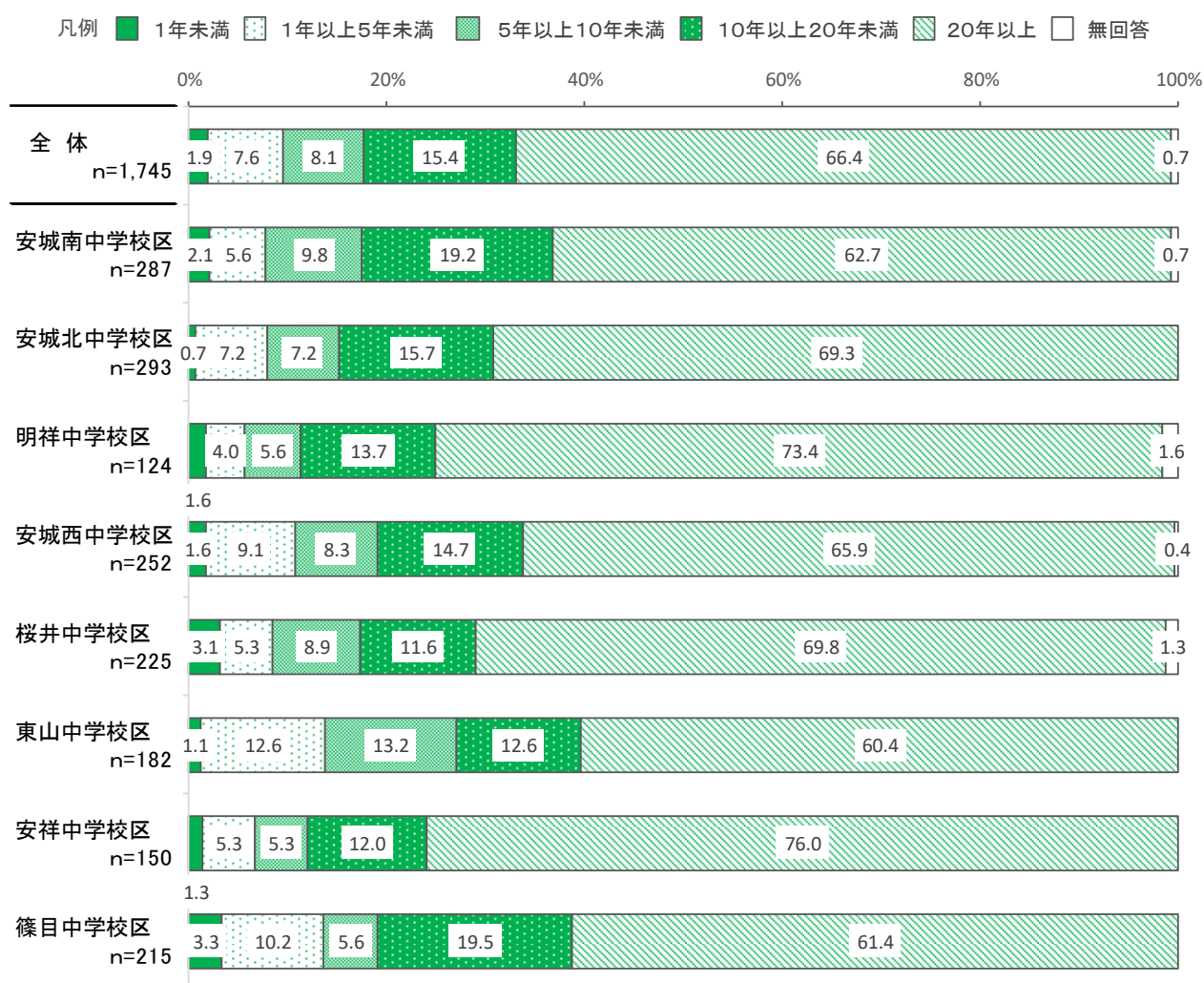


## 5. 調査対象者（回答者）の居住年数（通算年数）

居住年数について、全体でみると、「20年以上」が66.4%と最も高く、次いで「10年以上20年未満」が15.4%となっています。“10年以上”（「10年以上20年未満」+「20年以上」）が8割以上（81.8%）となっています。

居住地区別でみると、すべての中学校区において「20年以上」が最も高くなっています。

図表6 居住年数（居住地区別）





### III. 調查結果



# 1 住みやすさについて

## 1. 住みやすさ

問2 安城市の住みやすさについて、次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

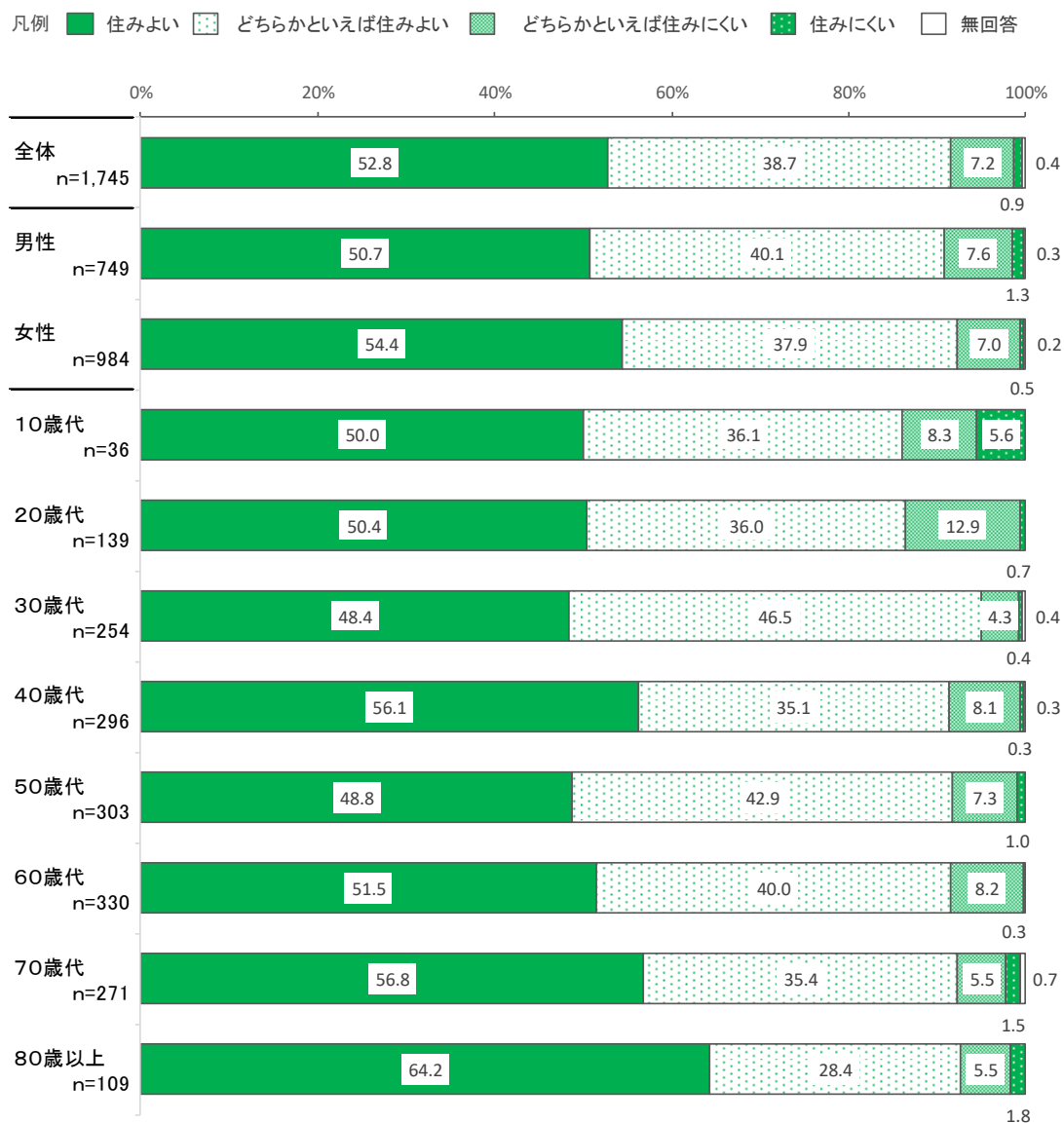
安城市の住みやすさについて、全体でみると、「住みよい」が 52.8%と最も高く、次いで「どちらかといえば住みよい」が 38.7%と、9割以上（91.5%）の人が“住みやすい”（「住みよい」＋「どちらかといえば住みよい」）としています。

一方、「住みにくい」（0.9%）と「どちらかといえば住みにくい」（7.2%）を合わせた“住みにくい”とした人は 8.1%と1割未満となっています。

性別でみると、“住みやすい”（「住みよい」＋「どちらかといえば住みよい」）とした人は、男性では 90.8%、女性では 92.3%となっています。

年齢別でみると、30歳代以上では9割以上が“住みやすい”（「住みよい」＋「どちらかといえば住みよい」）と感じており、中でも30歳代は 94.9%と最も高くなっています。なお、「住みよい」とした人の割合は80歳以上が最も高く、64.2%となっています。

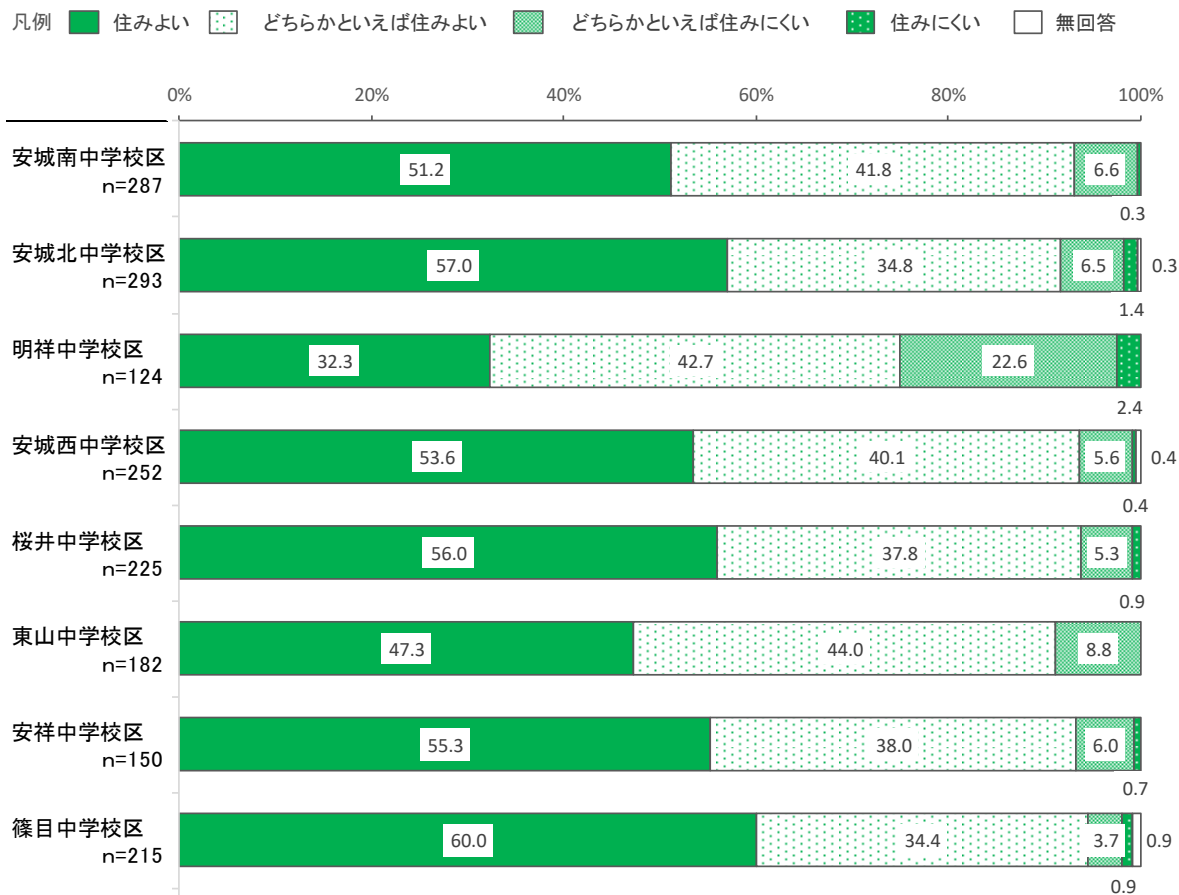
図表 7 住みやすさ（全体・性・年齢別）



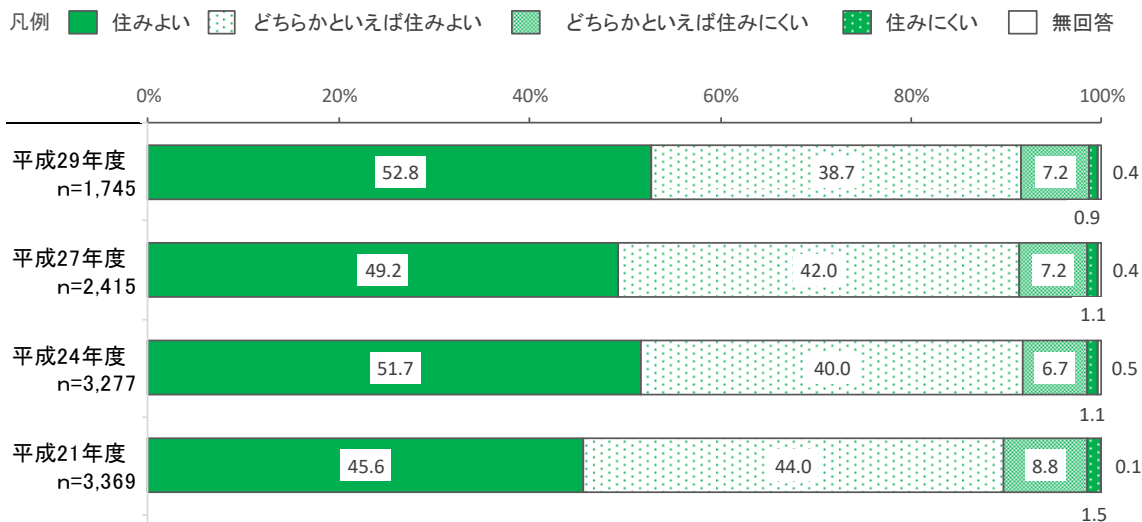
居住地区別の「住みよい」とした人の割合は、篠目中学校区が 60.0%と最も高く、次いで安城北中学校区が 57.0%となっています。明祥中学校区では「住みよい」とした人の割合が 32.3%と他の中学校区と比べて低く、「どちらかというに住みにくい」とした人の割合が 22.6%と高くなっています。“住みやすい”（「住みよい」＋「どちらかといえば住みよい」）とした人の割合は、明祥中学校区を除くすべての中学校区において 9 割以上となっています。

過去に実施した調査と比較すると、平成 27 年度調査と比べて「住みよい」とした人の割合は 3.6 ポイント増加している一方、「どちらかといえば住みよい」とした人の割合は 3.3 ポイント減少しましたが、総合的には“住みやすい”とした人の割合は 0.3 ポイント増加し、“住みにくい”とした人の割合は 0.2 ポイント減少しています。

図表 8 住みやすさ（居住地区別）



図表 9 住みやすさ（過去に実施した調査との比較）



※平成 21 年度～平成 27 年度に実施された調査では調査票を 6,000 通配布

## 2. 住みにくい理由

問3 問2で「3 どちらかといえば住みにくい」または、「4 住みにくい」と回答した人におたずねします。住みにくいと思う点について、次の中から2つ選んで、番号に○をつけてください。

住みにくい理由について、全体でみると、「交通の便が悪い」が49.6%で最も高く、次いで「日常の買い物が不便である」(28.4%)、「娯楽施設が少ない」(14.2%)の順となっています。

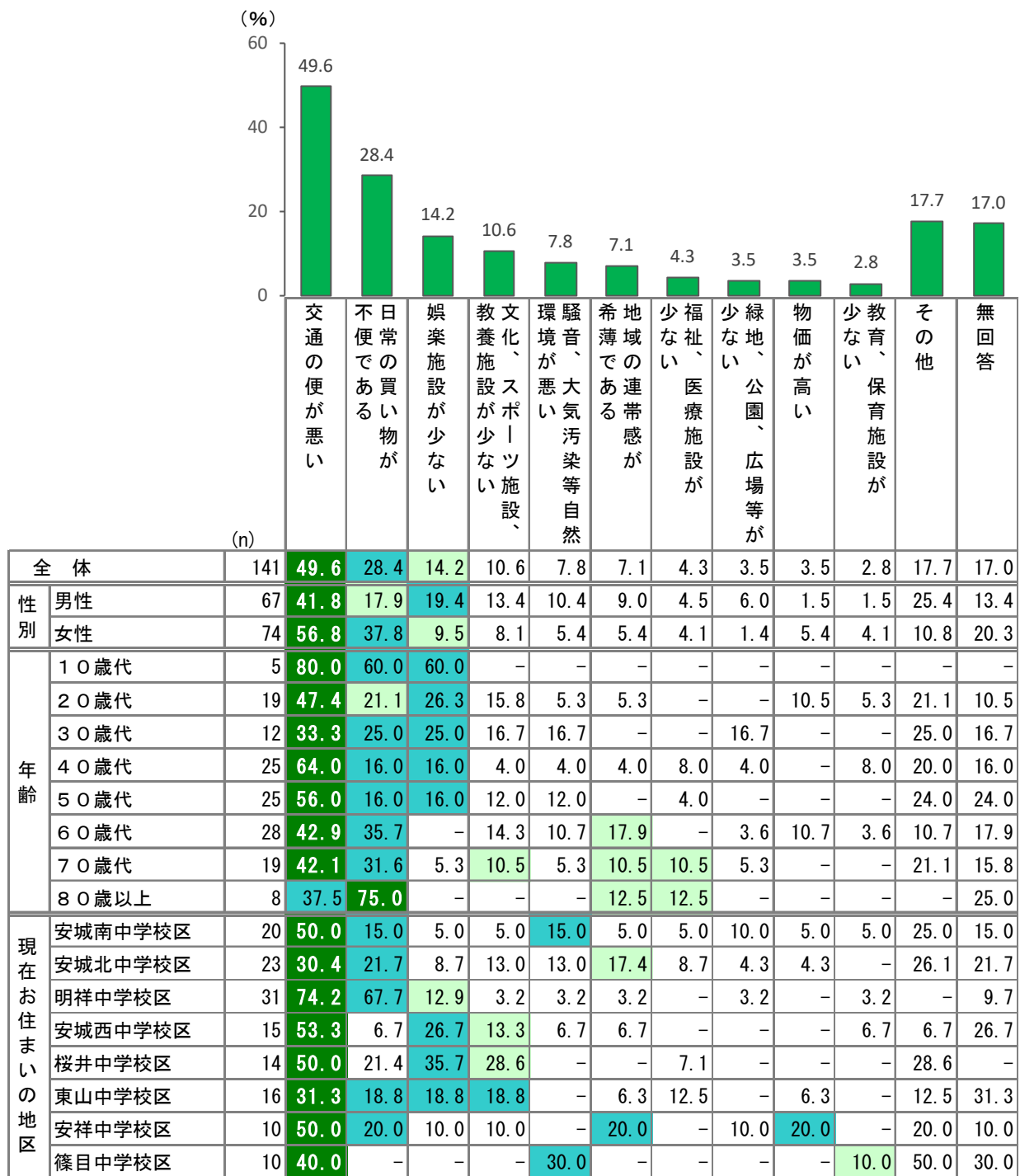
性別でみると、男女ともに「交通の便が悪い」(41.8%、56.8%)が最も高くなっています。男性では、次いで「娯楽施設が少ない」(19.4%)、「日常生活の買い物が不便である」(17.9%)となっています。一方、女性では、「日常生活の買い物が不便である」(37.8%)、「娯楽施設が少ない」(9.5%)の順となっています。「娯楽施設が少ない」は男性の方が9.9ポイント高く、「日常生活の買い物が不便である」は女性の方が19.9ポイント高くなっています。

年齢別でみると、10歳代～70歳代では「交通の便が悪い」が最も高く、80歳以上では「日常生活の買い物が不便である」が最も高くなっています。

居住地区別でみると、すべての中学校区で「交通の便が悪い」が最も高くなっています。特に、明祥中学校区では74.2%と他の中学校区と比べて高い割合となっています。



図表 10 住みにくい理由（全体・性・年齢・居住地区別）

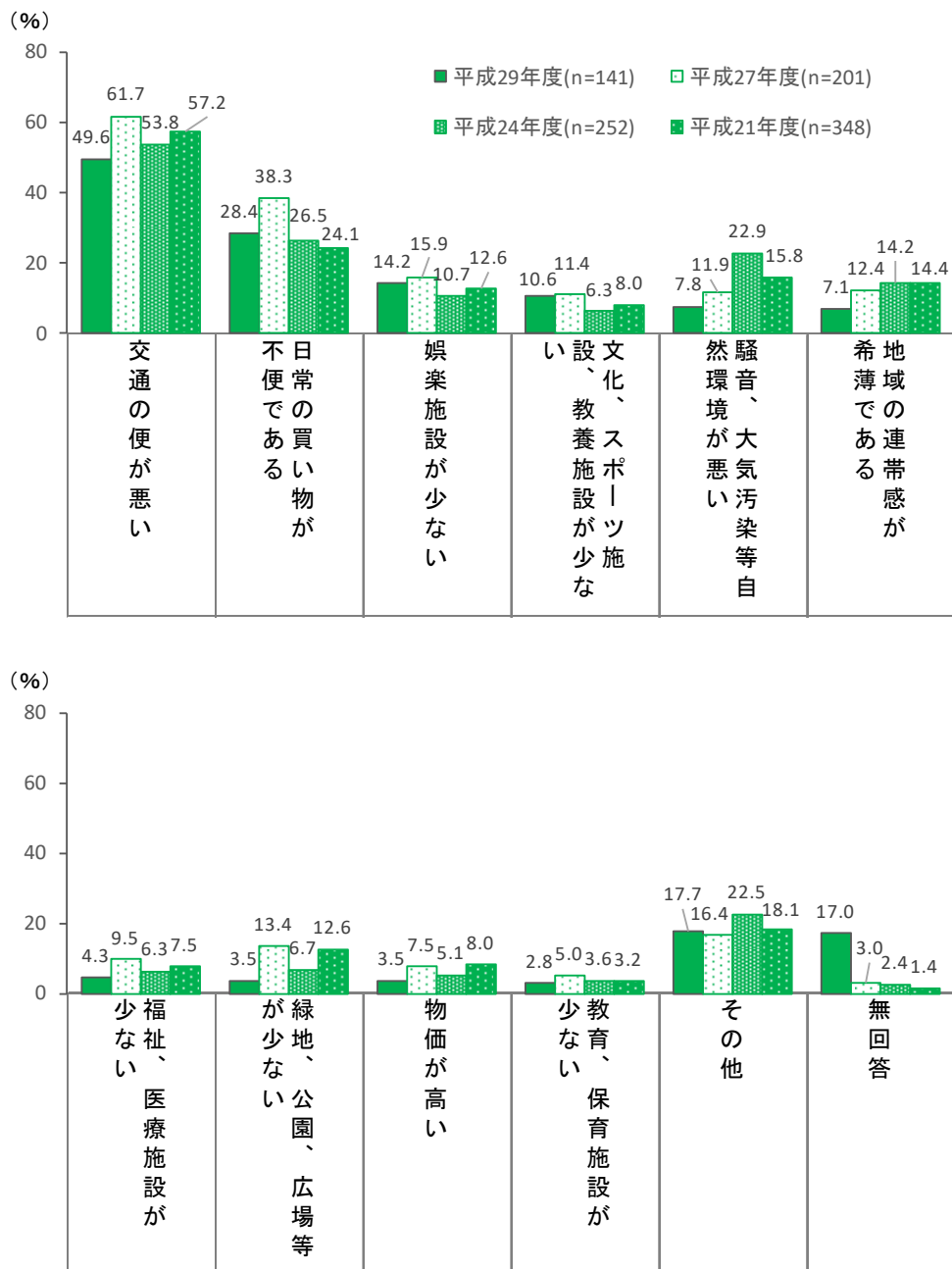


<「その他」の回答>

- 道路が狭い、渋滞が多い、交通マナーが悪い
- 外食できる店が駅前にかたまっており不便、大型の商業施設がない
- ゴミ出しが不便 等

過去に実施した調査と比較すると、平成27年度調査と比べて「その他」を除くすべての項目において減少していますが、特に「交通の便が悪い」が12.1ポイント、「日常の買い物が不便である」が9.9ポイント、「緑地、公園、広場等が少ない」が9.9ポイントと大きく減少しています。住みにくい理由として最も多く挙げられている「交通の便が悪い」は平成21年度調査から最も低い割合となりました。

図表11 住みにくい理由（過去に実施した調査との比較）



## 2 安城市の取組みについての評価

### 1. 評価分析方法

#### 1) 評価の算出方法

安城市の取組みの満足度・重要度について、「健康」「環境」「経済」「きずな」「こども」に「行財政運営」を加えた6分野23項目に対して、以下の表のように評価得点をつけ、満足度および重要度の評価平均得点を算出しました。ここでは、“満足している”（「非常に満足」、「満足」、「やや満足」）や“重要である”（「非常に重要」、「重要」、「まあ重要」）というプラス要素に、“不満である”（「非常に不満」、「不満」、「やや不満」）や“重要でない”（「全く重要でない」、「重要でない」、「あまり重要でない」）というマイナス要素を加味し、各施策に対する相対的な評価を行いました。

#### ① 評価得点

図表 1 2 評価得点

| 満足度   | 得点 | 重要度      | 得点 |
|-------|----|----------|----|
| 非常に満足 | 3  | 非常に重要    | 3  |
| 満足    | 2  | 重要       | 2  |
| やや満足  | 1  | まあ重要     | 1  |
| やや不満  | -1 | あまり重要でない | -1 |
| 不満    | -2 | 重要でない    | -2 |
| 非常に不満 | -3 | 全く重要でない  | -3 |

#### ② 評価平均得点の算出方法

1人1項目あたりの評価得点分析は、+3～-3の範囲となり、この評価得点全体の平均を算出し、それぞれの評価の指標としました。

算出された評価平均得点は+3に近いほど満足（重要）であることを表し、-3に近いほど不満（重要でない）であることを表しています。

<満足度評価平均得点の算出式>

$$\frac{\text{「非常に満足」} \times 3 + \text{「満足」} \times 2 + \text{「やや満足」} \times 1 + \text{「やや不満」} \times (-1) + \text{「不満」} \times (-2) + \text{「非常に不満」} \times (-3)}{\text{「わからない」} \cdot \text{「無回答」を除く有効回答者数}}$$

※重要度についても「 」内を置き換えて算出

## 2. 満足度

次の事項（問4～問26）に対する安城市の取組みについて、あなたの評価をしてください。

ア【満足度】これまでの安城市の取組みについて、どれくらい満足していますか。

それぞれ1～7のいずれか1つに○を付けてください。

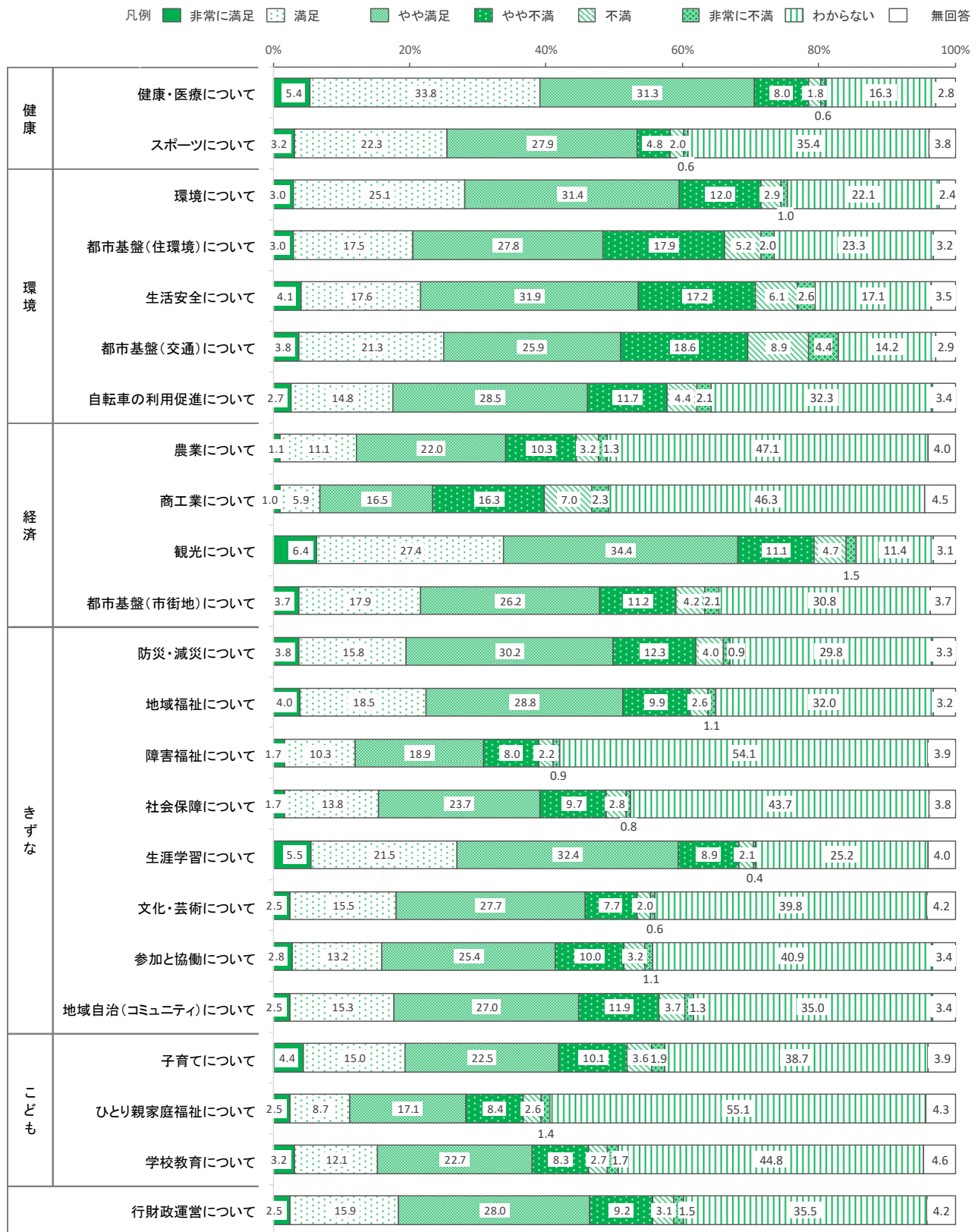
### 1) 全体評価

＜満足度の割合＞

項目別に満足度の割合をみると、“満足”（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）が最も高い項目は「健康・医療について」（70.5％）となっています。次いで、「観光について」（68.2％）、「環境について」（59.5％）の順となっています。

一方、“不満”（「非常に不満」＋「不満」＋「やや不満」）が最も高い項目は、「都市基盤（交通）について」（31.9％）であり、次いで「生活安全について」（25.9％）、「商工業について」（25.6％）となっています。

図表 1 3 安城市の取組みの満足度の割合



(n=1, 745)

#### <評価平均得点>

安城市の取組みにおける満足度の評価平均得点の平均値は、0.74 となっています。

分野別では、「健康」が 1.22 と最も高く、次いで「きずな」が 0.82、「行財政運営」が 0.79 となっています。

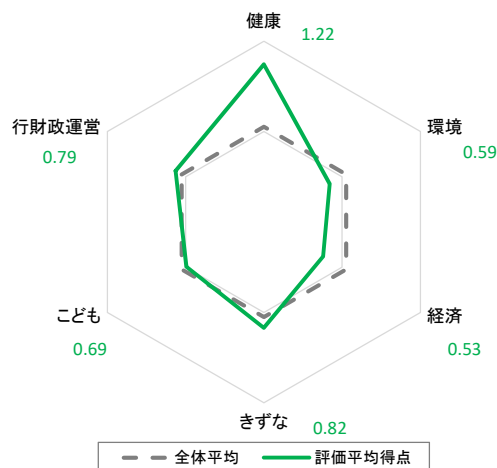
項目別にみると、満足度がプラスになっている項目は、合計 22 項目あり、満足度の高い項目から順に「健康・医療について」(1.26)、「スポーツについて」(1.18)、「生涯学習について」(1.10)、「観光について」(0.97)、「文化・芸術について」(0.94) となっています。

一方、満足度がマイナスになっている項目は、1 項目で「商工業について」(-0.12) です。「商工業について」は“満足”（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）が 23.4%と 23 項目の中で最も低く、“不満”（「非常に不満」＋「不満」＋「やや不満」）が 25.6%で 23 項目のうち 3 番目に高い値になっています。また“満足”よりも“不満”の割合が高いことから、評価平均得点がマイナスになっています。

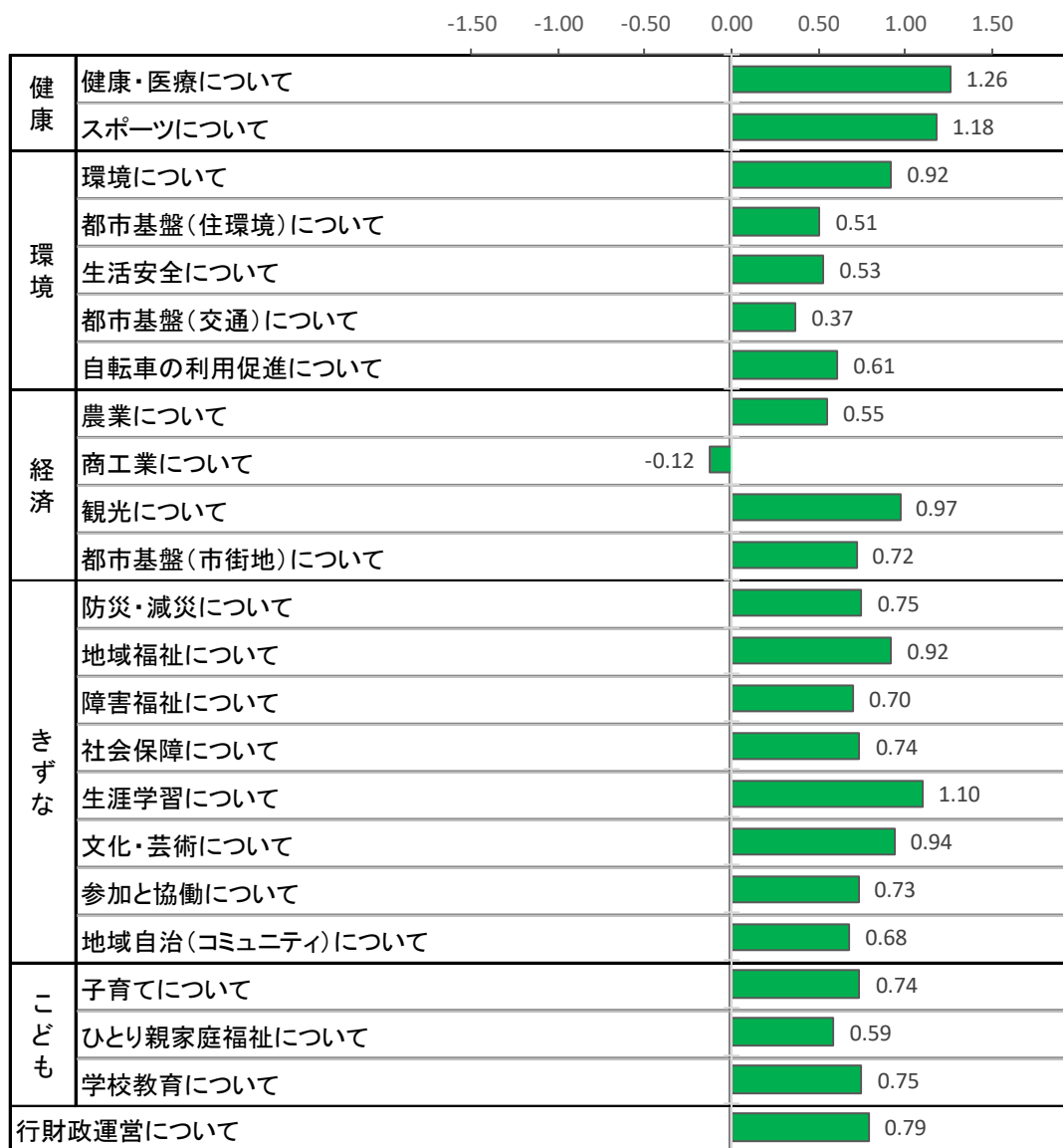
他に「都市基盤（交通）について」(0.37)、「都市基盤（住環境）について」(0.51)、「生活安全について」(0.53)、「農業について」(0.55) が満足度の低い項目となっています。

図表 1 4 分野別満足度評価平均得点

|           | 全体平均 | 健康   | 環境   | 経済   | きずな  | こども  | 行財政運営 |
|-----------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 満足度評価平均得点 | 0.74 | 1.22 | 0.59 | 0.53 | 0.82 | 0.69 | 0.79  |



図表 15 項目別満足度評価平均得点



## 2) 分野別評価

### ① 健康

| 施策項目      | 主な取組み                                                                                                                                  |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 健康・医療について | <ul style="list-style-type: none"> <li>健康診査、がん検診、乳幼児健診の実施</li> <li>ウォーキングイベントの開催、あんじょう健康マイレージ事業の実施</li> <li>休日夜間急病診療所の運営</li> </ul>    |
| スポーツについて  | <ul style="list-style-type: none"> <li>陸上競技場のフィールド内の全天候舗装張替え、人工芝化</li> <li>安城シティマラソン、デンパーク駅伝の開催</li> <li>おはよう！ふれあいラジオ体操会の開催</li> </ul> |

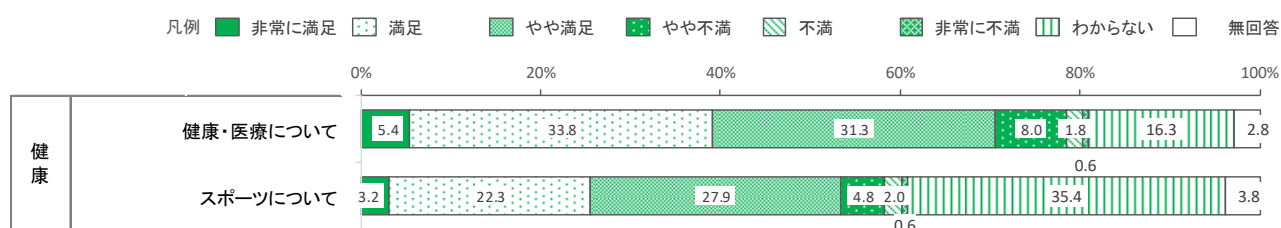
健康分野について、満足度の割合をみると、“満足”（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）は「健康・医療について」が70.5%、「スポーツについて」は53.4%となっています。

評価平均得点を全体でみると、2項目ともにプラスの評価となっています。

性別でみると、「健康・医療について」、「スポーツについて」ともに、女性（1.33、1.30）が男性（1.16、1.04）よりも高くなっています。

年齢別でみると、20歳代～40歳代は「健康・医療について」よりも「スポーツについて」の満足度が高い一方で、10歳代と50歳代以上は「健康・医療について」の満足度が高くなっています。

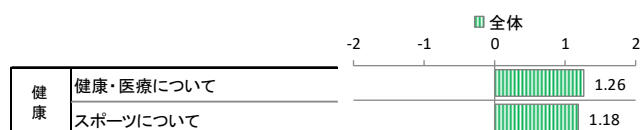
図表16 健康の満足度の割合



(n=1,745)

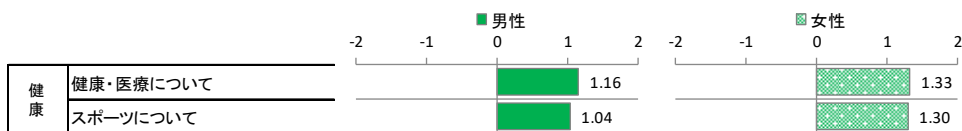
図表17 健康の評価平均得点（全体・性・年齢別）

<全体>

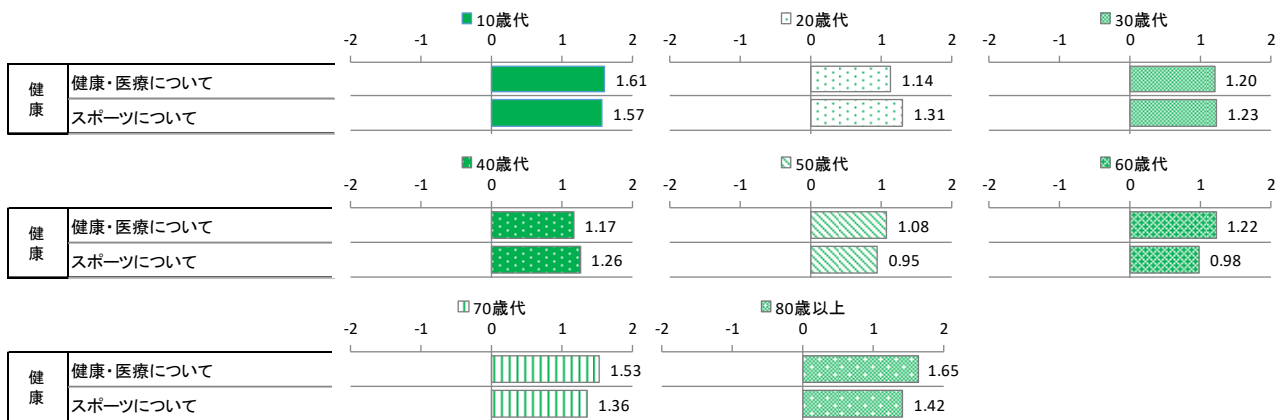




<性別>



<年齢別>



## ② 環境

| 施策項目          | 主な取組み                                                                                                                                               |
|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 環境について        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートハウス普及促進設備*1の設置補助</li> <li>・次世代自動車*2の購入補助</li> <li>・ごみの減量・分別に対する取り組み</li> </ul>                          |
| 都市基盤（住環境）について | <ul style="list-style-type: none"> <li>・公園遊具の計画的な更新</li> <li>・下水道の計画的な整備</li> <li>・適切な管理がされていない空き家の対策</li> </ul>                                    |
| 生活安全について      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や学校等での防犯・交通安全教室の開催</li> <li>・防犯灯・防犯カメラの設置</li> <li>・交通安全・防犯の啓発活動</li> </ul>                               |
| 都市基盤（交通）について  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・あんくるバスの運行拡充（循環線の増便、他市への乗り入れ等）</li> <li>・安城駅、新安城駅のバリアフリー化（エレベーターの設置）</li> </ul>                              |
| 自転車の利用促進について  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車走行空間（デンパーク南、総合運動公園南等）の整備</li> <li>・自転車購入補助、TS マーク*3取得補助</li> <li>・自転車啓発イベント（サイクリング、自転車教室等）の実施</li> </ul> |

**\*1 スマートハウス普及促進設備**：太陽光発電設備、燃料電池、蓄電池、HEMS（ホームエネルギーマネジメントシステム）、住宅用次世代自動車充給電システム

**\*2 次世代自動車**：燃料電池車（FCV）、電気自動車（EV）、プラグインハイブリット車（PHV）、超小型電気自動車（LEV）

**\*3 TS マーク**：自転車安全整備士が点検整備した自転車に貼付されるもので、傷害保険と賠償責任保険が付帯されている

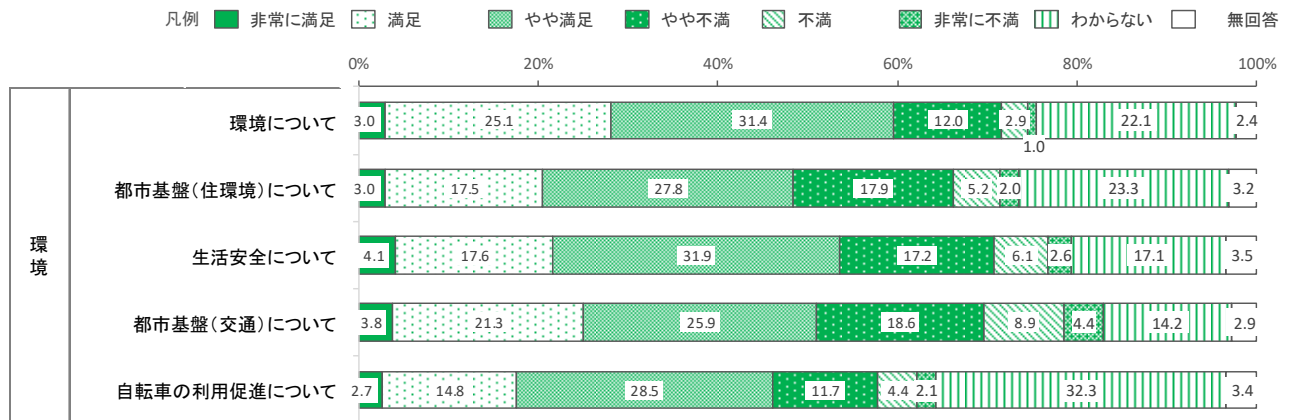
環境分野について、満足度の割合をみると、“満足”（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）は「環境について」が 59.5%、「都市基盤（住環境）について」は 48.3%、「生活安全について」は 53.6%、「都市基盤（交通）について」は 51.0%、「自転車の利用促進について」は 46.0%となっています。

評価平均得点を全体でみると、5項目すべてプラスの評価となっています。「環境について」（0.92）が最も高く、「都市基盤（交通）について」（0.37）が最も低くなっています。

性別でみると、「都市基盤（交通）について」以外の項目では、女性は男性よりも評価が高くなっています。

年齢別でみると、すべての年齢で「環境について」が最も高くなっています。一方、最も低い項目は、10歳代・20歳代・40歳代・50歳代・70歳代・80歳以上では「都市基盤（交通）について」、30歳代では「生活安全について」、60歳代では「都市基盤（住環境について）」となっています。

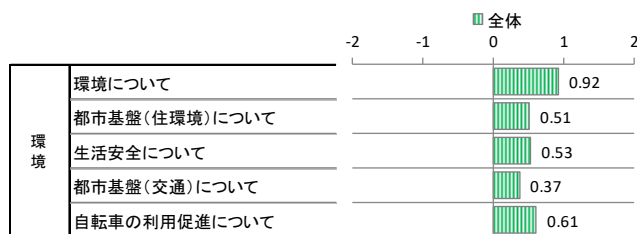
図表 1 8 環境の満足度の割合



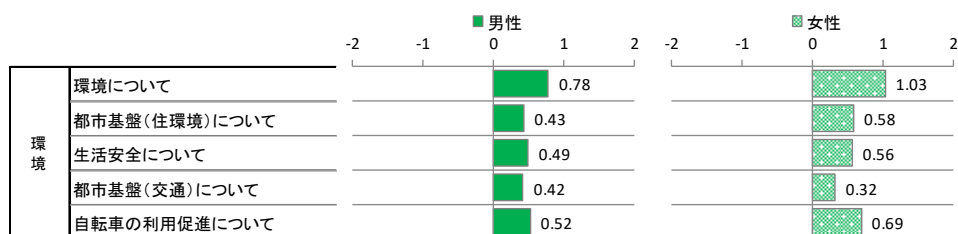
(n=1, 745)

図表 1 9 環境の評価平均得点（全体・性・年齢別）

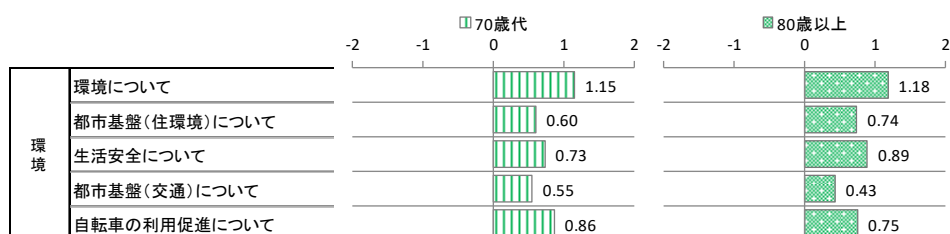
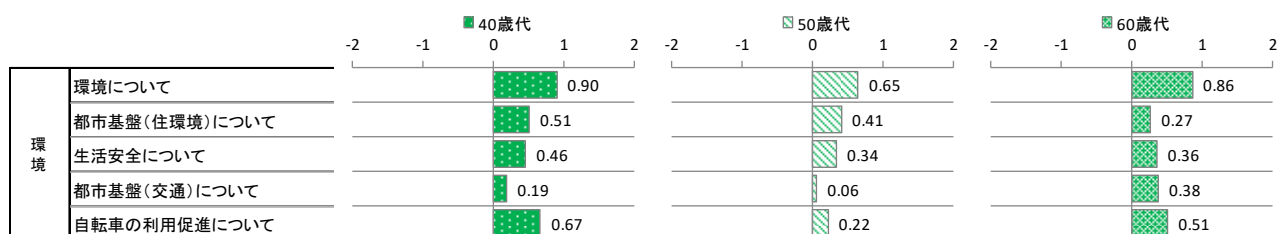
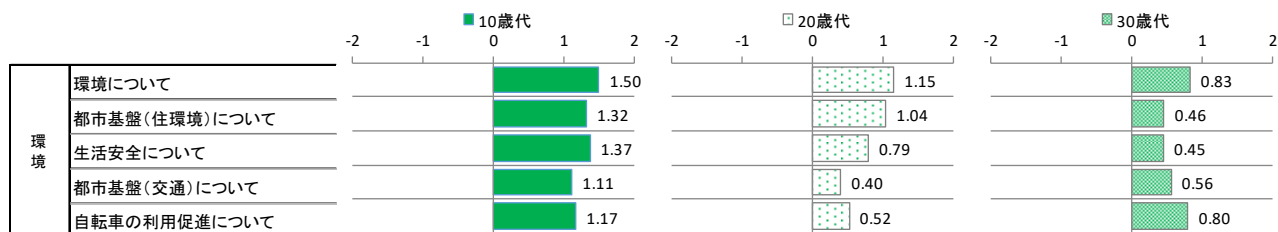
<全体>



<性別>



<年齢別>



### ③ 経済

| 施策項目          | 主な取組み                                                                                                                               |
|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 農業について        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・農地の流動化*4、担い手*5の育成</li> <li>・農業の多面的機能共同活動*6、ほ場整備の実施</li> <li>・地産地消・食育の推進</li> </ul>          |
| 商工業について       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内企業の支援体制の充実</li> <li>・空き店舗対策の実施</li> <li>・創業支援の推進</li> </ul>                               |
| 観光について        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・七夕まつり、桜まつりの開催</li> <li>・デンパークの充実（施設・イベント）</li> <li>・観光案内所やウェブサイトを活用した観光情報の発信</li> </ul>     |
| 都市基盤（市街地）について | <ul style="list-style-type: none"> <li>・南明治地区土地区画整理事業の実施</li> <li>・中心市街地拠点施設アンフォーレの建設及び管理運営</li> <li>・桜井駅周辺特定土地区画整理事業の実施</li> </ul> |

\*4 農地の流動化：経営規模を拡大したい農業者や農業法人に対し、効率的な生産ができるように農地の貸借や売買を促進すること

\*5 担い手：地域の中心となって農業経営を行っていく意欲のある農業者や農業法人

\*6 多面的機能共同活動：農地及び農業用施設について、地域ぐるみで適切に保全活動をする活動団体に対して支援する事業

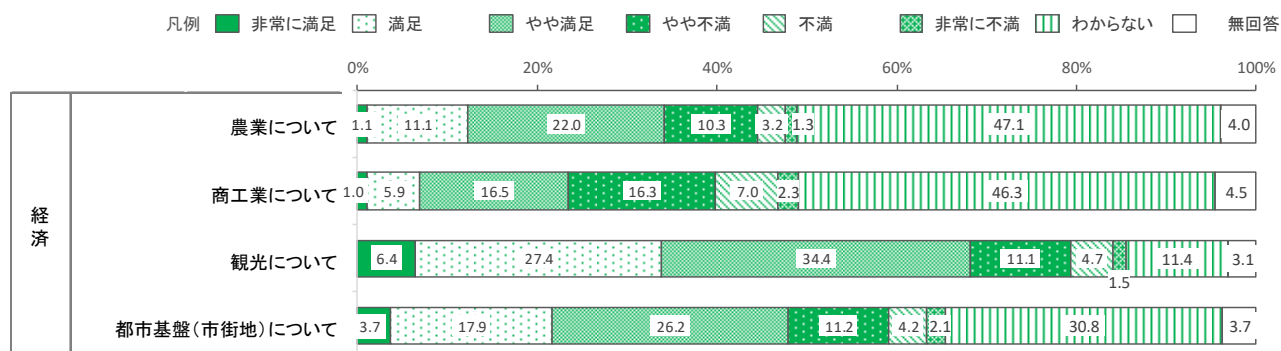
経済分野について、満足度の割合をみると、“満足”（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）は「農業について」が34.2%、「商工業について」は23.4%、「観光について」は68.2%、「都市基盤（市街地）について」47.8%となっています。

評価平均得点を全体でみると、4項目のうちプラス評価が3項目、マイナス評価が1項目となっています。「観光について」（0.97）が最も高く、「商工業について」（-0.12）が最も低くなっています。

性別でみると、女性は男性よりもすべての項目において評価が高くなっています。

年齢別でみると、10歳代・30歳代・40歳代ですべての項目がプラスの評価となっています。また、すべての年齢で「観光について」が最も高く、「商工業について」が最も低くなっています。50歳代は「商工業について」（-0.57）が特に低くなっています。

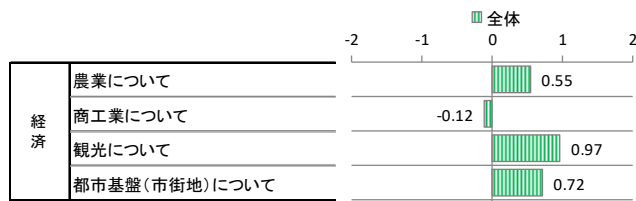
図表20 経済の満足度の割合



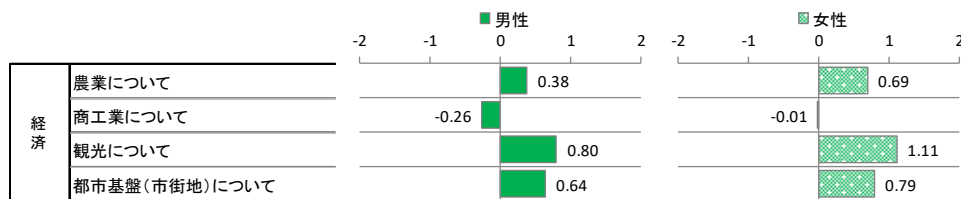
(n=1,745)

図表 2 1 経済の評価平均得点（全体・性・年齢別）

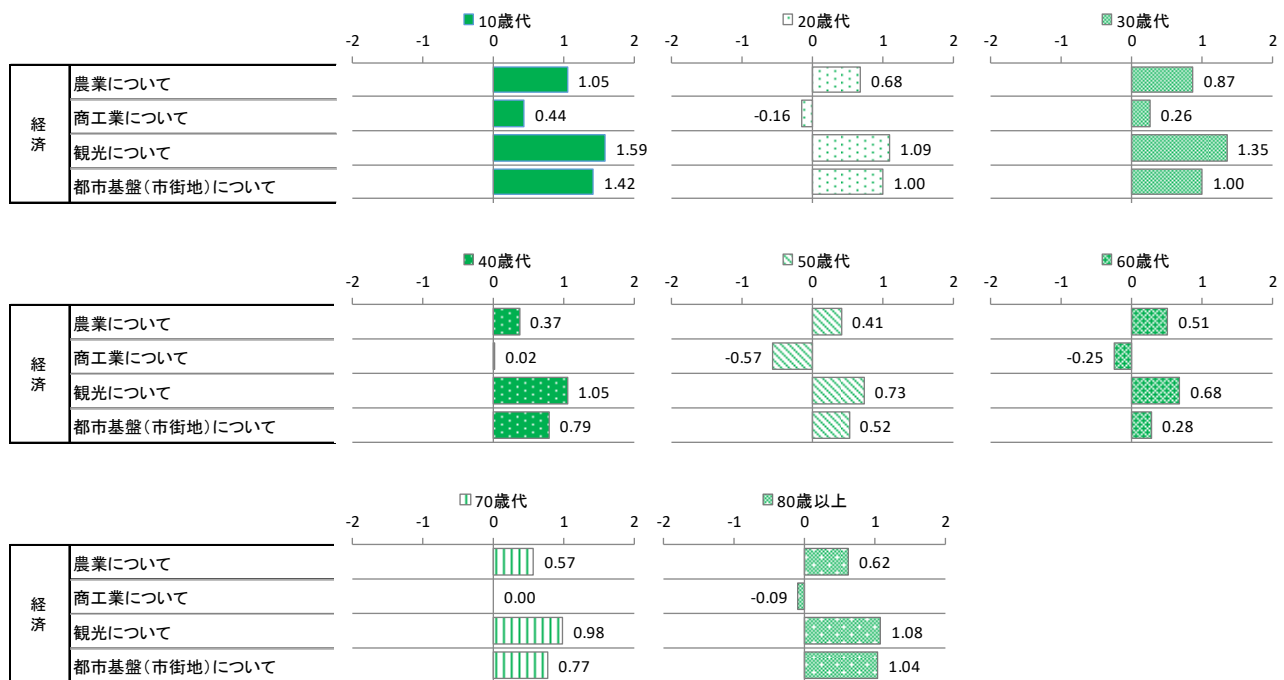
<全体>



<性別>



<年齢別>



#### ④ きずな

| 施策項目             | 主な取組み                                                                                                                                                       |
|------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 防災・減災について        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災ラジオ等による防災情報の発信</li> <li>・ 自主防災活動への支援、関係機関等との連携強化</li> <li>・ 雨水貯留施設の計画的な整備</li> </ul>                             |
| 地域福祉について         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町内福祉委員会による地域見守り活動の推進</li> <li>・ 日常生活圏域（中学校区）における地域包括支援センターの設置</li> <li>・ 町内福祉委員会やボランティア団体の活動支援</li> </ul>          |
| 障害福祉について         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 難聴児への補聴器購入助成</li> <li>・ 就労支援など日中活動サービスの提供</li> <li>・ グループホームなど居住サービスの提供</li> </ul>                                 |
| 社会保障について         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生活困窮者の自立支援</li> <li>・ 特定健診*7 結果によって行う特定保健指導*8 などの生活習慣改善の支援事業や医療受診の案内</li> </ul>                                    |
| 生涯学習について         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公民館等における各種講座や教室の開催</li> <li>・ 図書館の充実と子ども読書の推進</li> </ul>                                                           |
| 文化・芸術について        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歴史的建造物、遺跡等の調査と保護、三河万歳等の伝承活動</li> <li>・ 文化芸術の鑑賞機会提供・情報発信</li> </ul>                                                 |
| 参加と協働について        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民が行政と一緒に行政活動に企画から参加でき、発言できる機会を広く提供するための取組み</li> <li>・ 高齢者の支え合い、子どもの見守り、人と人の絆を結びつける活動などを行っている市民活動団体への支援</li> </ul> |
| 地域自治（コミュニティ）について | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町内会活動事業への支援</li> <li>・ 町内会の管理する集会所の耐震及び改修補助</li> </ul>                                                             |

\*7 特定健診：40 歳～74 歳の人を対象に行われるメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した健診

\*8 特定保健指導：特定健診の結果に基づき、生活習慣のアドバイスなどを行うもの

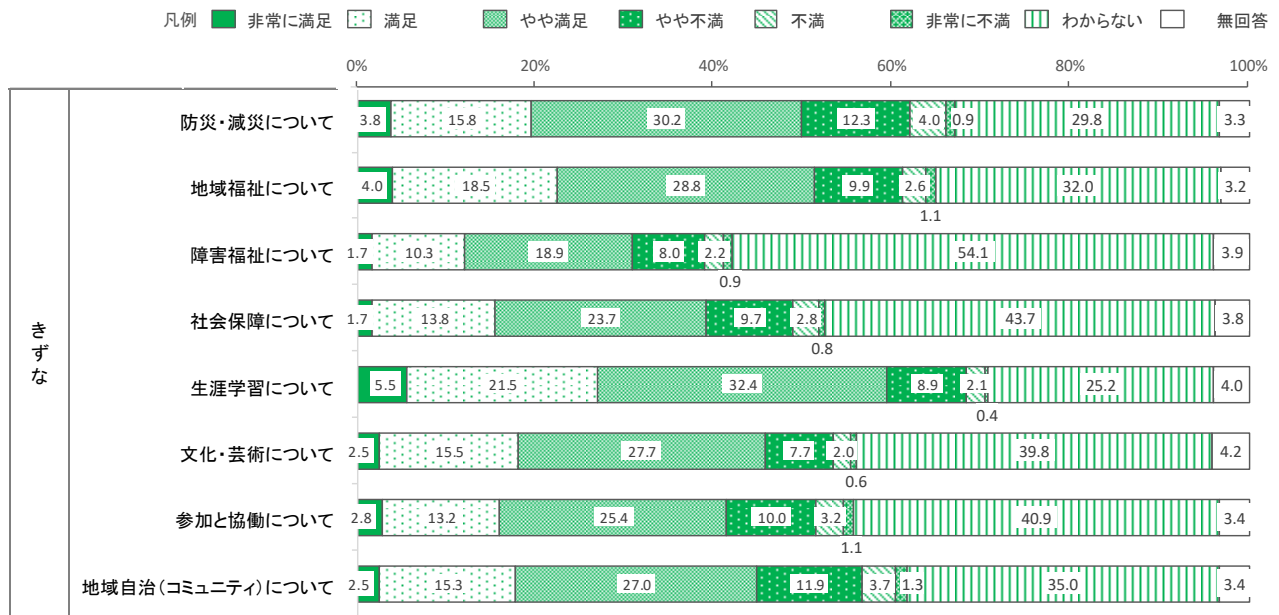
きずな分野について、満足度の割合をみると、「満足」（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）は「防災・減災について」が 49.8%、「地域福祉について」は 51.3%、「障害福祉について」は 30.9%、「社会保障について」は 39.2%、「生涯学習について」は 59.4%、「文化・芸術について」は 45.7%、「参加と協働について」は 41.4%、「地域自治（コミュニティ）について」は 44.8% となっています。

評価平均得点を全体でみると、8 項目すべてプラス評価となっています。「生涯学習について」（1.10）が最も高く、次いで「文化・芸術について」（0.94）、「地域福祉について」（0.92）の順となっています。

性別でみると、女性はすべての項目において男性よりも評価が高くなっています。

年齢別でみると、20 歳代以上は「生涯学習について」が 8 項目のうち最も高くなっていますが、10 歳代では「障害福祉について」が最も高くなっています。

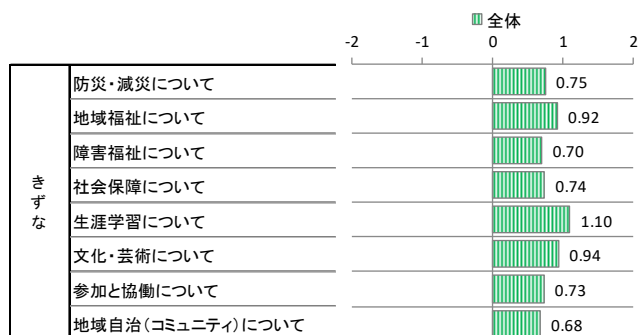
図表 2 2 きずなの満足度の割合



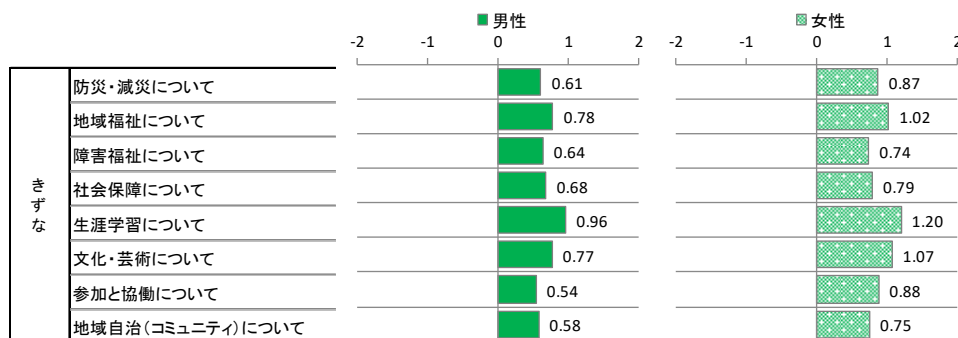
(n=1,745)

図表 2 3 きずなの評価平均得点（全体・性・年齢別）

<全体>

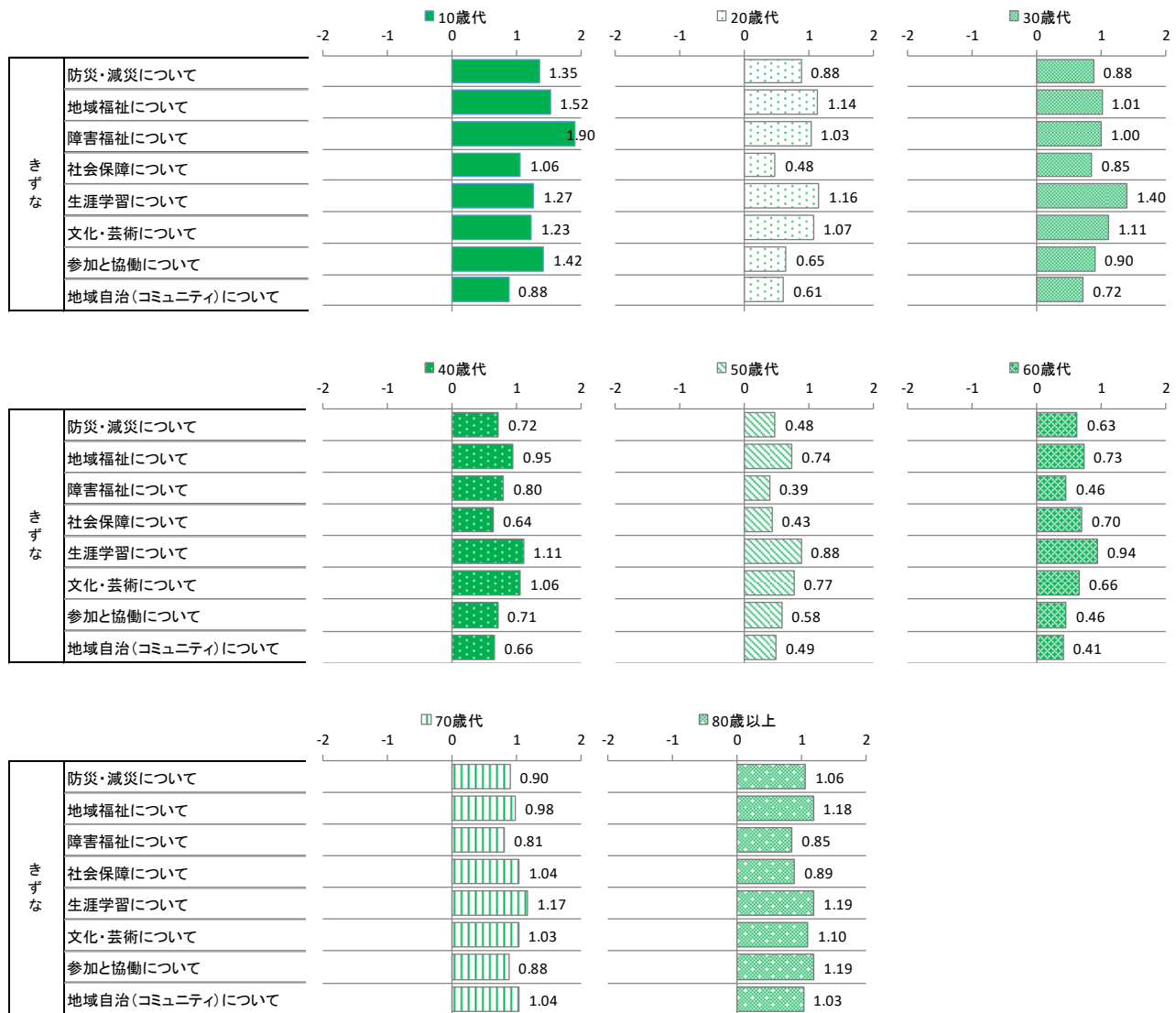


<性別>





<年齢別>



## ⑤ こども

| 施策項目         | 主な取組み                                                                                                                                       |
|--------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 子育てについて      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・低年齢児、延長、一時特定、休日保育等保育の充実</li> <li>・第3子以降の保育料・給食費の無料化</li> <li>・児童クラブの対象学年拡大</li> </ul>               |
| ひとり親家庭福祉について | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひとり親手当の支給</li> <li>・家庭相談員*9による児童相談全般及び母子・父子自立支援員*10による就業相談など</li> <li>・産後の家事・育児支援事業の実施</li> </ul>   |
| 学校教育について     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校1年生、小学校4年生までの少人数学級の実施</li> <li>・学校施設の改修（トイレ・バリアフリー化など）</li> <li>・授業でのタブレット端末等の情報機器の活用</li> </ul> |

\*9 家庭相談員：地域や学校での人間関係、生活習慣、非行の問題などを抱える児童の保護者からの相談に対し、児童相談所など関係機関と連携して助言・指導を行う

\*10 母子・父子自立支援員：ひとり親家庭の方が自立できるよう、生活の安定や子育ての相談、就業に関する相談・指導を総合的に行う

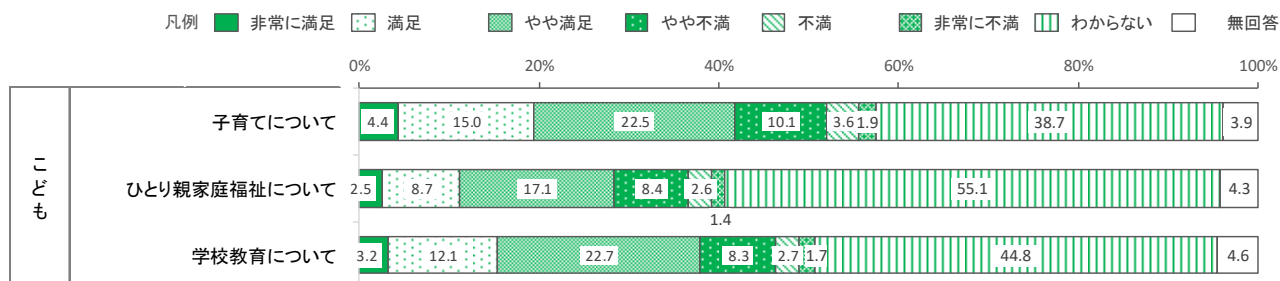
こども分野について、満足度の割合をみると、「満足」（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）は「子育てについて」が41.9%、「ひとり親家庭福祉について」は28.3%、「学校教育について」は38.0%となっています。

評価平均得点を全体でみると、3項目すべてプラス評価となっています。3項目のうち「学校教育について」（0.75）が最も高くなっています。

性別でみると、男性は「子育てについて」（0.76）が最も高く、女性は「学校教育について」（0.84）が最も高くなっています。

年齢別でみると、10歳代～30歳代・50歳代・60歳代では「学校教育について」が、40歳代・70歳代・80歳以上で「子育てについて」が3項目のうち最も高くなっています。

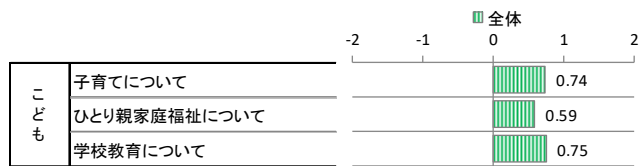
図表24 こどもの満足度の割合



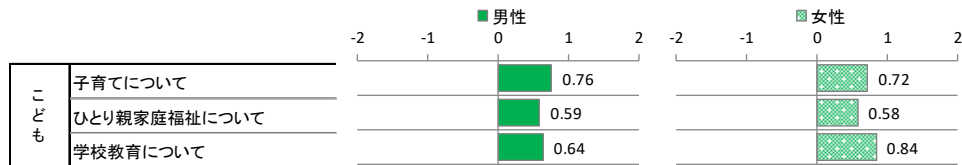
(n=1,745)

図表 2 5 こどもの評価平均得点（全体・性・年齢別）

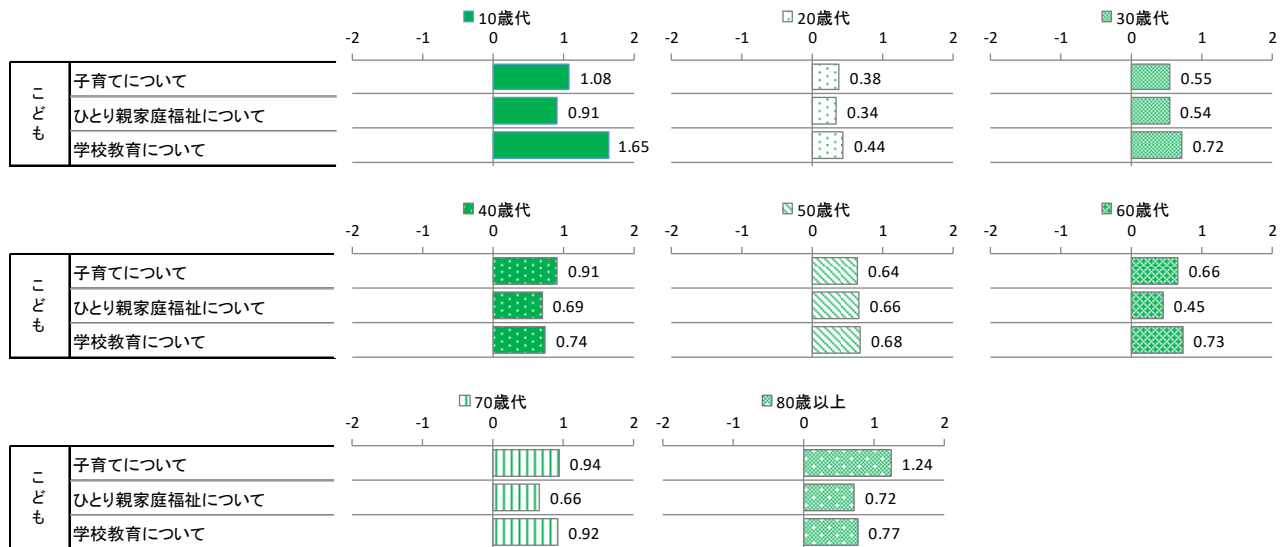
<全体>



<性別>



<年齢別>



## ⑥ 行財政運営

| 施策項目      | 主な取組み                                                                                                                              |
|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 行財政運営について | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公開行政レビュー（公開事業評価）の実施</li> <li>・ 各種証明書のコンビニ交付サービスの実施</li> <li>・ 市役所立体駐車場建設及び管理運営</li> </ul> |

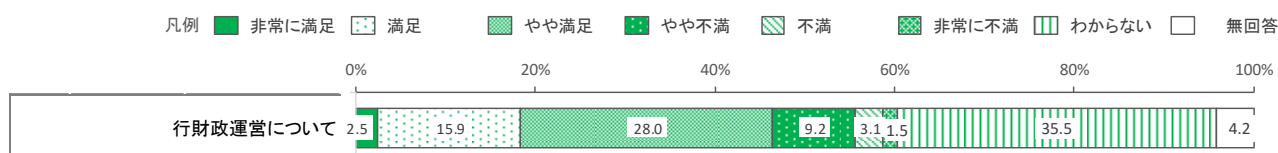
行財政運営分野について、満足度の割合をみると、“満足”（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）は46.4%となっています。

評価平均得点を全体でみると、プラスの評価となっています。

性別でみると、女性が男性よりも評価が高くなっています。

年齢別でみると、10歳代・30歳代で最も高くなっています。

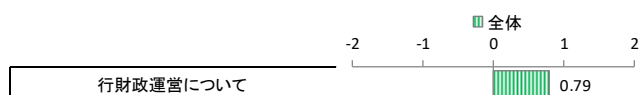
図表 2 6 行財政運営の満足度の割合



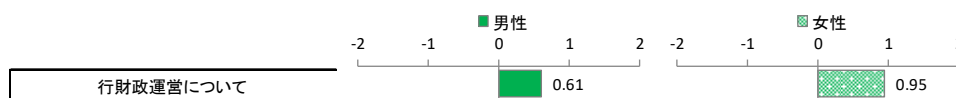
(n=1,745)

図表 2 7 行財政運営の評価平均得点（全体・性・年齢別）

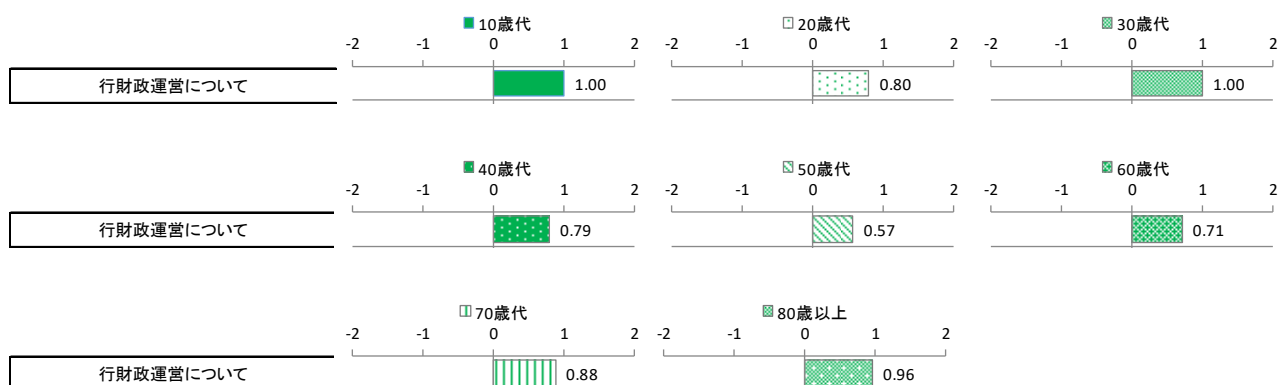
<全体>



<性別>



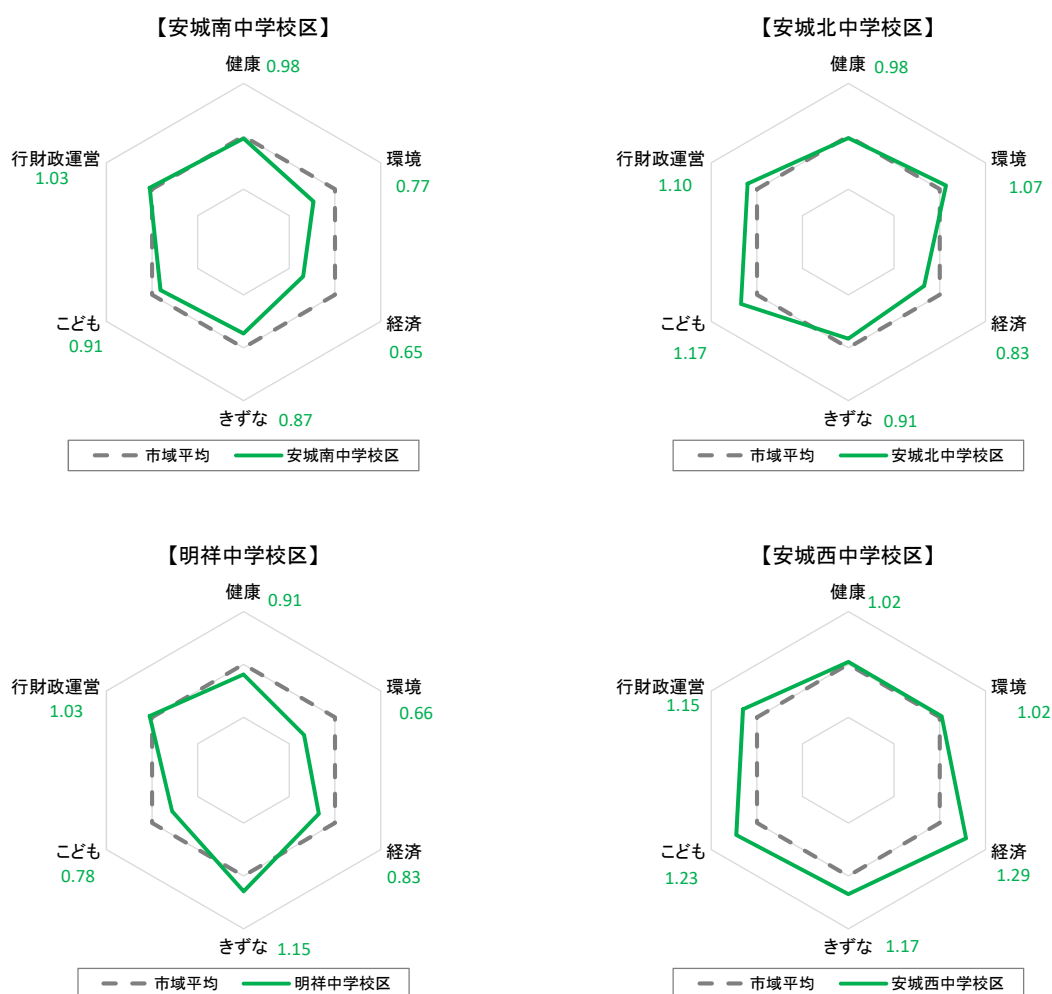
<年齢別>

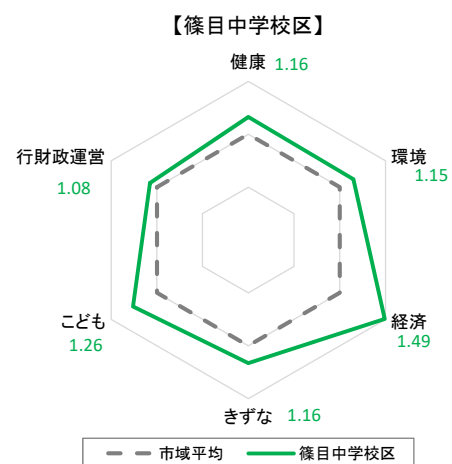
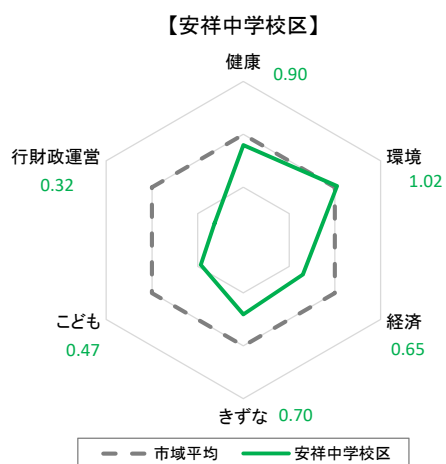
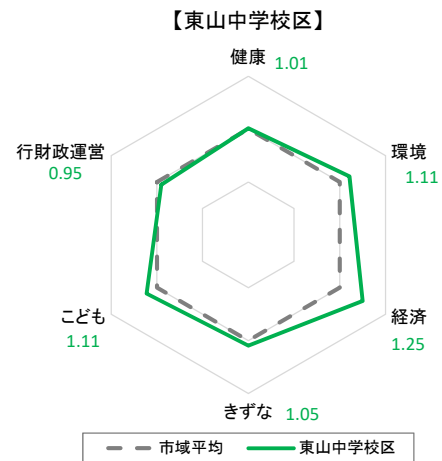
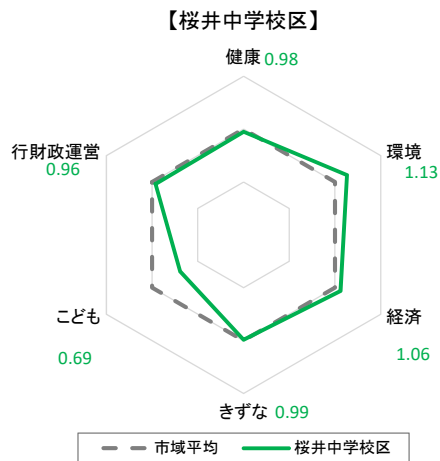


### 3) 居住地区別評価

居住地区別の満足度評価平均得点（市域平均を 1.00 として各中学校区の値を算出）をみると、安城西中学校区と篠目中学校区ではすべての分野で市域平均よりも満足度が高くなっています。安城南中学校区では「行財政運営」以外の 5 分野、安城北中学校区では「健康」「経済」「きずな」、明祥中学校区では「きずな」「行財政運営」以外の 4 分野、桜井中学校区では「環境」「経済」以外の 4 分野、東山中学校区では「行財政運営」、安祥中学校区では「環境」以外の 5 分野で市域平均よりも低くなっています。

図表 2 8 居住地区ごとの施策分野別満足度評価の比較（市域平均を 1.00 として算出）





|         | 健康   | 環境   | 経済   | きずな  | こども  | 行財政運営 |
|---------|------|------|------|------|------|-------|
| 市域平均    | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00  |
| 安城南中学校区 | 0.98 | 0.77 | 0.65 | 0.87 | 0.91 | 1.03  |
| 安城北中学校区 | 0.98 | 1.07 | 0.83 | 0.91 | 1.17 | 1.10  |
| 明祥中学校区  | 0.91 | 0.66 | 0.83 | 1.15 | 0.78 | 1.03  |
| 安城西中学校区 | 1.02 | 1.02 | 1.29 | 1.17 | 1.23 | 1.15  |
| 桜井中学校区  | 0.98 | 1.13 | 1.06 | 0.99 | 0.69 | 0.96  |
| 東山中学校区  | 1.01 | 1.11 | 1.25 | 1.05 | 1.11 | 0.95  |
| 安祥中学校区  | 0.90 | 1.02 | 0.65 | 0.70 | 0.47 | 0.32  |
| 篠目中学校区  | 1.16 | 1.15 | 1.49 | 1.16 | 1.26 | 1.08  |

### 3. 重要度

次の事項（問4～問26）に対する安城市の取組みについて、あなたの評価をしてください。

イ【重要度】今後、これらに安城市が取り組むことはどれくらい重要とお考えですか。

それぞれ1～7のいずれか1つに○を付けてください。

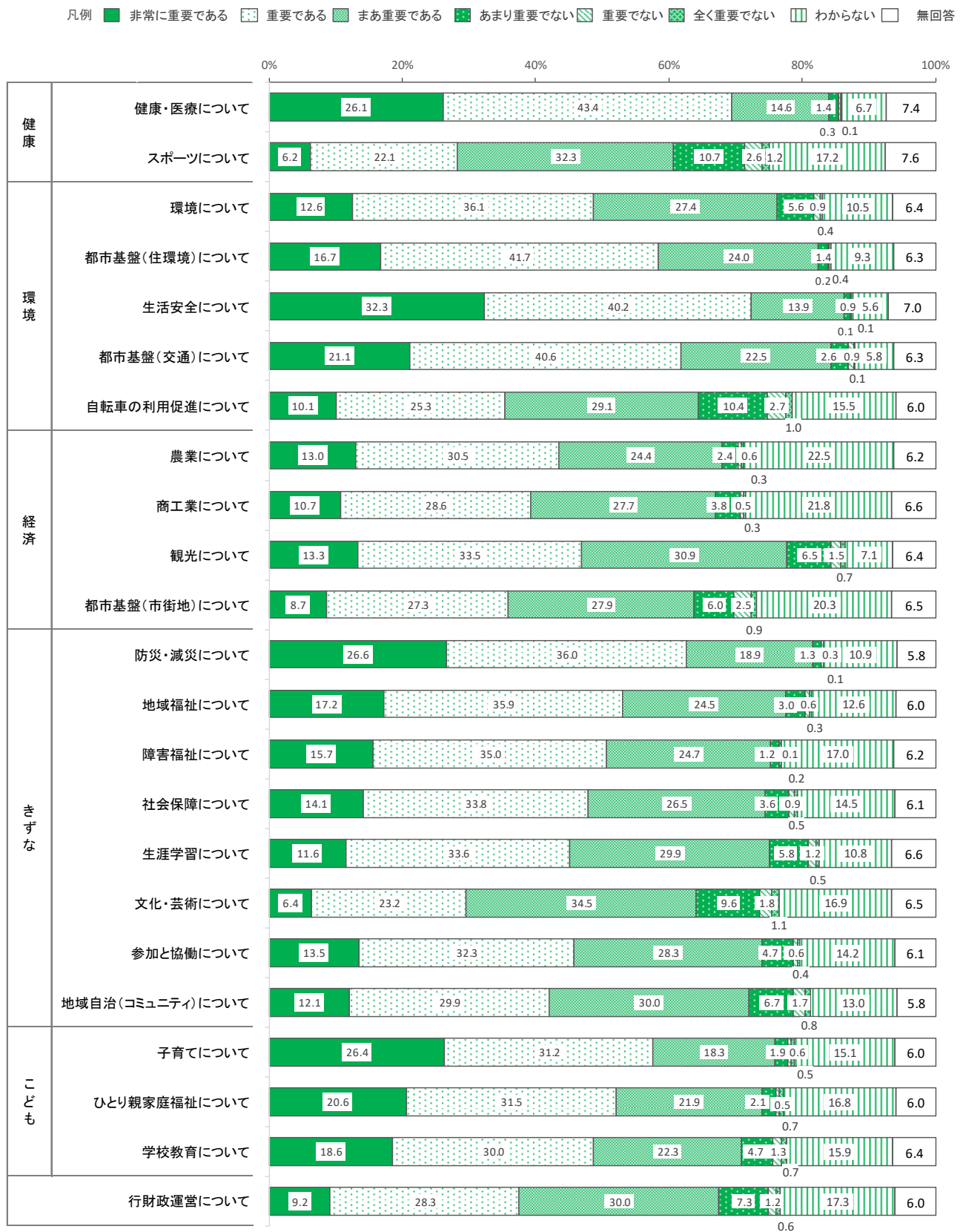
#### 1) 全体評価

<重要度の割合>

項目別に重要度の割合をみると、“重要”（「非常に重要である」＋「重要である」＋「まあ重要である」）が最も高い項目は「生活安全について」（86.4％）となっています。次いで、「都市基盤（交通）について」（84.2％）、「健康・医療について」（84.1％）の順となっています。

一方、“重要でない”（「全く重要でない」＋「重要でない」＋「あまり重要でない」）が最も高い項目は、「スポーツについて」（14.5％）であり、次いで「自転車の利用促進について」（14.1％）、「文化・芸術について」（12.5％）となっています。

図表 2 9 安城市の取組みの重要度の割合



(n=1, 745)



# <評価平均得点>

安城市の今後の取組みにおける重要度の評価平均得点の平均値は、1.62 となっています。

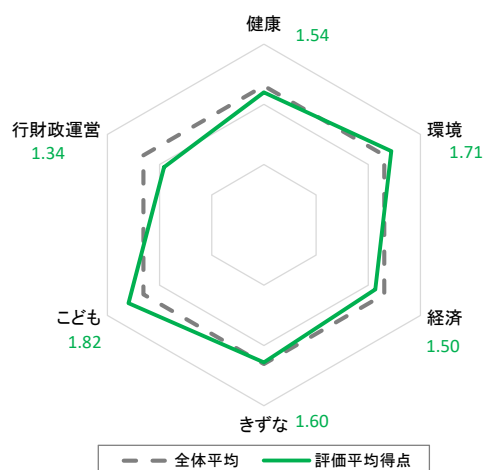
分野別でみると、「こども」が1.82 で最も高くなっています。

項目別にみると、「生活安全について」が2.17 で最も高く、次いで「健康・医療について」(2.07)、  
「防災・減災について」(2.02) となっています。

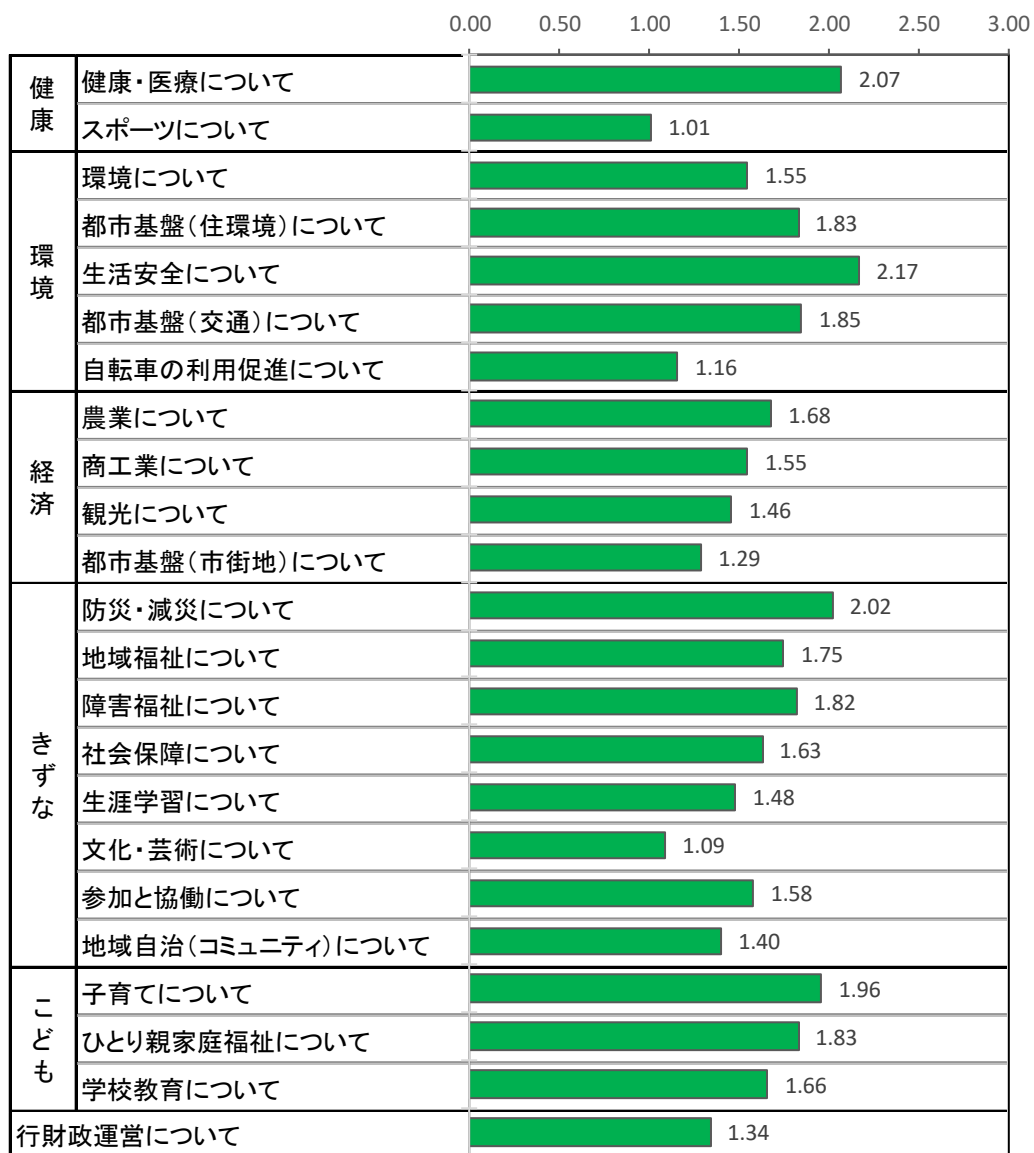
一方、重要度の低い項目は「スポーツについて」(1.01)、「文化・芸術について」(1.09) となっています。

図表 3 0 分野別重要度評価平均得点

|               | 全体平均 | 健康   | 環境   | 経済   | きずな  | こども  | 行財政運営 |
|---------------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 重要度評価平均<br>得点 | 1.62 | 1.54 | 1.71 | 1.50 | 1.60 | 1.82 | 1.34  |



図表 3 1 項目別重要度評価平均得点



## 2) 分野別評価

### ① 健康

| 施策項目      | 主な取組み                                                                                                                                  |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 健康・医療について | <ul style="list-style-type: none"> <li>健康診査、がん検診、乳幼児健診の実施</li> <li>ウォーキングイベントの開催、あんじょう健康マイレージ事業の実施</li> <li>休日夜間急病診療所の運営</li> </ul>    |
| スポーツについて  | <ul style="list-style-type: none"> <li>陸上競技場のフィールド内の全天候舗装張替え、人工芝化</li> <li>安城シティマラソン、デンパーク駅伝の開催</li> <li>おはよう！ふれあいラジオ体操会の開催</li> </ul> |

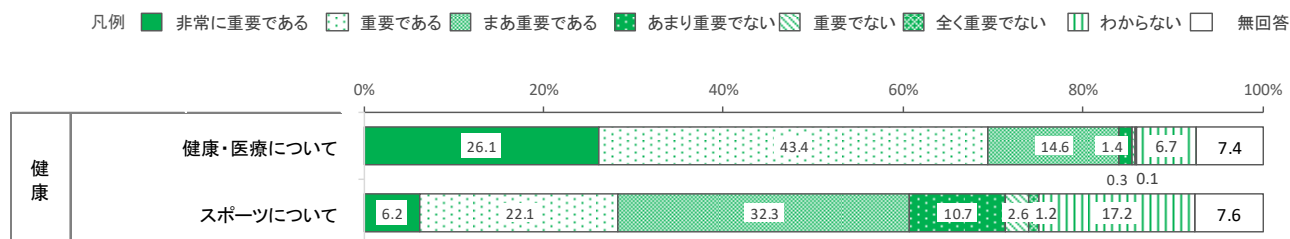
健康分野について、重要度の割合をみると、“重要”（「非常に重要である」＋「重要である」＋「まあ重要である」）は「健康・医療について」が84.1%、「スポーツについて」は60.6%となっています。

評価平均得点を全体でみると、「健康・医療について」は2.07と最も高くなっています。

性別でみると、女性が2項目とも男性よりも高くなっています。

年齢別でみると、10歳代～40歳代と60歳代は「健康・医療について」で2.00以上と高い値になっています。

図表 3 2 健康の重要度の割合



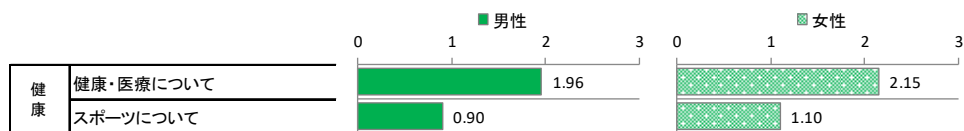
(n=1,745)

図表 3 3 健康の評価平均得点（全体・性・年齢別）

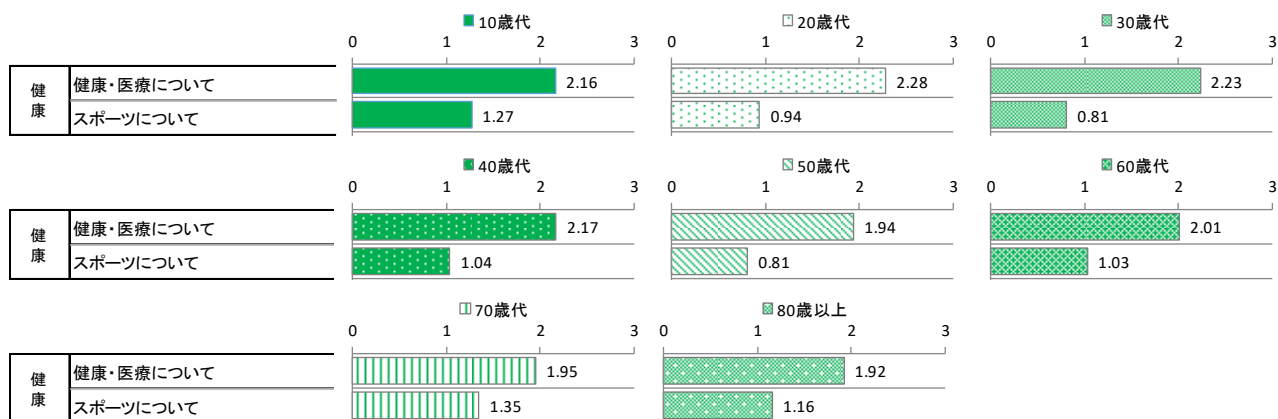
<全体>



<性別>



<年齢別>



## ② 環境

| 施策項目          | 主な取組み                                                                                                                                               |
|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 環境について        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートハウス普及促進設備*1の設置補助</li> <li>・次世代自動車*2の購入補助</li> <li>・ごみの減量・分別に対する取り組み</li> </ul>                          |
| 都市基盤（住環境）について | <ul style="list-style-type: none"> <li>・公園遊具の計画的な更新</li> <li>・下水道の計画的な整備</li> <li>・適切な管理がされていない空き家の対策</li> </ul>                                    |
| 生活安全について      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や学校等での防犯・交通安全教室の開催</li> <li>・防犯灯・防犯カメラの設置</li> <li>・交通安全・防犯の啓発活動</li> </ul>                               |
| 都市基盤（交通）について  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・あんくるバスの運行拡充（循環線の増便、他市への乗り入れ等）</li> <li>・安城駅、新安城駅のバリアフリー化（エレベーターの設置）</li> </ul>                              |
| 自転車の利用促進について  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車走行空間（デンパーク南、総合運動公園南等）の整備</li> <li>・自転車購入補助、TS マーク*3取得補助</li> <li>・自転車啓発イベント（サイクリング、自転車教室等）の実施</li> </ul> |

**\*1 スマートハウス普及促進設備**：太陽光発電設備、燃料電池、蓄電池、HEMS（ホームエネルギーマネジメントシステム）、住宅用次世代自動車充電システム

**\*2 次世代自動車**：燃料電池車（FCV）、電気自動車（EV）、プラグインハイブリット車（PHV）、超小型電気自動車（LEV）

**\*3 TS マーク**：自転車安全整備士が点検整備した自転車に貼付されるもので、傷害保険と賠償責任保険が付帯されている

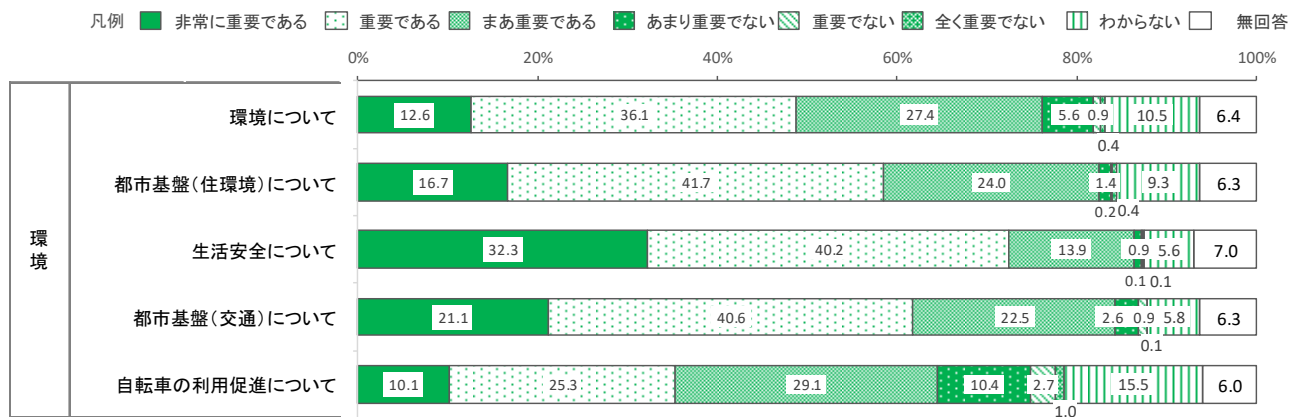
環境分野について、重要度の割合をみると、“重要”（「非常に重要である」＋「重要である」＋「まあ重要である」）は「環境について」が76.1%、「都市基盤（住環境）について」は82.4%、「生活安全について」は86.4%、「都市基盤（交通）について」は84.2%、「自転車の利用促進について」は64.5%となっています。

評価平均得点を全体でみると、「生活安全について」が2.17と最も高くなっています。

性別でみると、女性がすべての項目において男性よりも高くなっています。

年齢別でみると、すべての年齢において「生活安全について」が最も高くなっています。特に、10歳代・30歳代・40歳代で「生活安全について」は2.30以上と高い値になっています。また、30歳代の「都市基盤（住環境）について」と20歳代の「都市基盤（交通）について」で2.0以上となっています。

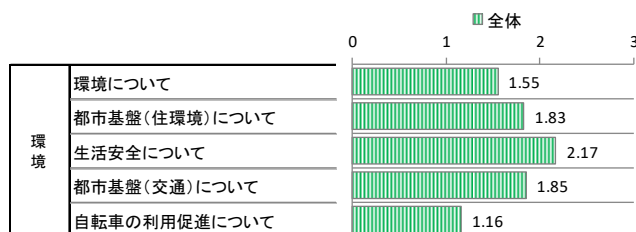
図表 3 4 環境の重要度の割合



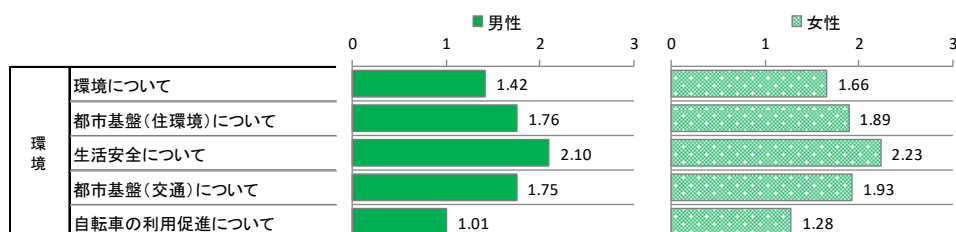
(n=1, 745)

図表 3 5 環境の評価平均得点（全体・性・年齢別）

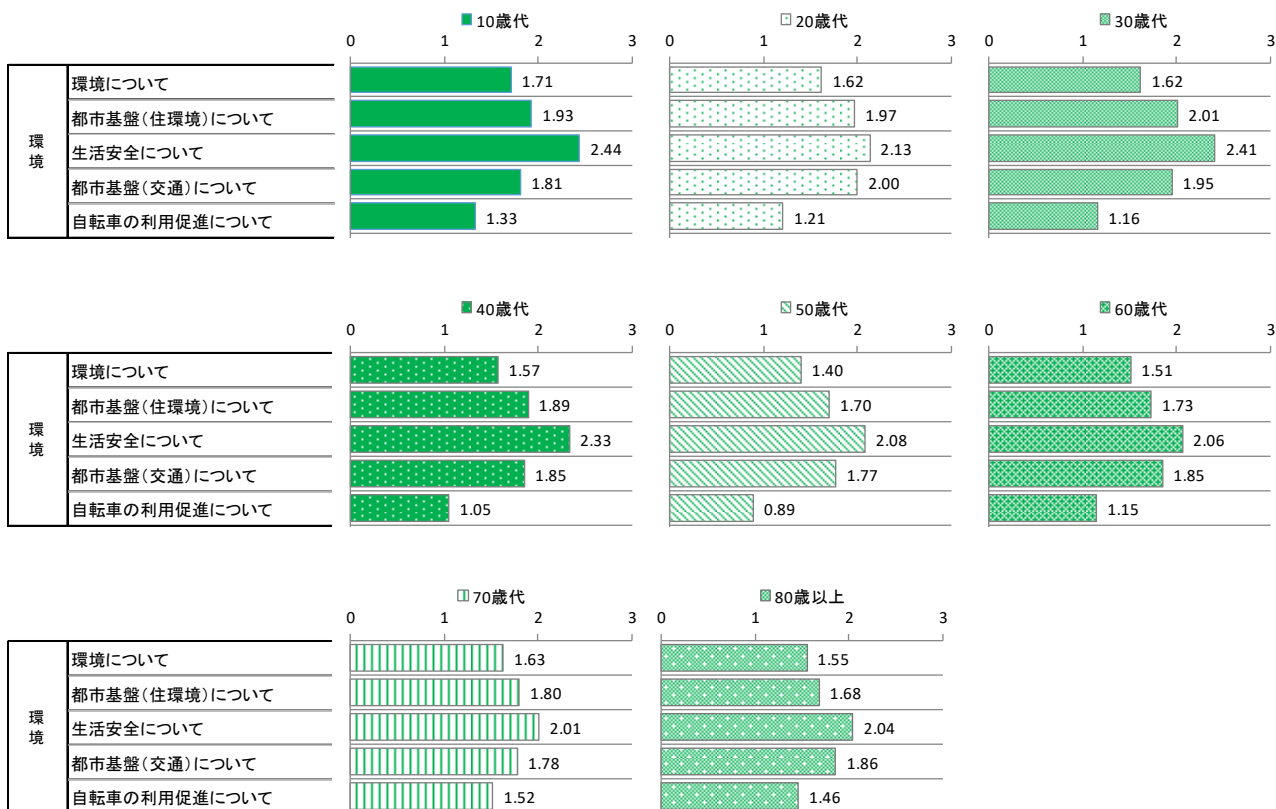
<全体>



<性別>



<年齢別>



### ③ 経済

| 施策項目          | 主な取組み                                                                                                                               |
|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 農業について        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・農地の流動化*4、担い手*5の育成</li> <li>・農業の多面的機能共同活動*6、ほ場整備の実施</li> <li>・地産地消・食育の推進</li> </ul>          |
| 商工業について       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内企業の支援体制の充実</li> <li>・空き店舗対策の実施</li> <li>・創業支援の推進</li> </ul>                               |
| 観光について        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・七夕まつり、桜まつりの開催</li> <li>・デンパークの充実（施設・イベント）</li> <li>・観光案内所やウェブサイトを活用した観光情報の発信</li> </ul>     |
| 都市基盤（市街地）について | <ul style="list-style-type: none"> <li>・南明治地区土地区画整理事業の実施</li> <li>・中心市街地拠点施設アンフォーレの建設及び管理運営</li> <li>・桜井駅周辺特定土地区画整理事業の実施</li> </ul> |

\*4 農地の流動化：経営規模を拡大したい農業者や農業法人に対し、効率的な生産ができるように農地の貸借や売買を促進すること

\*5 担い手：地域の中心となって農業経営を行っていく意欲のある農業者や農業法人

\*6 多面的機能共同活動：農地及び農業用施設について、地域ぐるみで適切に保全活動をする活動団体に対して支援する事業

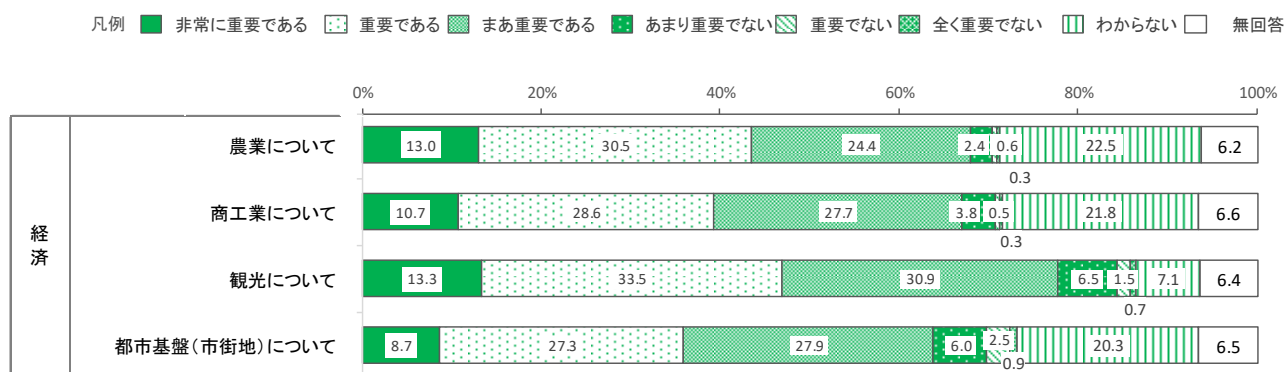
経済分野について、重要度の割合をみると、“重要”（「非常に重要である」＋「重要である」＋「まあ重要である」）は「農業について」が67.9%、「商工業について」は67.0%、「観光について」は77.7%、「都市基盤（市街地）について」63.9%となっています。

評価平均得点を全体でみると、「農業について」が1.68と最も高くなっています。

性別でみると、「商工業について」以外の項目で女性が男性よりも高くなっています。

年齢別でみると、10歳代では「観光について」、20歳代・40歳代～70歳代では「農業について」、30歳代では「農業について」「観光について」、80歳以上では「都市基盤（市街地）について」が最も高くなっています。

図表 3 6 経済の重要度の割合

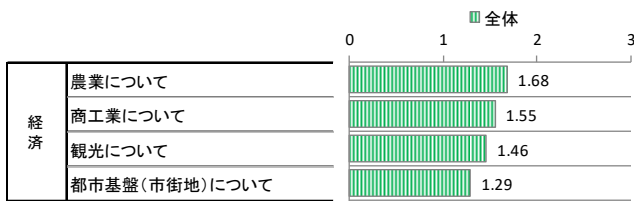


(n=1,745)

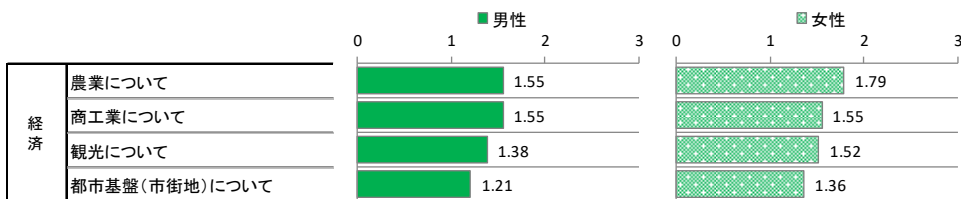


図表 3 7 経済の評価平均得点（全体・性・年齢別）

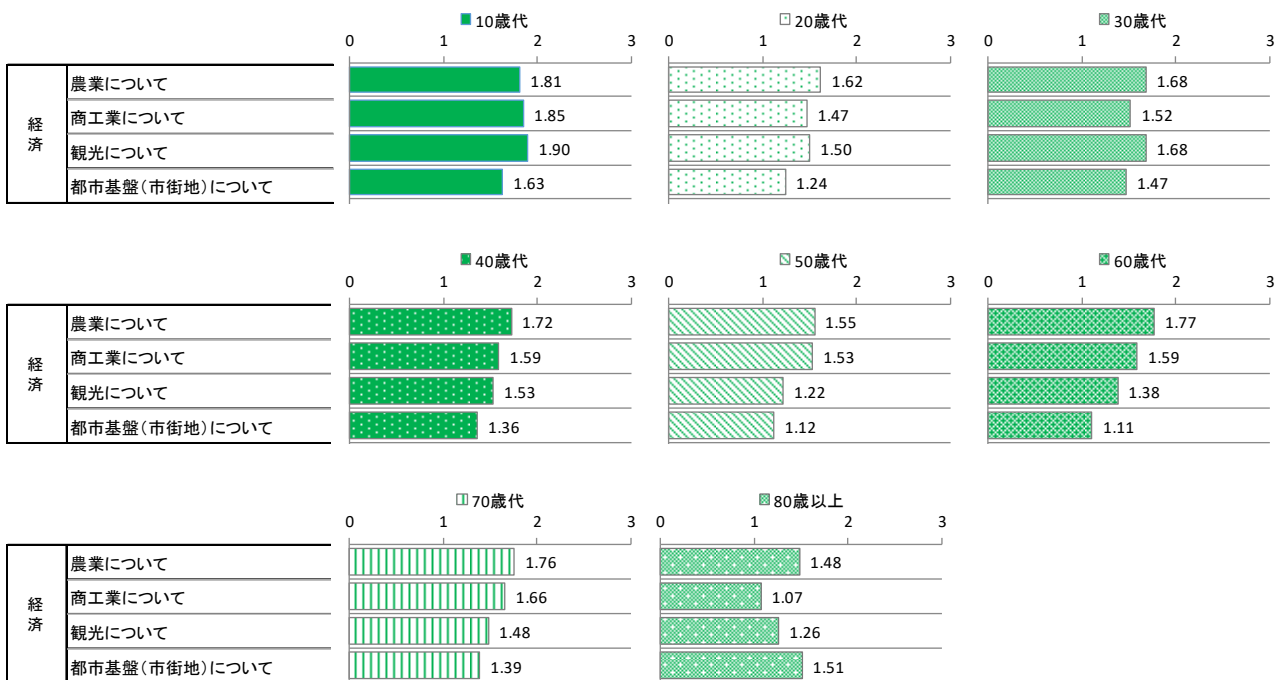
<全体>



<性別>



<年齢別>



#### ④ きずな

| 施策項目             | 主な取組み                                                                                                                                                       |
|------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 防災・減災について        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災ラジオ等による防災情報の発信</li> <li>・ 自主防災活動への支援、関係機関等との連携強化</li> <li>・ 雨水貯留施設の計画的な整備</li> </ul>                             |
| 地域福祉について         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町内福祉委員会による地域見守り活動の推進</li> <li>・ 日常生活圏域（中学校区）における地域包括支援センターの設置</li> <li>・ 町内福祉委員会やボランティア団体の活動支援</li> </ul>          |
| 障害福祉について         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 難聴児への補聴器購入助成</li> <li>・ 就労支援など日中活動サービスの提供</li> <li>・ グループホームなど居住サービスの提供</li> </ul>                                 |
| 社会保障について         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生活困窮者の自立支援</li> <li>・ 特定健診*7 結果によって行う特定保健指導*8 などの生活習慣改善の支援事業や医療受診の案内</li> </ul>                                    |
| 生涯学習について         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公民館等における各種講座や教室の開催</li> <li>・ 図書館の充実と子ども読書の推進</li> </ul>                                                           |
| 文化・芸術について        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歴史的建造物、遺跡等の調査と保護、三河万歳等の伝承活動</li> <li>・ 文化芸術の鑑賞機会提供・情報発信</li> </ul>                                                 |
| 参加と協働について        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民が行政と一緒に行政活動に企画から参加でき、発言できる機会を広く提供するための取組み</li> <li>・ 高齢者の支え合い、子どもの見守り、人と人の絆を結びつける活動などを行っている市民活動団体への支援</li> </ul> |
| 地域自治（コミュニティ）について | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町内会活動事業への支援</li> <li>・ 町内会の管理する集会所の耐震及び改修補助</li> </ul>                                                             |

\*7 特定健診：40 歳～74 歳の人を対象に行われるメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した健診

\*8 特定保健指導：特定健診の結果に基づき、生活習慣のアドバイスなどを行うもの

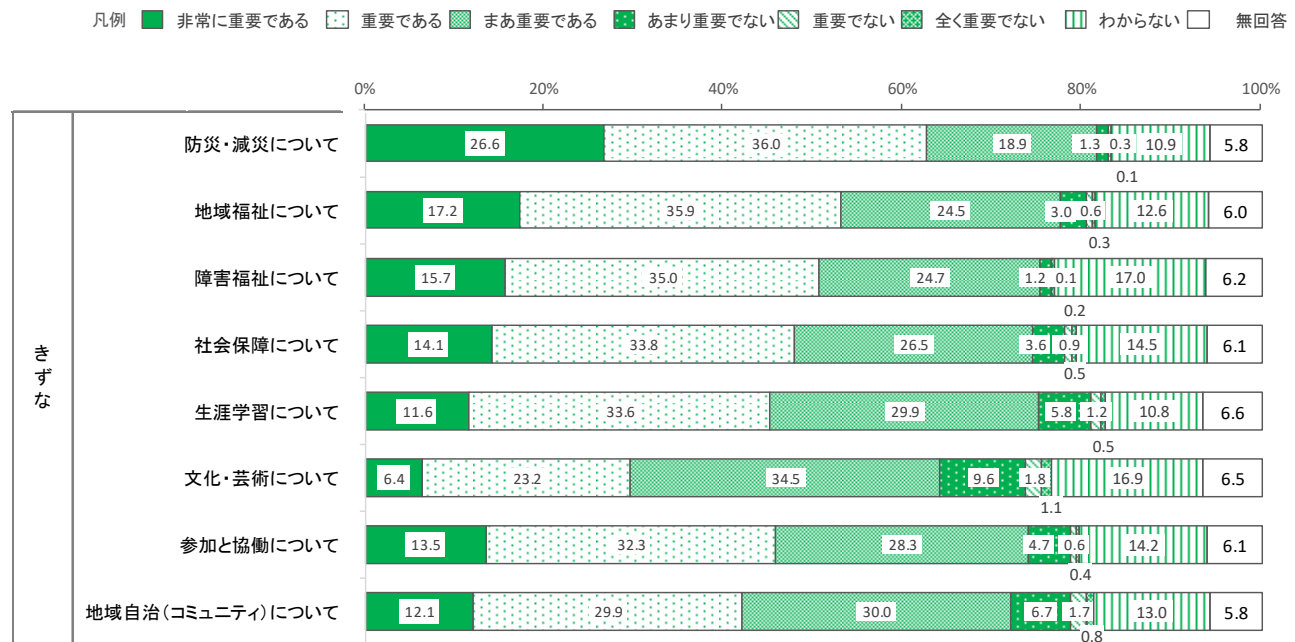
きずな分野について、重要度の割合をみると、「重要」（「非常に重要である」＋「重要である」＋「まあ重要である」）は「防災・減災について」が 81.5%、「地域福祉について」は 77.6%、「障害福祉について」は 75.4%、「社会保障について」は 74.4%、「生涯学習について」は 75.1%、「文化・芸術について」は 64.1%、「参加と協働について」は 74.1%、「地域自治（コミュニティ）について」は 72.0%となっています。

評価平均得点を全体でみると、「防災・減災について」が 2.02 と最も高くなっており、次いで「障害福祉について」（1.82）となっています。

性別でみると、女性がすべての項目において男性よりも高くなっています。

年齢別でみると、すべての年齢で「防災・減災について」が最も高くなっており、70 歳代以外の年齢で 2.00 以上と高い値になっています。2 番目には、10 歳代・50 歳代・70 歳代で「地域福祉について」、20 歳代～40 歳代・60 歳代・80 歳以上で「障害福祉について」が高くなっています。

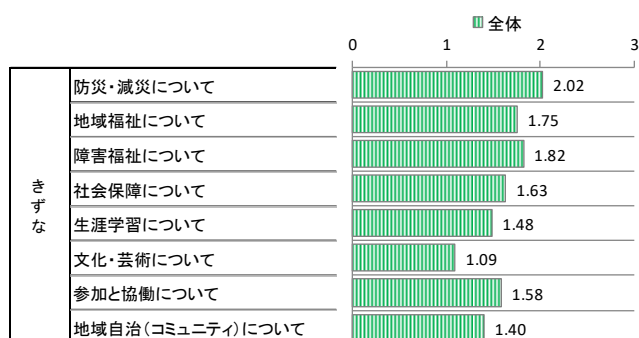
図表 3 8 きずなの重要度の割合



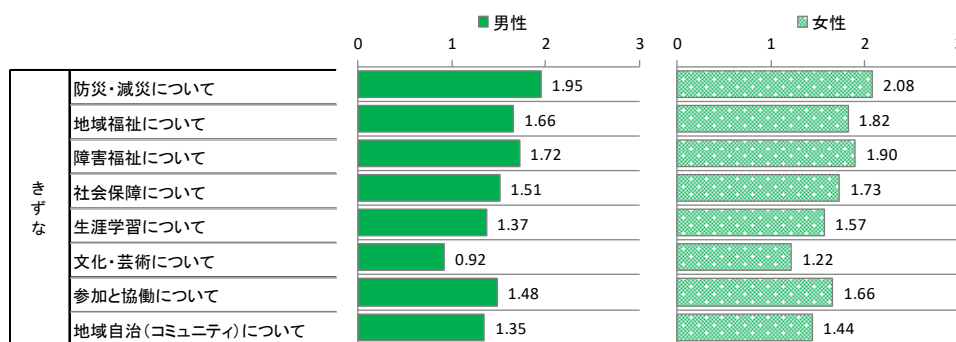
(n=1,745)

図表 3 9 きずなの評価平均得点（全体・性・年齢別）

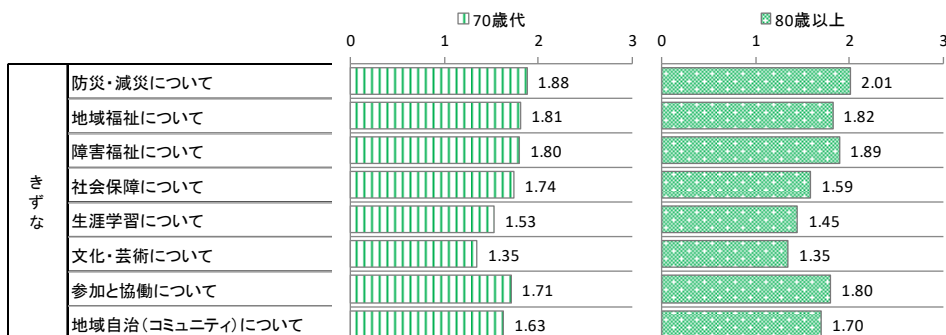
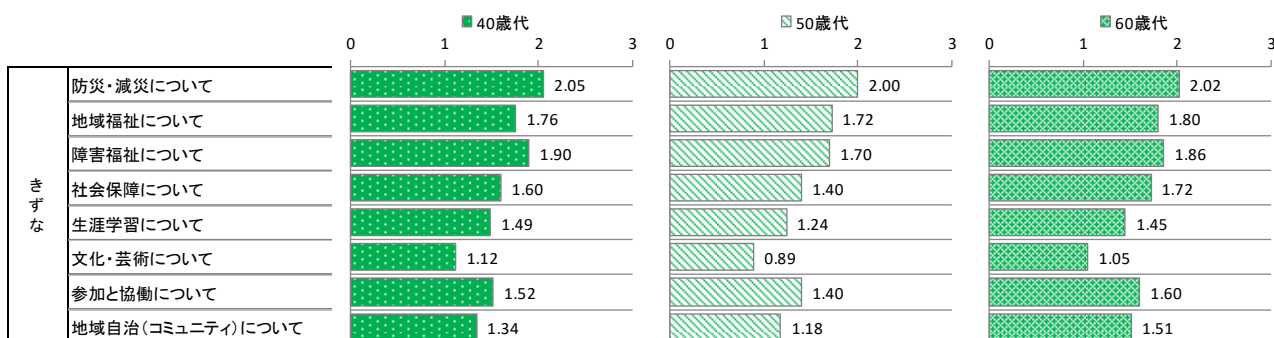
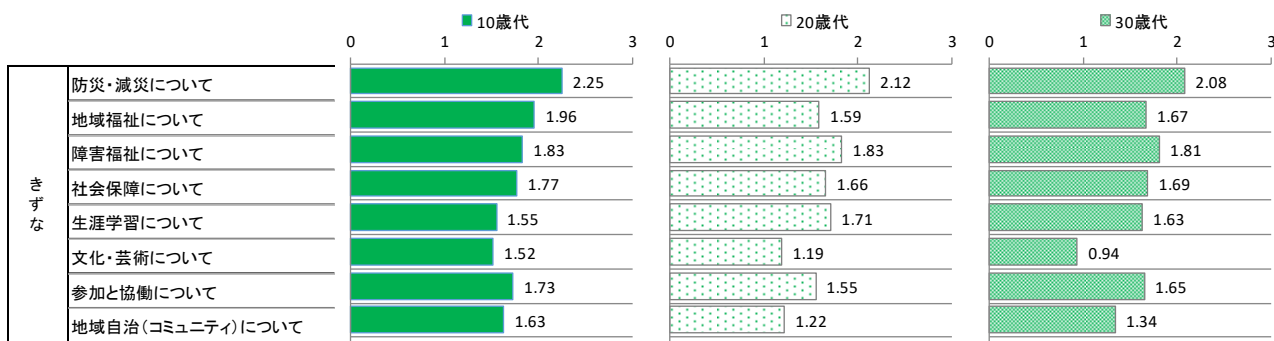
<全体>



<性別>



<年齢別>



## ⑤ こども

| 施策項目         | 主な取組み                                                                                                                                       |
|--------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 子育てについて      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・低年齢児、延長、一時特定、休日保育等保育の充実</li> <li>・第3子以降の保育料・給食費の無料化</li> <li>・児童クラブの対象学年拡大</li> </ul>               |
| ひとり親家庭福祉について | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひとり親手当の支給</li> <li>・家庭相談員*9による児童相談全般及び母子・父子自立支援員*10による就業相談など</li> <li>・産後の家事・育児支援事業の実施</li> </ul>   |
| 学校教育について     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校1年生、小学校4年生までの少人数学級の実施</li> <li>・学校施設の改修（トイレ・バリアフリー化など）</li> <li>・授業でのタブレット端末等の情報機器の活用</li> </ul> |

\*9 家庭相談員：地域や学校での人間関係、生活習慣、非行の問題などを抱える児童の保護者からの相談に対し、児童相談所など関係機関と連携して助言・指導を行う

\*10 母子・父子自立支援員：ひとり親家庭の方が自立できるよう、生活の安定や子育ての相談、就業に関する相談・指導を総合的に行う

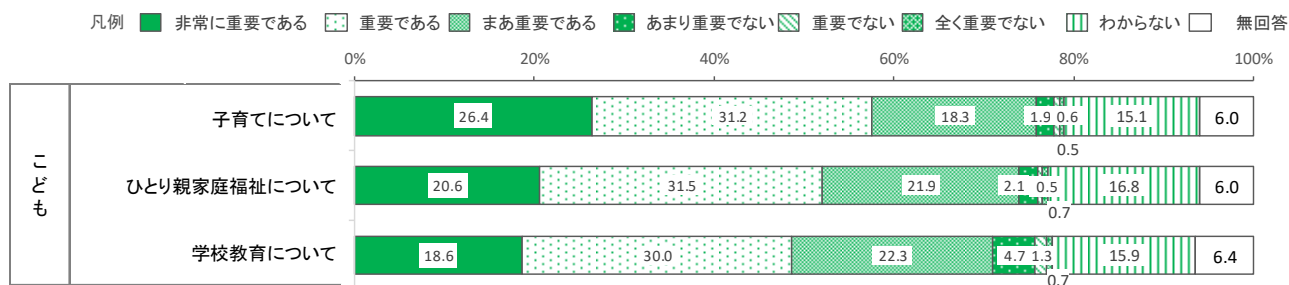
こども分野について、重要度の割合をみると、“重要”（「非常に重要である」＋「重要である」＋「まあ重要である」）は「子育てについて」が75.9%、「ひとり親家庭福祉について」は74.0%、「学校教育について」は70.9%となっています。

評価平均得点を全体でみると、「子育てについて」が1.96と最も高くなっています。

性別でみると、女性がすべての項目において男性よりも高くなっています。

年齢別でみると、70歳代以外の年齢では「子育てについて」が最も高くなっており、特に20歳代・30歳代で「子育てについて」が2.30以上と高い値になっています。70歳代は「ひとり親家庭福祉について」が最も高くなっています。また、年齢が高くなると3項目の差が小さくなる傾向にあります。

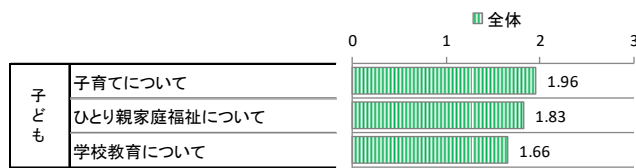
図表40 こどもの重要度の割合



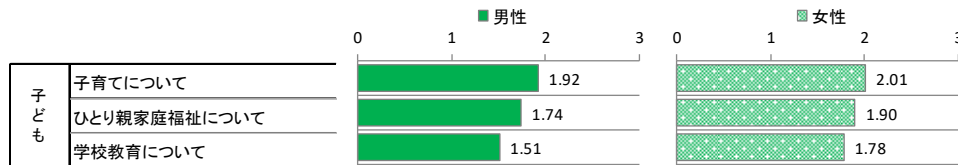
(n=1,745)

図表 4 1 こどもの評価平均得点（全体・性・年齢別）

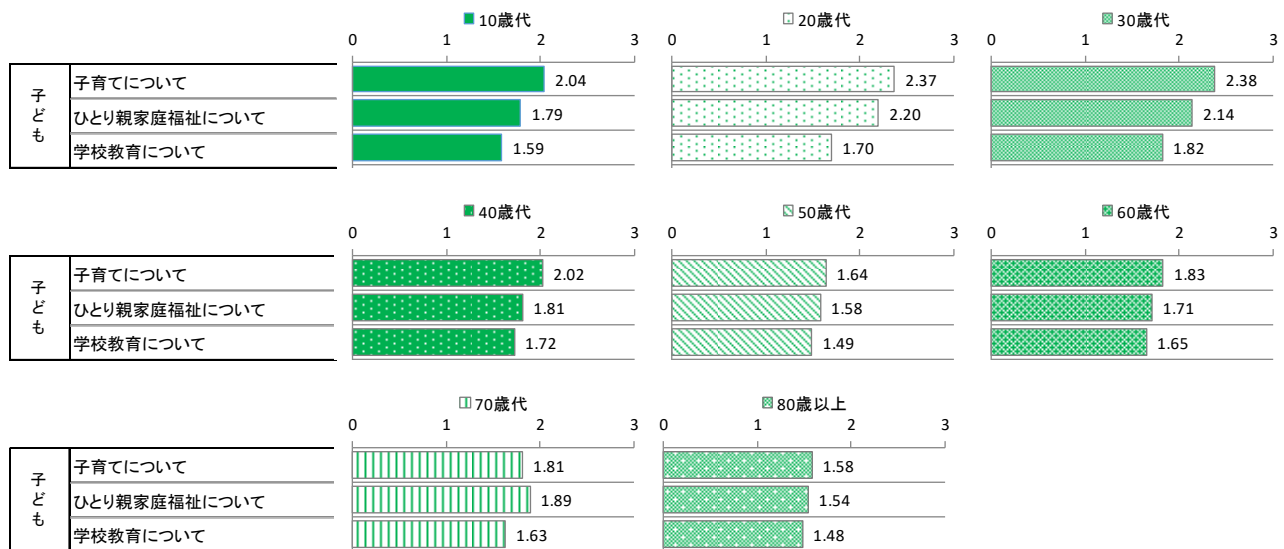
<全体>



<性別>



<年齢別>



## ⑥ 行財政運営

| 施策項目      | 主な取組み                                                                                                                              |
|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 行財政運営について | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公開行政レビュー（公開事業評価）の実施</li> <li>・ 各種証明書のコンビニ交付サービスの実施</li> <li>・ 市役所立体駐車場建設及び管理運営</li> </ul> |

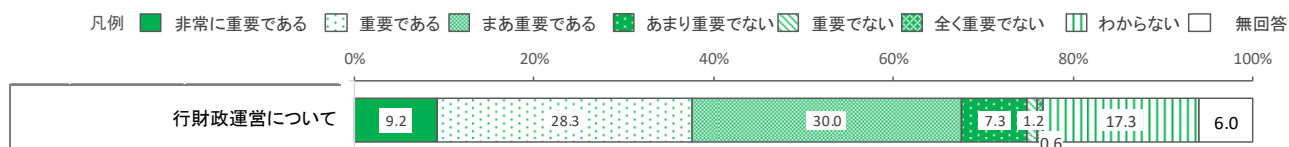
行財政運営分野について、重要度の割合をみると、“重要”（「非常に重要である」＋「重要である」＋「まあ重要である」）は67.5%となっています。

評価平均得点を全体でみると、1.34となっています。

性別でみると、女性が男性よりも高くなっています。

年齢別でみると、10歳代・30歳代で最も高くなっています。

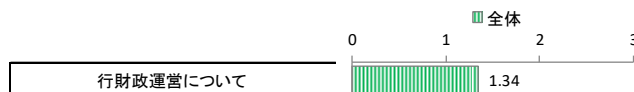
図表 4 2 行財政運営の重要度の割合



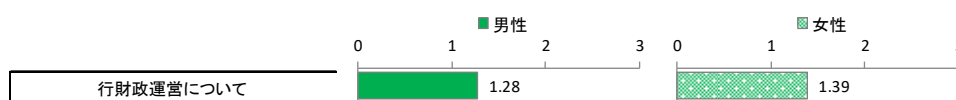
(n=1,745)

図表 4 3 行財政運営の評価平均得点（全体・性・年齢別）

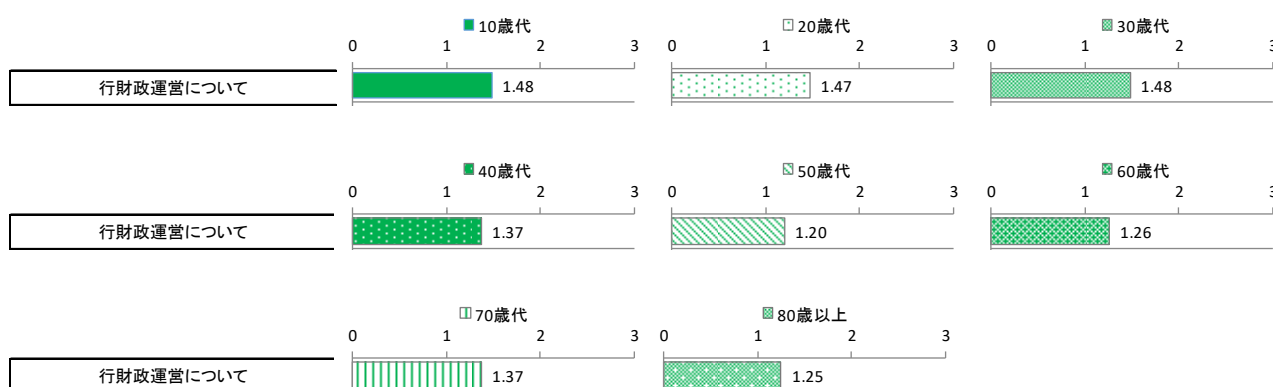
<全体>



<性別>



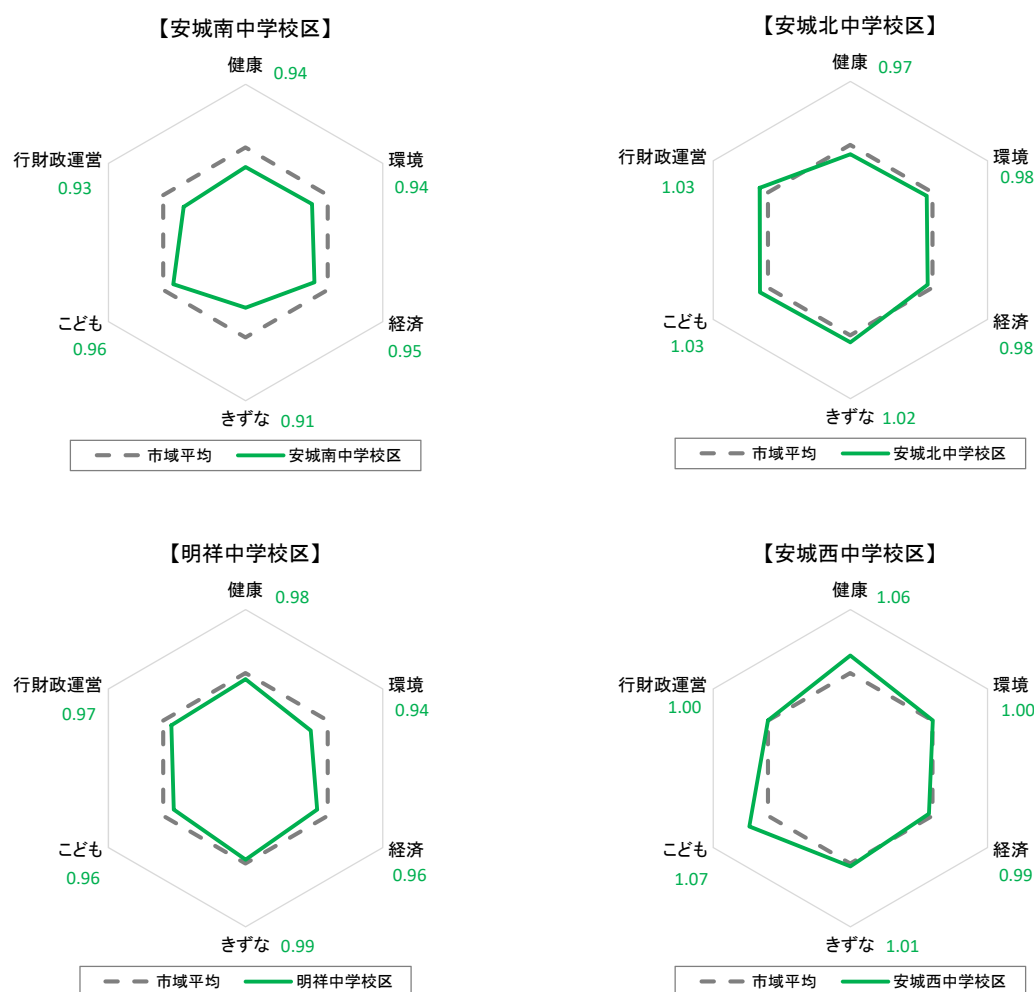
<年齢別>



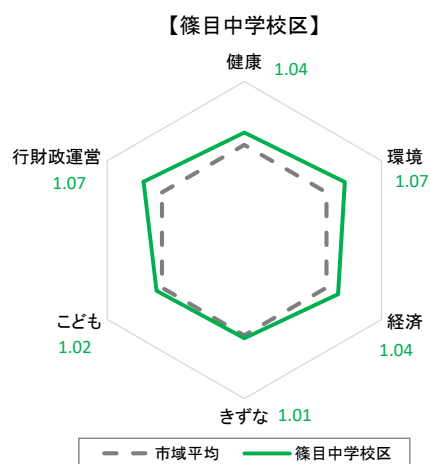
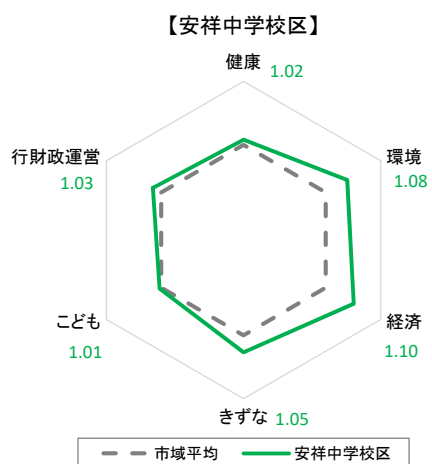
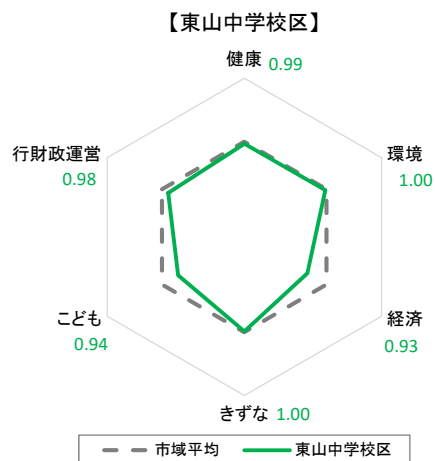
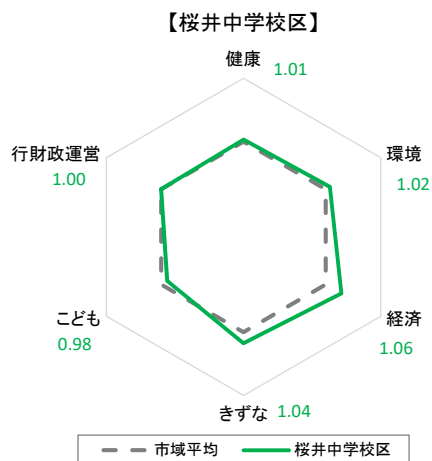
### 3) 居住地区別評価

居住地区別の重要度評価平均得点（市域平均を 1.00 として各中学校区の値を算出）をみると、安城南中学校区と明祥中学校区は全分野で市域平均よりも重要度が低くなっています。東山中学校区では「環境」「きずな」は市域平均と同値であり、他 4 分野は市域平均よりも低くなっています。安城北中学校区では「きずな」「こども」「行財政運営」、安城西中学校区では「健康」「きずな」「こども」、桜井中学校区では「こども」「行財政運営」以外の 4 分野、安祥中学校区と篠目中学校では全分野で市域平均よりも高くなっています。

図表 4 4 居住地区ごとの施策分野別重要度評価の比較（市域平均を 1.00 として算出）







|         | 健康   | 環境   | 経済   | きずな  | こども  | 行財政運営 |
|---------|------|------|------|------|------|-------|
| 市域平均    | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00 | 1.00  |
| 安城南中学校区 | 0.94 | 0.94 | 0.95 | 0.91 | 0.96 | 0.93  |
| 安城北中学校区 | 0.97 | 0.98 | 0.98 | 1.02 | 1.03 | 1.03  |
| 明祥中学校区  | 0.98 | 0.94 | 0.96 | 0.99 | 0.96 | 0.97  |
| 安城西中学校区 | 1.06 | 1.00 | 0.99 | 1.01 | 1.07 | 1.00  |
| 桜井中学校区  | 1.01 | 1.02 | 1.06 | 1.04 | 0.98 | 1.00  |
| 東山中学校区  | 0.99 | 1.00 | 0.93 | 1.00 | 0.94 | 0.98  |
| 安祥中学校区  | 1.02 | 1.08 | 1.10 | 1.05 | 1.01 | 1.03  |
| 篠目中学校区  | 1.04 | 1.07 | 1.04 | 1.01 | 1.02 | 1.07  |

## 4. 満足度評価平均得点と重要度評価平均得点の関係分布

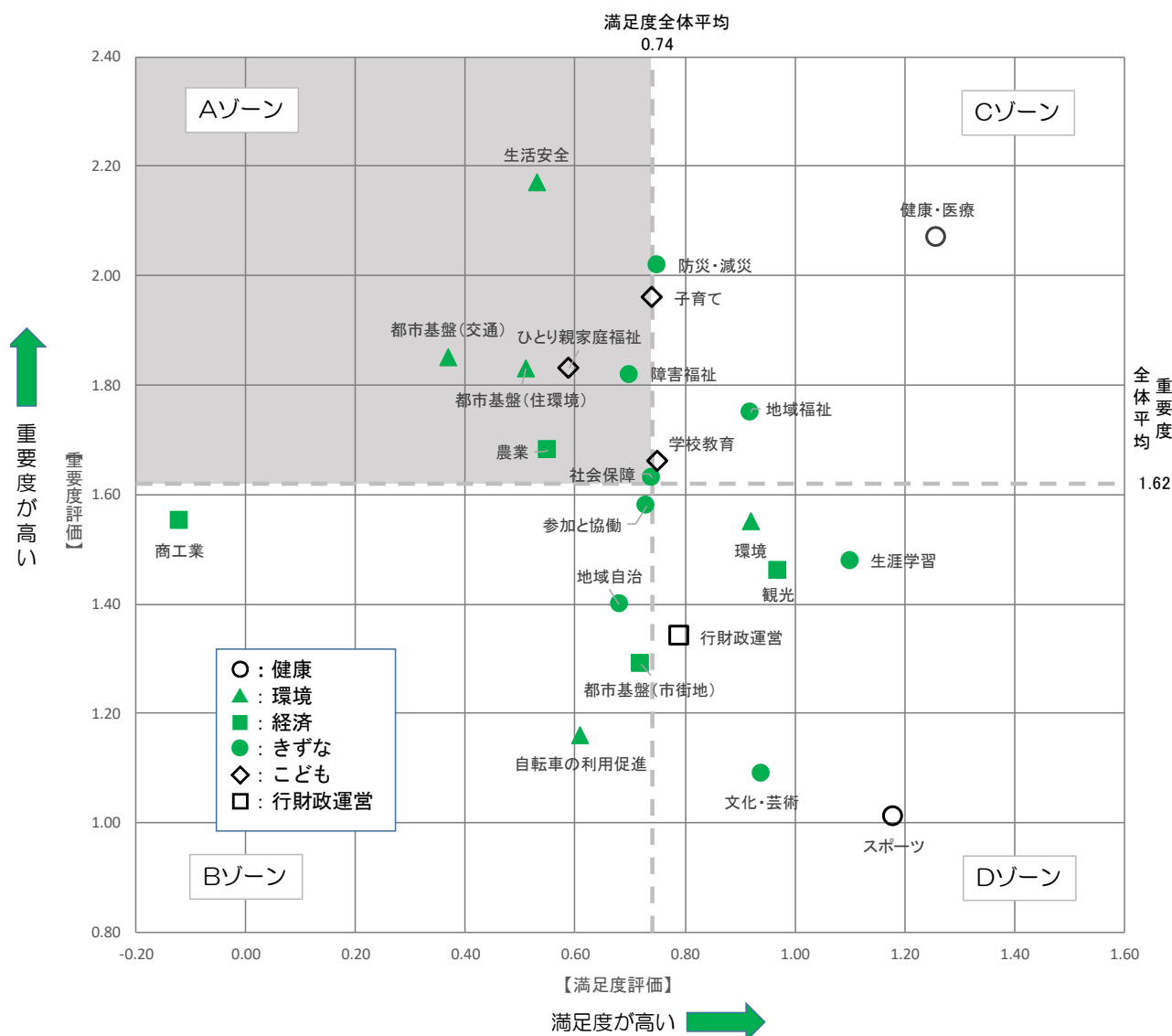
満足度を横軸に、重要度を縦軸にとって、6分野23項目の満足度評価平均得点と重要度評価平均得点の関係を分布図にしたものが次ページの図です。

満足度評価の平均得点は、-0.12 から 1.26 の範囲にあり、平均値 0.74 です。また、重要度評価の平均得点は、1.01 から 2.17 の範囲にあり、平均値は 1.62 です。

網掛けの部分の「Aゾーン」に位置する施策項目は、《施策の必要性が十分認識され、かつ今後の取組みのさらなる推進や改善に対する市民のニーズ（期待）が高い施策項目》を示しています。

今回の調査では、今後、優先的に取り組むべき施策項目として、「生活安全について」「都市基盤（交通）について」「子育てについて」「都市基盤（住環境）について」「ひとり親家庭福祉について」「障害福祉について」「農業について」「社会保障について」の8項目が該当しています。

図表 4-5 満足度評価平均得点と重要度評価平均得点の関係分布



|                                              |                                                                                                                |
|----------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>【A ゾーン】</b><br>満足度：平均値より低い<br>重要度：平均値より高い | グラフ左上に位置する取組みは、施策の必要性が十分認識されているものの、取組みに対する満足度が低く、市民が最も充実を求めていると考えられます。そのため従来の取組みに改善を加え、さらなる充実を図る必要があります。       |
| <b>【B ゾーン】</b><br>満足度：平均値より低い<br>重要度：平均値より低い | グラフ左下に位置する取組みは、施策の必要性の認識が低く、取組みに対する満足度も低いと考えられます。そのため施策の重要性に対する理解を高めるとともに取組みの見直しや方向性などを十分検討し、満足度を上げていく必要があります。 |
| <b>【C ゾーン】</b><br>満足度：平均値より高い<br>重要度：平均値より高い | グラフ右上に位置する取組みは、施策の必要性が十分認識され、その取組みにも満足されていると考えられます。今後も現在の水準を維持するため、着実な取組みが求められます。                              |
| <b>【D ゾーン】</b><br>満足度：平均値より高い<br>重要度：平均値より低い | グラフ右下に位置する取組みは、施策の必要性の認識は低く、取組みには満足されていると考えられるため、今後も現状どおりの着実な取組みが求められます。                                       |

図表 4 6 満足度と重要度の評価平均得点

| 分野        | 項目               | 満足度評価 | 重要度評価 |
|-----------|------------------|-------|-------|
| 健康        | 健康・医療について        | 1.26  | 2.07  |
|           | スポーツについて         | 1.18  | 1.01  |
| 環境        | 環境について           | 0.92  | 1.55  |
|           | 都市基盤(住環境)について    | 0.51  | 1.83  |
|           | 生活安全について         | 0.53  | 2.17  |
|           | 都市基盤(交通)について     | 0.37  | 1.85  |
|           | 自転車の利用促進について     | 0.61  | 1.16  |
| 経済        | 農業について           | 0.55  | 1.68  |
|           | 商工業について          | -0.12 | 1.55  |
|           | 観光について           | 0.97  | 1.46  |
|           | 都市基盤(市街地)について    | 0.72  | 1.29  |
| きずな       | 防災・減災について        | 0.75  | 2.02  |
|           | 地域福祉について         | 0.92  | 1.75  |
|           | 障害福祉について         | 0.7   | 1.82  |
|           | 社会保障について         | 0.74  | 1.63  |
|           | 生涯学習について         | 1.1   | 1.48  |
|           | 文化・芸術について        | 0.94  | 1.09  |
|           | 参加と協働について        | 0.73  | 1.58  |
|           | 地域自治(コミュニティ)について | 0.68  | 1.4   |
| こども       | 子育てについて          | 0.74  | 1.96  |
|           | ひとり親家庭福祉について     | 0.59  | 1.83  |
|           | 学校教育について         | 0.75  | 1.66  |
| 行財政運営について |                  | 0.79  | 1.34  |

### 3 日常生活について

#### 1. 健康状態について

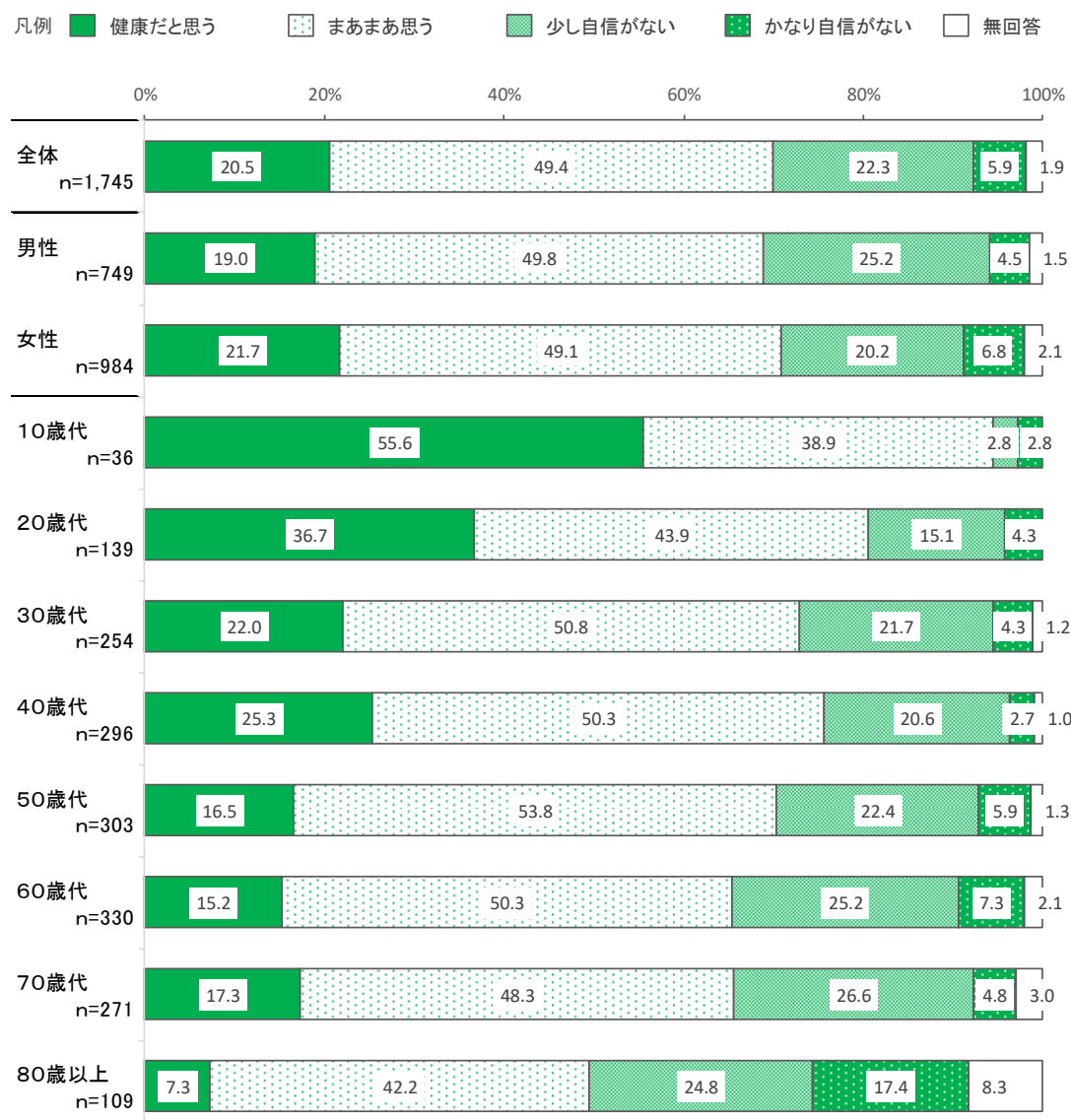
問27 ご自身は健康であると思いますか。次の中から1つ選び番号に○をつけてください。

自身の健康状態について、全体でみると、「健康だと思う」(20.5%)と「まあまあ思う」(49.4%)をあわせた“健康だと思う”が69.9%、「少し自信がない」(22.3%)と「かなり自信がない」(5.9%)をあわせた“健康に自信がない”は28.2%となっています。

性別による大きな差はみられません。

年齢別でみると、年齢が高くなるほど、“健康に自信がない”人の割合が高くなる傾向にあります。

図表47 自身の健康状態（全体・性・年齢別）



## 2. 健康のために実践していること

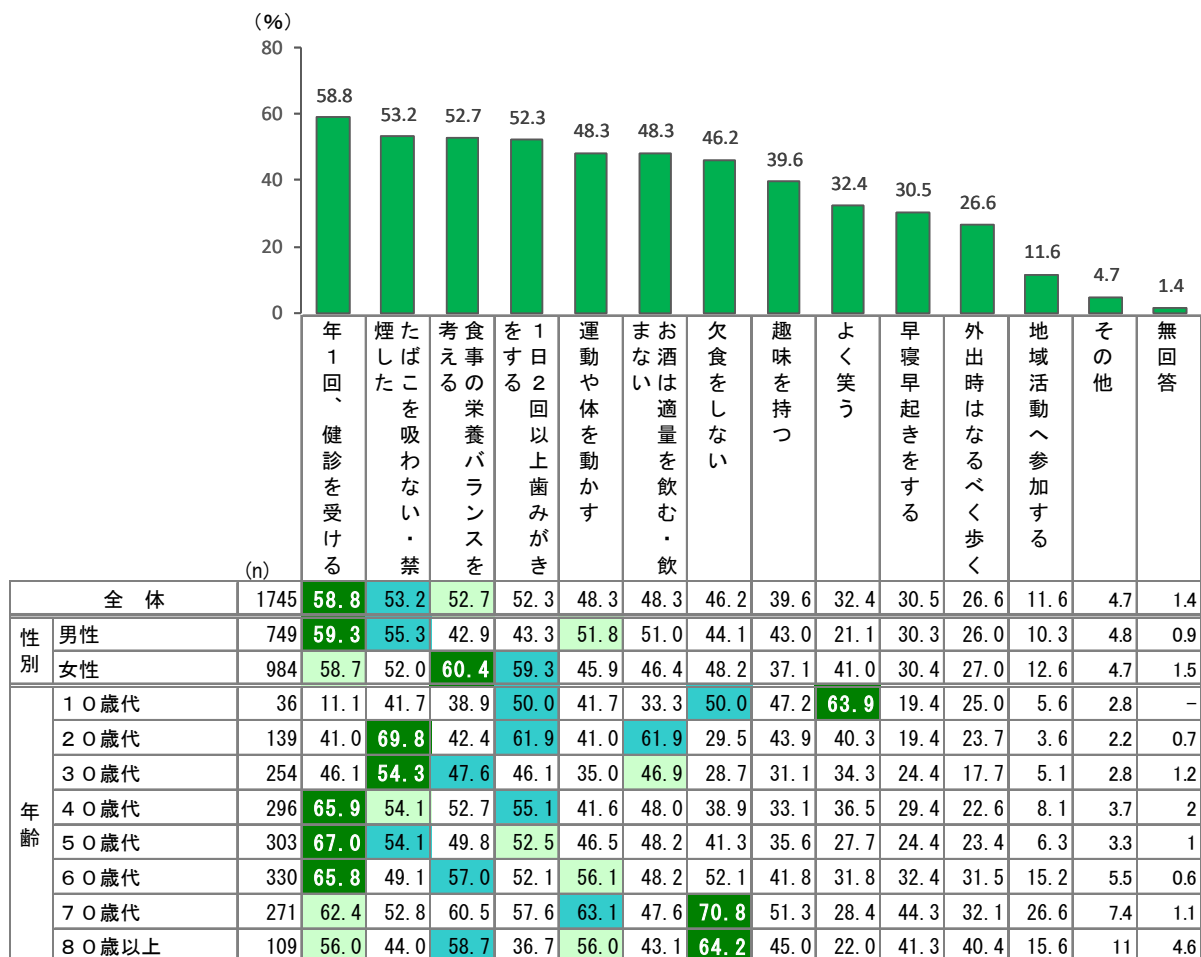
問28 普段から健康のために実践していることを教えてください。次の中から該当するもの全てに○をつけてください。

健康のために実践していることについて、全体でみると、「年1回、健診を受ける」が58.8%で最も高く、「たばこを吸わない・禁煙した」(53.2%)、「食事の栄養バランスを考える」(52.7%)の順となっています。

性別でみると、男性は「年1回、健診を受ける」(59.3%)の割合が最も高く、女性は「食事の栄養バランスを考える」(60.4%)が最も高くなっています。

年齢別でみると、10歳代では「よく笑う」、20歳代・30歳代では「タバコを吸わない・禁煙した」、40歳代～60歳代は「年1回、健診を受ける」、70歳以上で「欠食をしない」の割合が高くなっています。

図表48 健康のために実践していること（全体・性・年齢・居住地区別）



<「その他」の回答>

- ラジオ体操や、ウォーキングなど体を動かす
- バランスよく食べることや、食べ過ぎないことなど食事に気を付ける
- カラオケに行ったり、旅行に行くなど趣味を楽しむ 等

### 3. 1日の歩行時間

問29 1日にどれくらいの時間を歩きますか。次の中から1つ選び番号に○をつけてください。（ウォーキング等の運動以外に通勤などの時間も含みます）

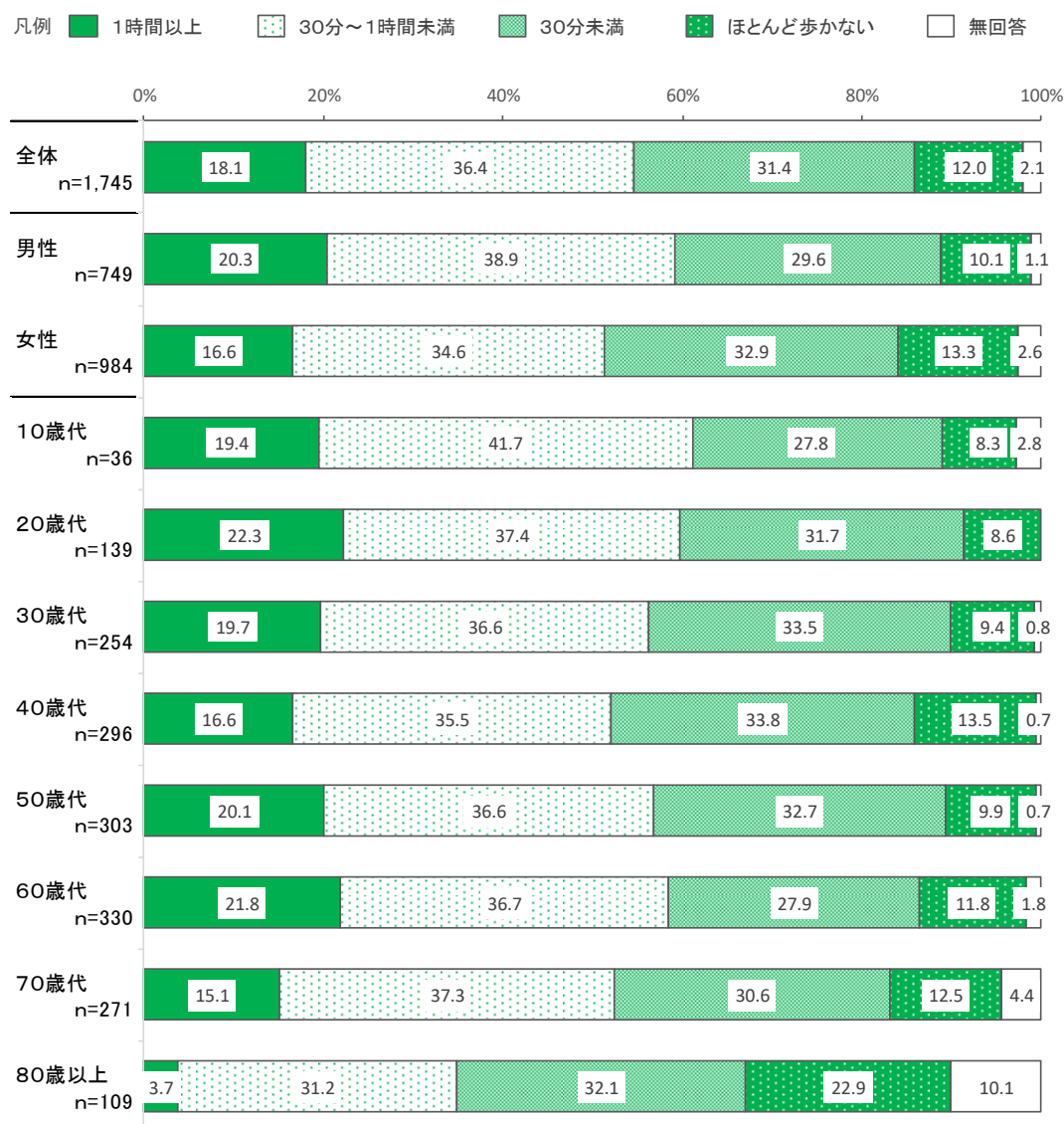
1日の歩行時間について、全体でみると、「30分～1時間未満」（36.4%）が最も高く、次いで「30分未満」（31.4%）が高くなっています。1日に“30分以上”（「30分～1時間未満」＋「1時間以上」）歩く人は54.5%となっており、半数を超えています。

性別でみると、“30分以上”歩く人は男性が59.2%、女性が51.2%となっています。

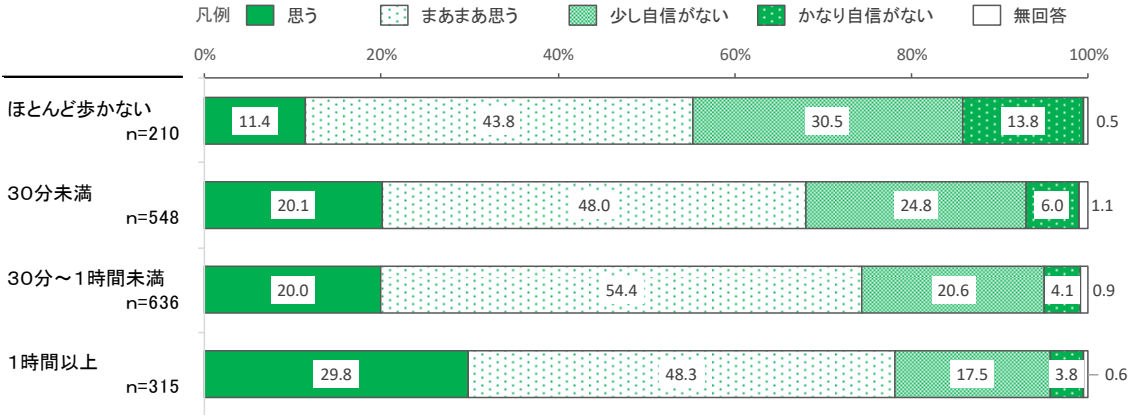
年齢別でみると、「ほとんど歩かない」人の割合は10歳代から年齢が高くなるとともに増加し、40歳代では13.5%となります。50歳代で9.9%と下がるものの、60歳代以上でまた年齢が高くなるとともに増加し、80歳以上では22.9%となります。

1日の歩行時間別の健康状態をみると、1日の歩行時間が多くなるほど、健康だと思う人の割合が増える傾向にあります。

図表49 1日の歩行時間（全体・性・年齢別）



図表 5 0 1 日の歩行時間別の健康状態





## 4. 「健康寿命」の認知

問30 「健康寿命」という言葉を知っていますか。次の中から1つ選び番号に○をつけてください。

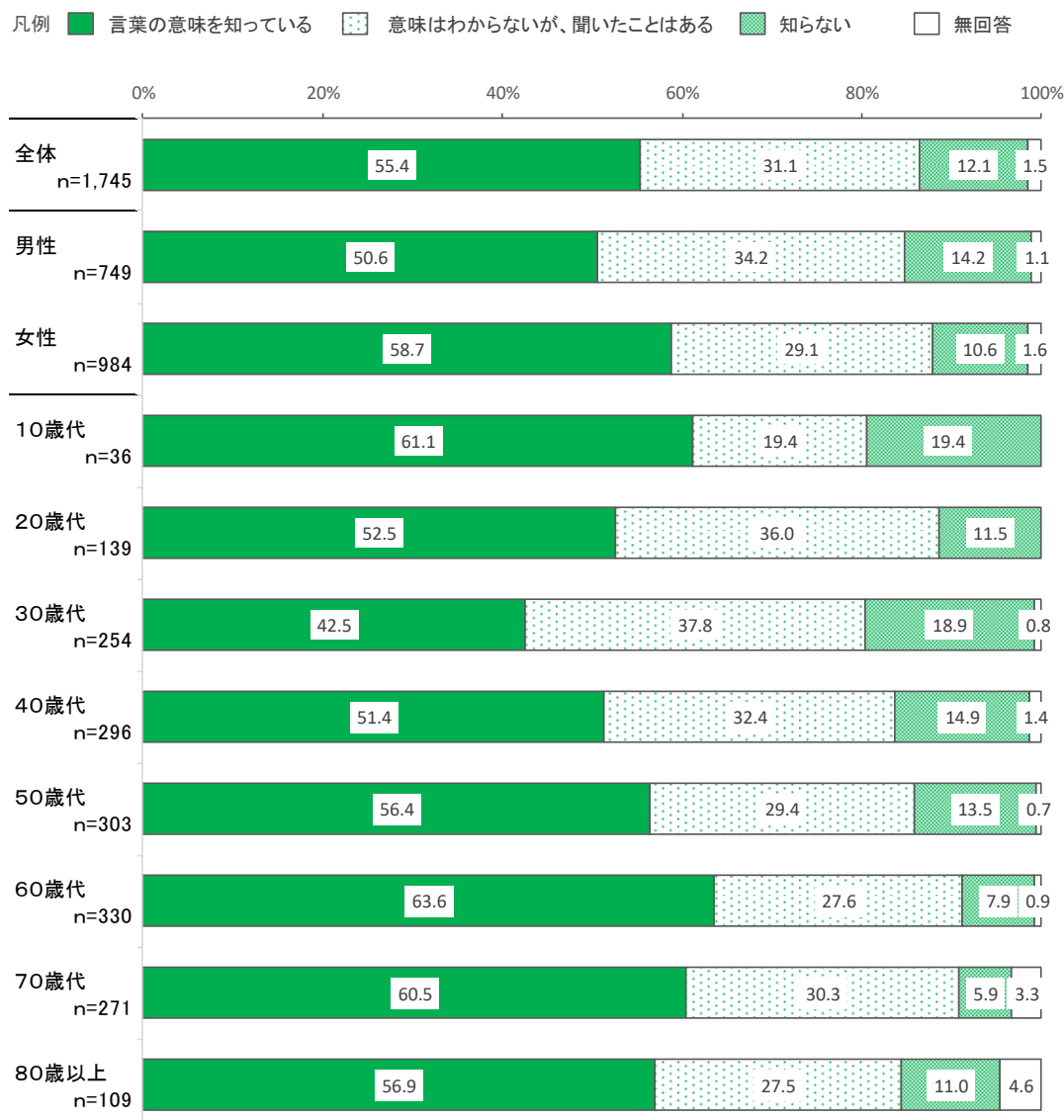
「健康寿命」の認知度について、全体でみると、「言葉の意味を知っている」が55.4%と最も高くなっています。

性別でみると、「言葉の意味を知っている」は、男性が50.6%、女性が58.7%と女性の方が高くなっています。

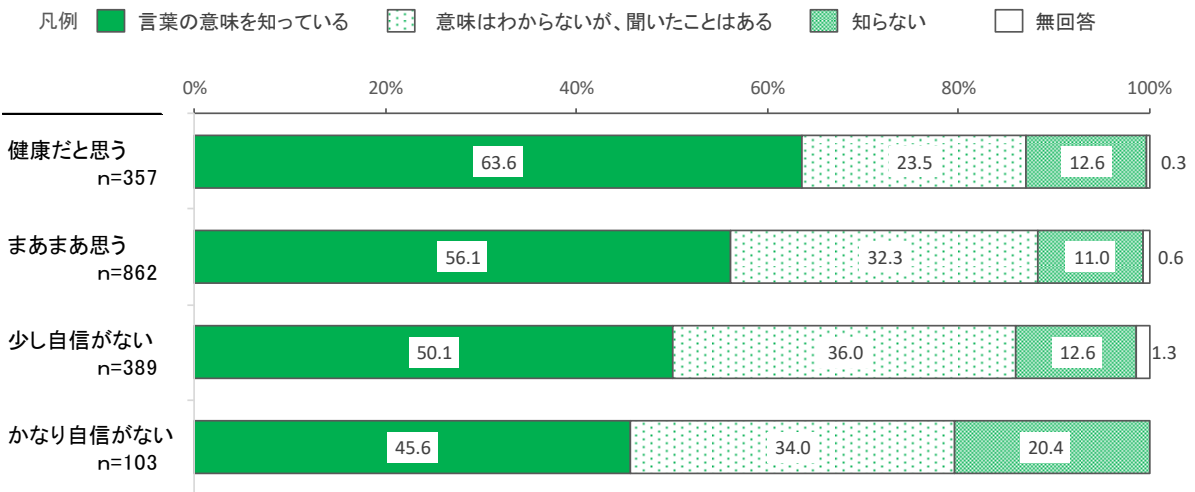
年齢別でみると、「言葉の意味を知っている」が最も低いのは30歳代で42.5%となっています。一方、最も高いのは60歳代で63.6%となっています。

健康状態別でみると、「健康だと思う」人で「言葉の意味を知っている」人は63.6%となっており、健康に自信がないと思う人は、「言葉の意味を知っている」人の割合が低くなる傾向にあります。

図表5-1 「健康寿命」の認知度（全体・性・年齢別）



図表 5 2 「健康寿命」の認知度（健康状態別）



## 5. スポーツ・運動の頻度

問31 普段どれくらいの頻度でスポーツ・運動をしていますか。次の中から1つ選び番号に○をつけてください。(ウォーキング、サイクリングやレクリエーション等の運動も含みます)

スポーツ・運動の頻度について、全体でみると、「スポーツ・運動はしない」が35.6%と最も高く、次いで「週に1～2日」(24.5%)、「週に3～4日」(13.8%)となっています。“週に1日以上”(「週に5日以上」+「週に3～4日」+「週に1～2日」)は48.6%となっています。

性別でみると、男性は“週に1日以上”が54.0%、「スポーツ・運動はしない」が29.9%となっており、女性は“週に1日以上”が44.5%、「スポーツ・運動はしない」(40.1%)となっています。

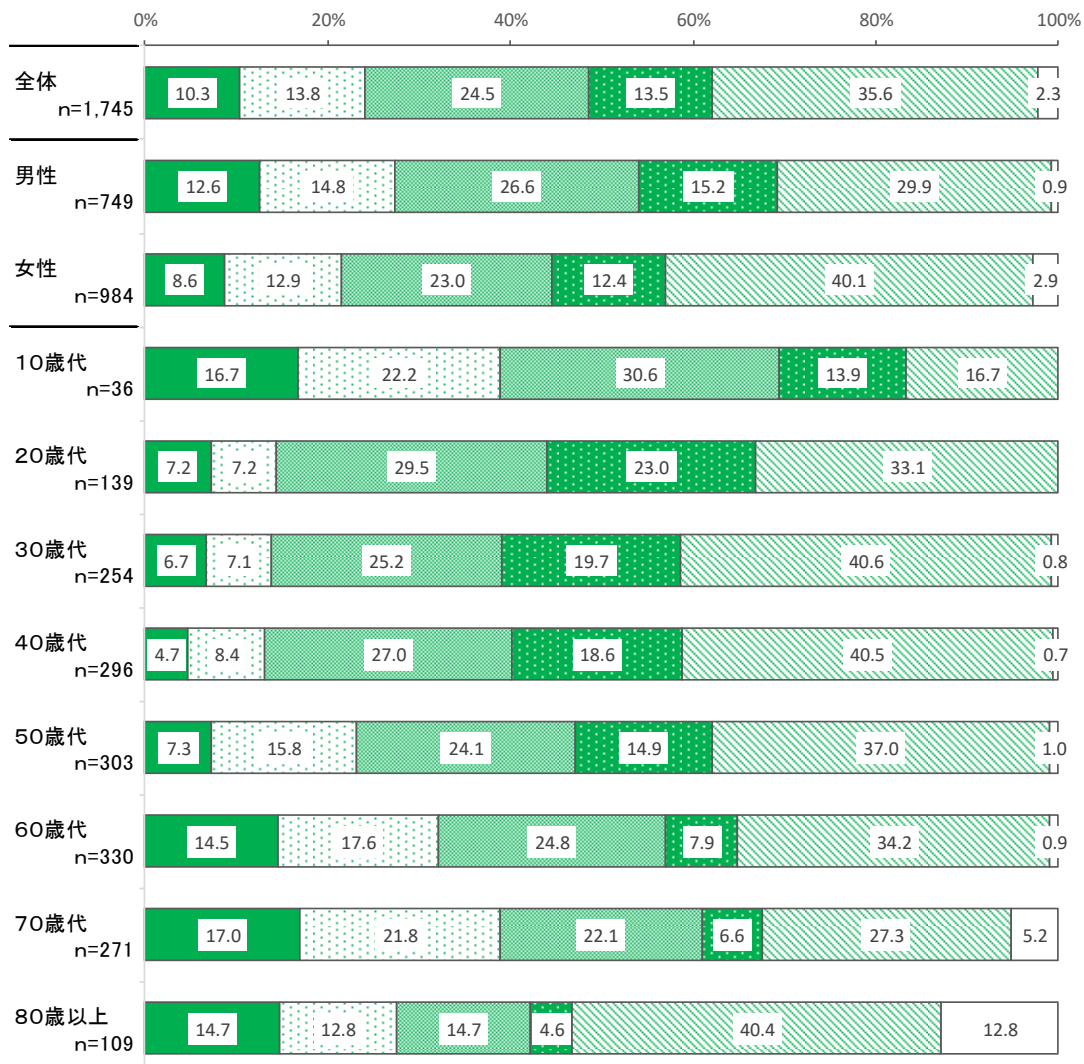
年齢別でみると、“週に1日以上”は、10歳代(69.5%)が最も高く、70歳代(60.9%)、60歳代(56.9%)の順となっています。

一方、「スポーツ・運動をしない」は、30歳代・40歳代・80歳代で4割を超えています。

スポーツ・運動の頻度別の健康状態をみると、“月に1日以上”スポーツ・運動をしている人で“健康だと思う”人は7割を超えていますが、「スポーツ・運動はしない」人は6割程度にとどまっています。

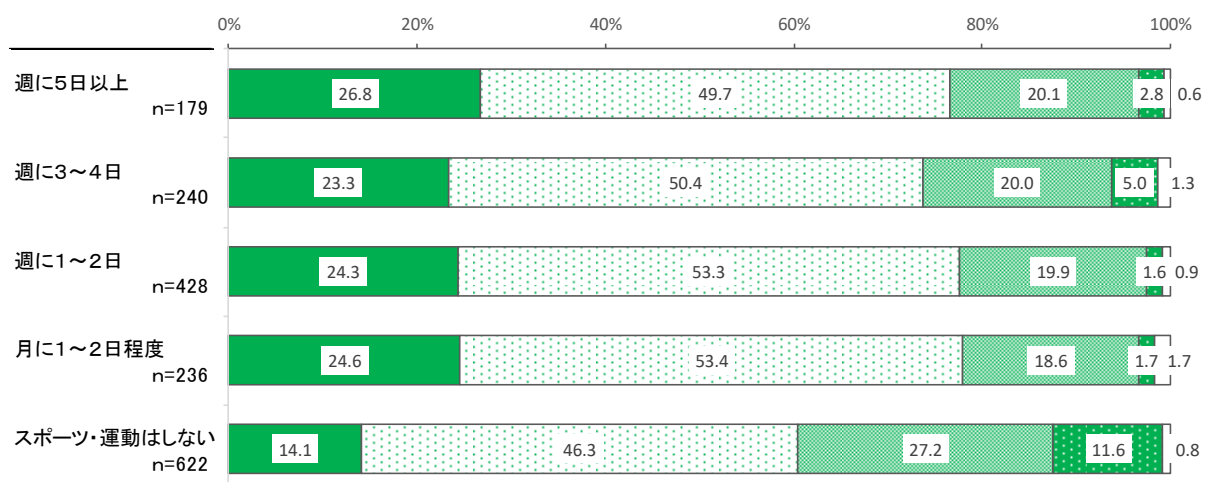
図表 5 3 スポーツ・運動の頻度（全体・性・年齢別）

凡例 ■ 週に5日以上 ■ 週に3～4日 ■ 週に1～2日 ■ 月に1～2日程度 ■ スポーツ・運動はしない □ 無回答



図表 5 4 スポーツ・運動の頻度（健康状態別）

凡例 ■ 健康だと思う ■ まあまあ思う ■ 少し自信がない ■ かなり自信がない □ 無回答



## 6. 外出先への移動手段

問32 安城市内での日常よく外出する場所への移動手段として、主にどのような交通手段を使っていますか。次の中から1つ選び番号に○をつけてください。

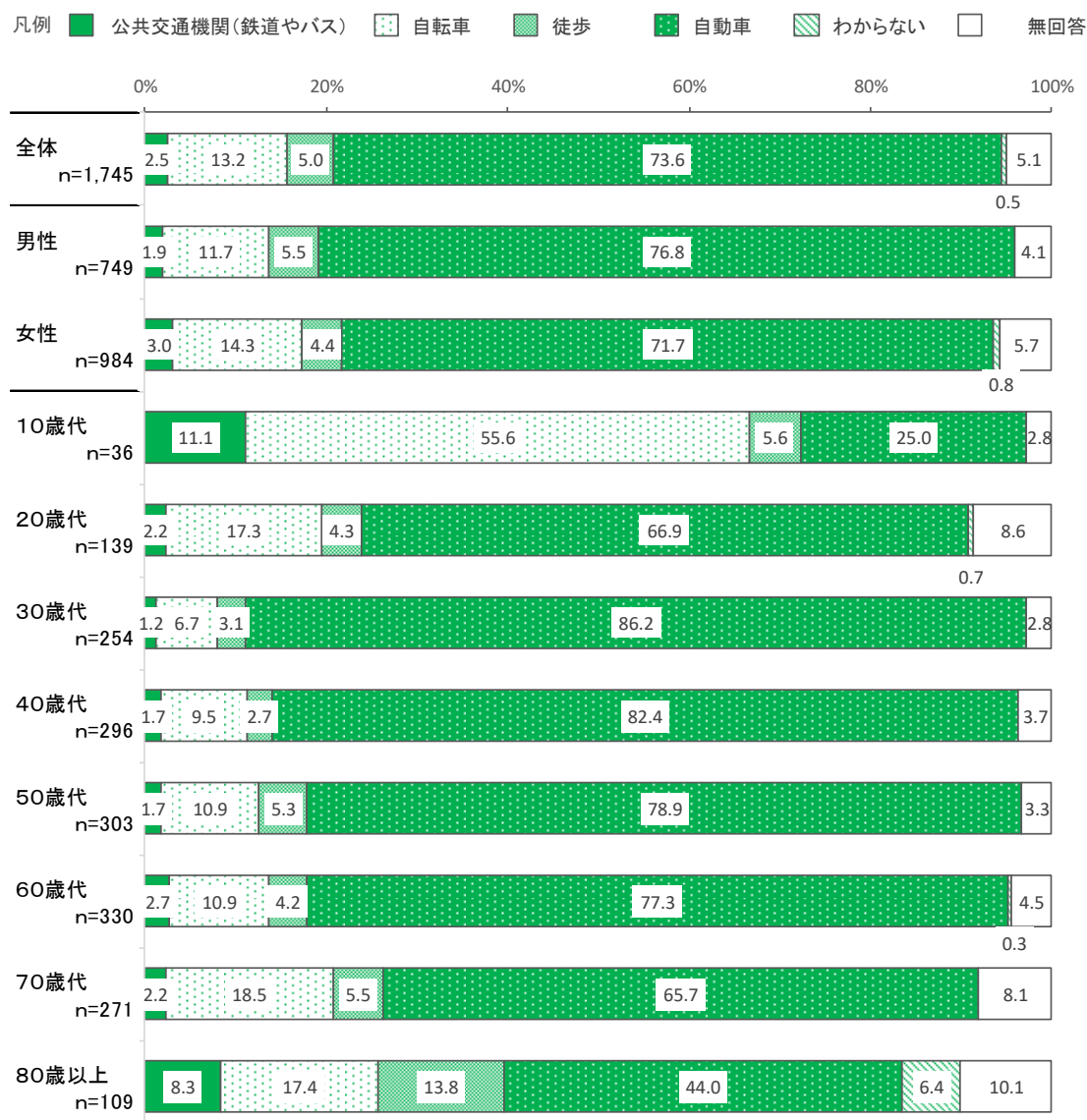
外出先への移動手段について、全体でみると、「自動車」が73.6%と最も高くなっています。次いで、「自転車」(13.2%)、「徒歩」(5.0%)の順となっています。

性別による大きな差はみられません。

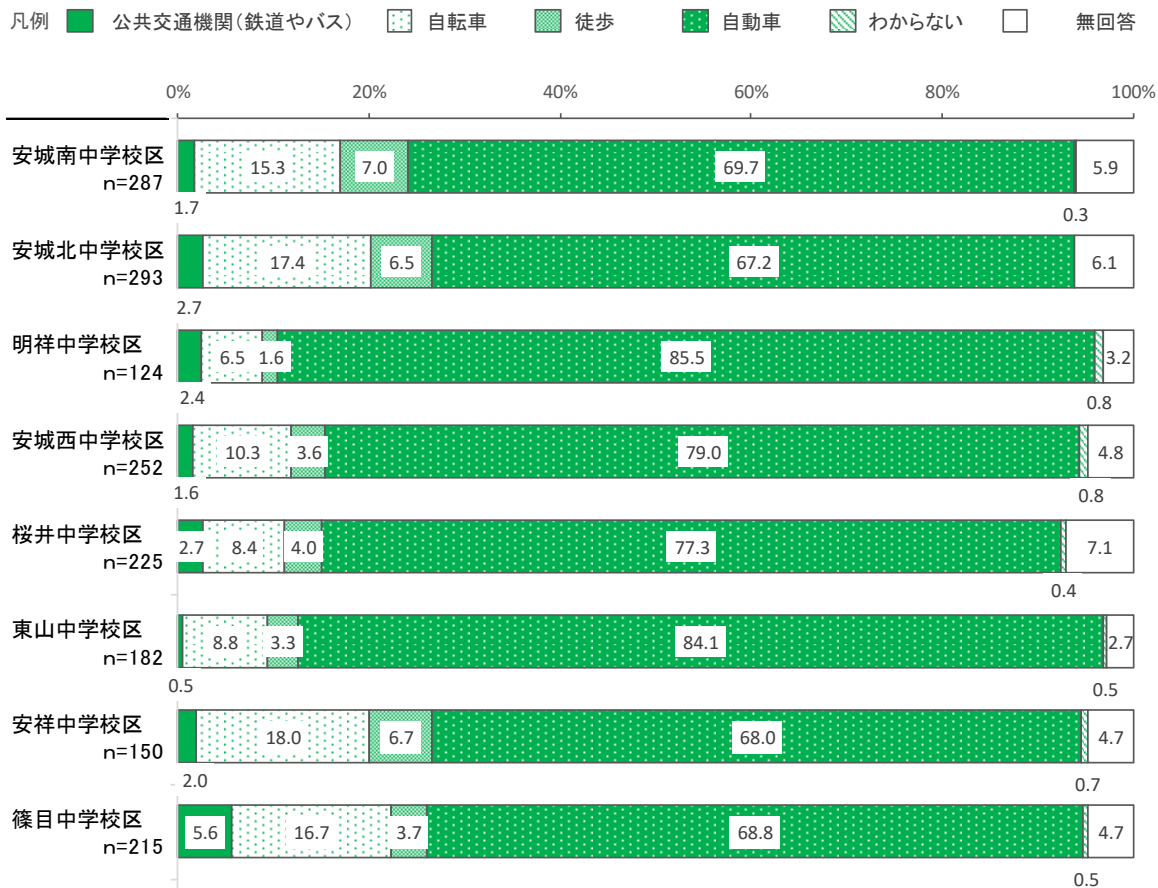
年齢別でみると、10歳代では「自転車」(55.6%)が最も高く、次いで「自動車」(25.0%)となっています。20歳代以上では、「自動車」が最も高く、特に30歳代～60歳代では7割を超えています。20歳代・70歳以上では「自転車」が15%以上となっています。

居住地区別でみると、すべての中学校区で「自動車」が最も高く、明祥中学校区では85.5%となっています。安城南中学校区・安城北中学校区・安祥中学校区・篠目中学校区では「自転車」が15%を超えています。

図表55 外出先への移動手段（全体・性・年齢別）



図表 5 6 外出先への移動手段（居住地区別）



## 7. 今後の公共交通や自転車の利用

問33 今後、公共交通や自転車の利用を増やしていきたいですか。次の中から1つ選び番号に○をつけてください。

今後の公共交通や自転車の利用について、全体でみると、「増やしたい」(20.4%)と「できれば増やしたい」(38.6%)をあわせた“増やしたい”は59.0%となっています。

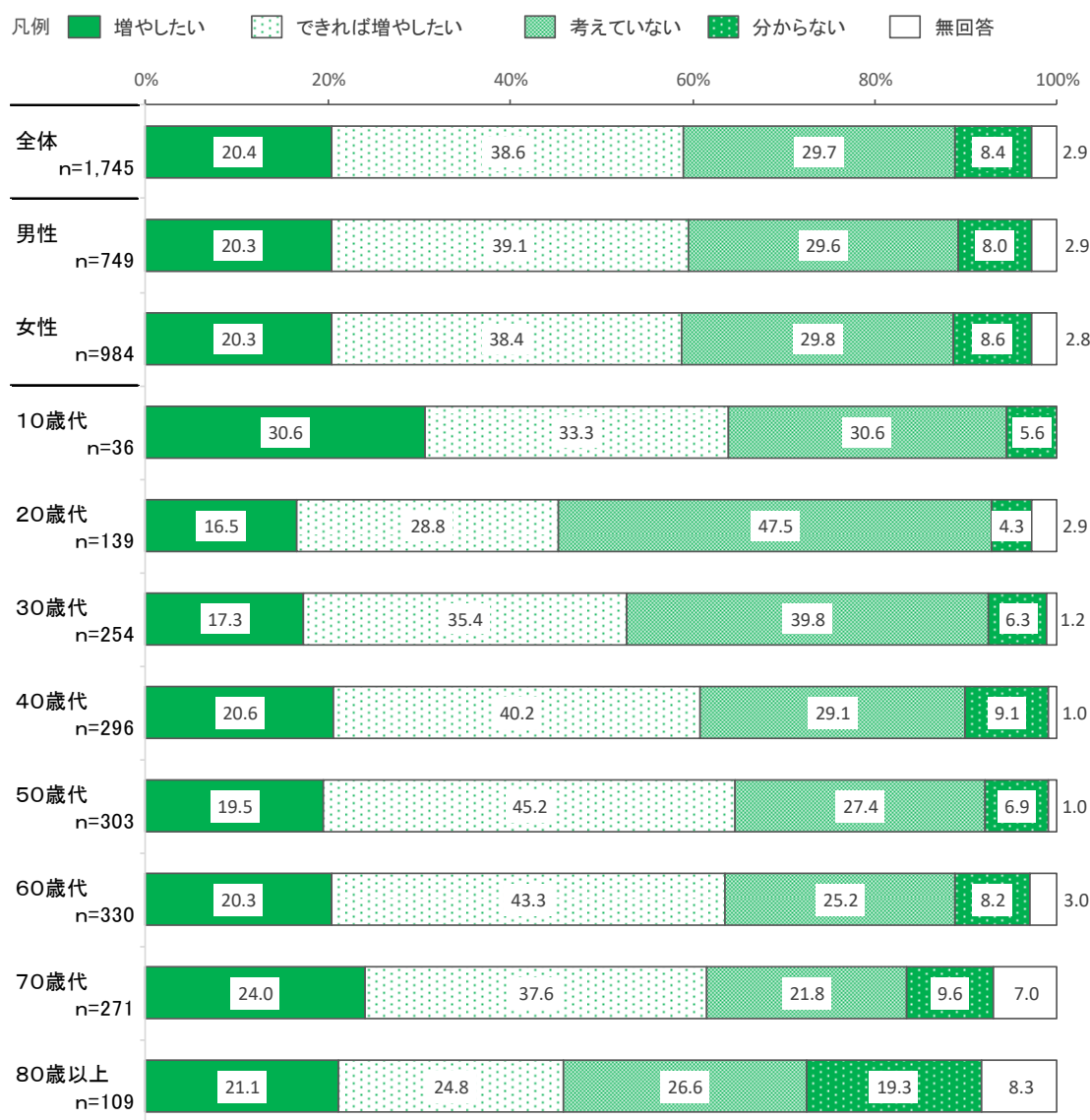
性別による大きな差はみられません。

年齢別でみると、10歳代・40歳代～70歳代では“増やしたい”が6割を超えています。一方で、20歳代では「考えていない」が47.5%となっています。

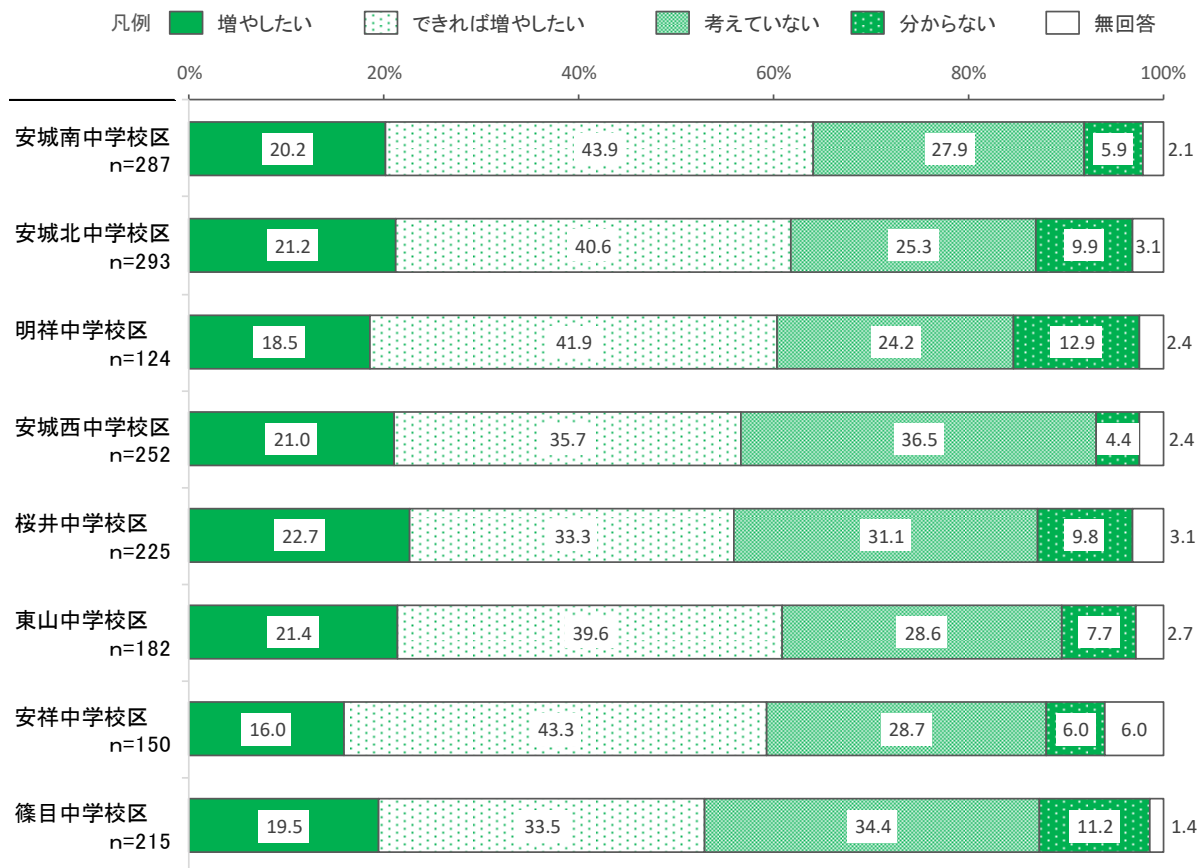
居住地区別でみると、安城南中学校区・安城北中学校区・明祥中学校区・東山中学校区では“増やしたい”が6割を超えています。

外出先への移動手段別でみると、公共交通機関・自転車・徒歩で主に移動している人は、“増やしたい”が6割を超えています。

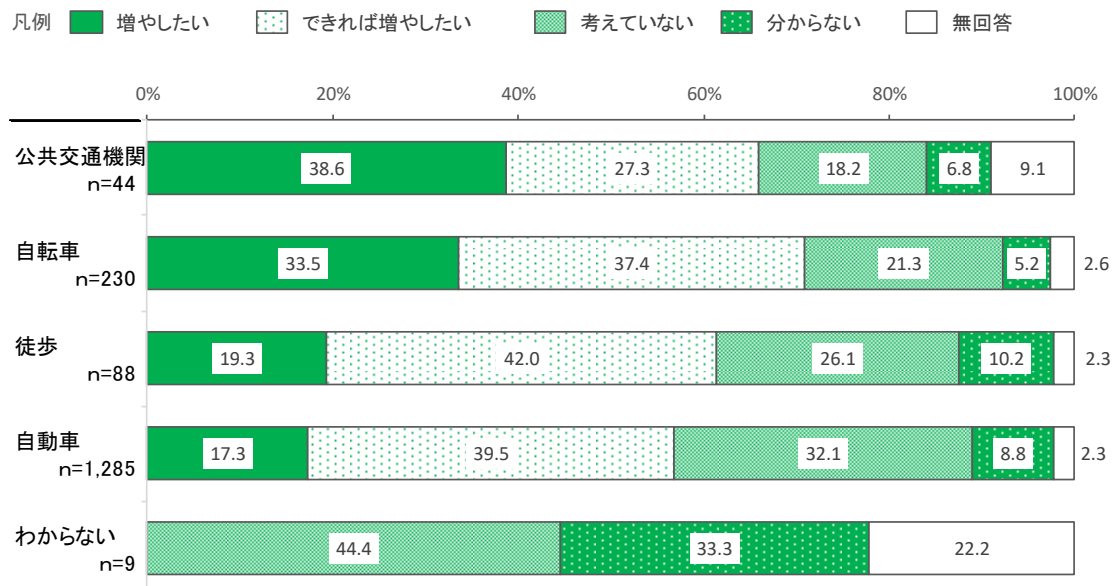
図表57 今後の公共交通や自転車の利用（全体・性・年齢別）



図表 5 8 今後の公共交通や自転車の利用（居住地区別）



図表 5 9 今後の公共交通や自転車の利用（外出先への移動手段別）





## 8. 安城市の文化や芸術への愛着や誇り

問34 本市の文化や芸術に愛着や誇りを感じますか。次の中から1つ選び番号に○をつけてください。

### 主な取組み

- ・ 市民芸術祭（安美展、市民文芸まつりなど）の開催
- ・ 歴史博物館企画展の開催
- ・ 歴史の散歩道の充実

安城市の文化や芸術への愛着や誇りについて、全体でみると、愛着や誇りを「感じる」(10.5%)と「どちらかといえばそう感じる」(28.7%)をあわせた“感じる”は39.2%となっています。

性別による大きな差はみられません。

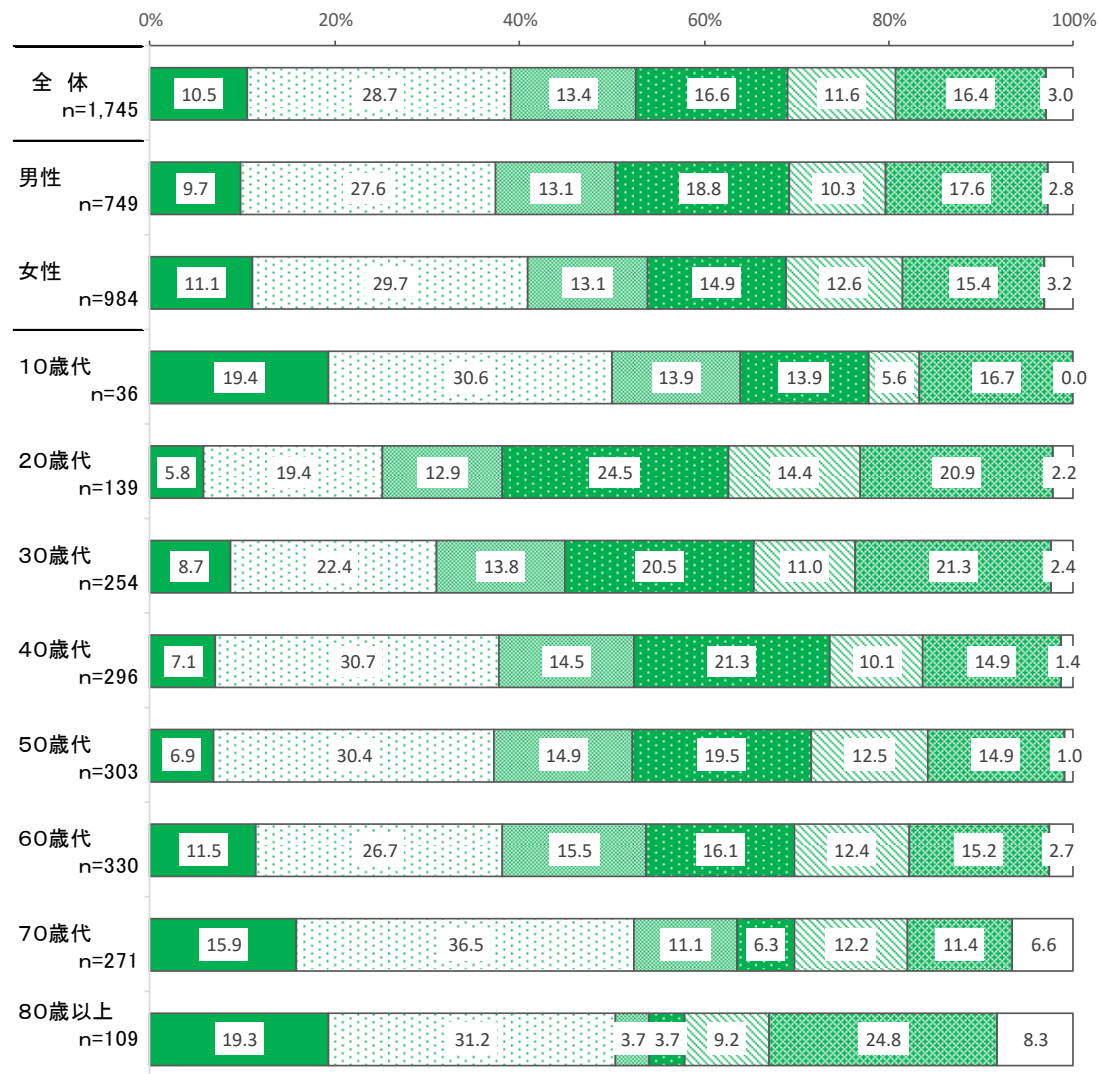
年齢別でみると、10歳代・70歳以上では“感じる”が半数を超えています。一方で、20歳代では25.2%、30歳代～60歳代は3割台となっています。

居住地区別でみると、“感じる”が最も高いのは桜井中学校区(49.7%)となっています。

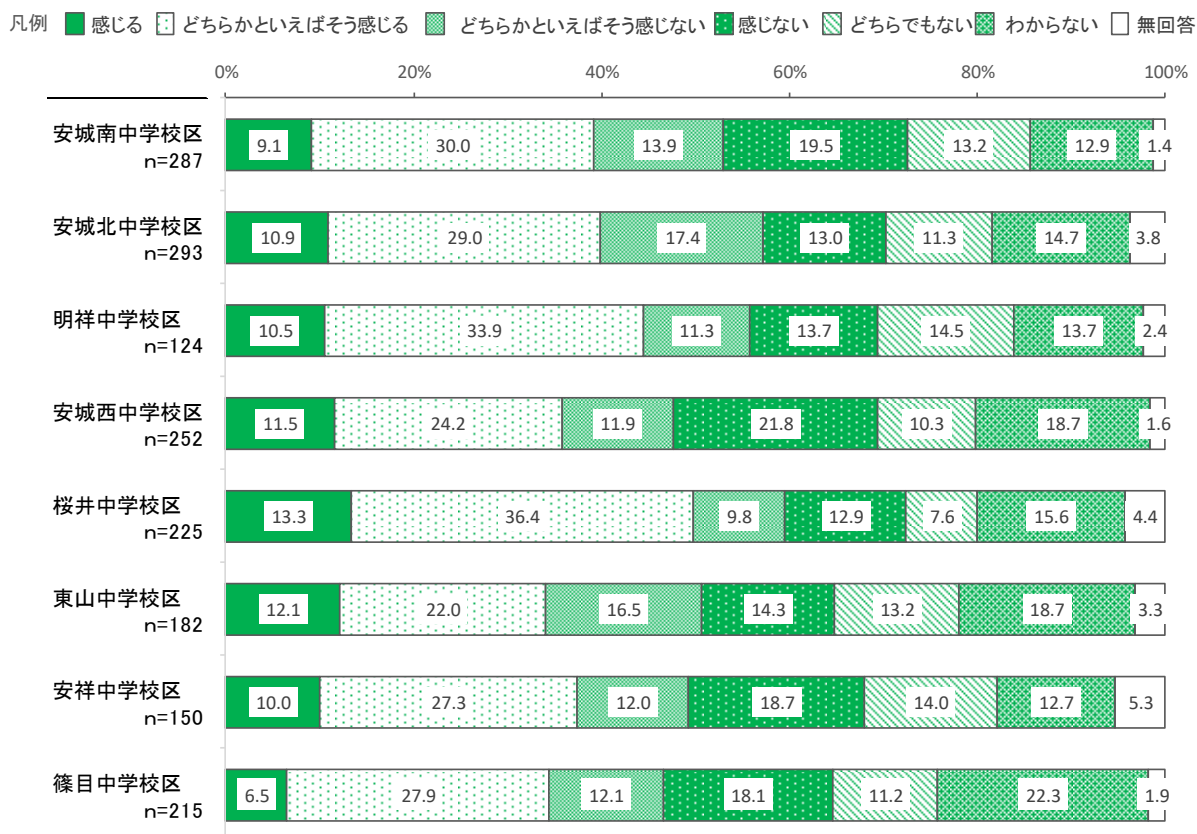
居住年数別でみると、年数が長いほど“感じる”と答える割合が増える傾向にあります。

図表 6 0 安城市の文化や芸術への愛着や誇り（全体・性・年齢別）

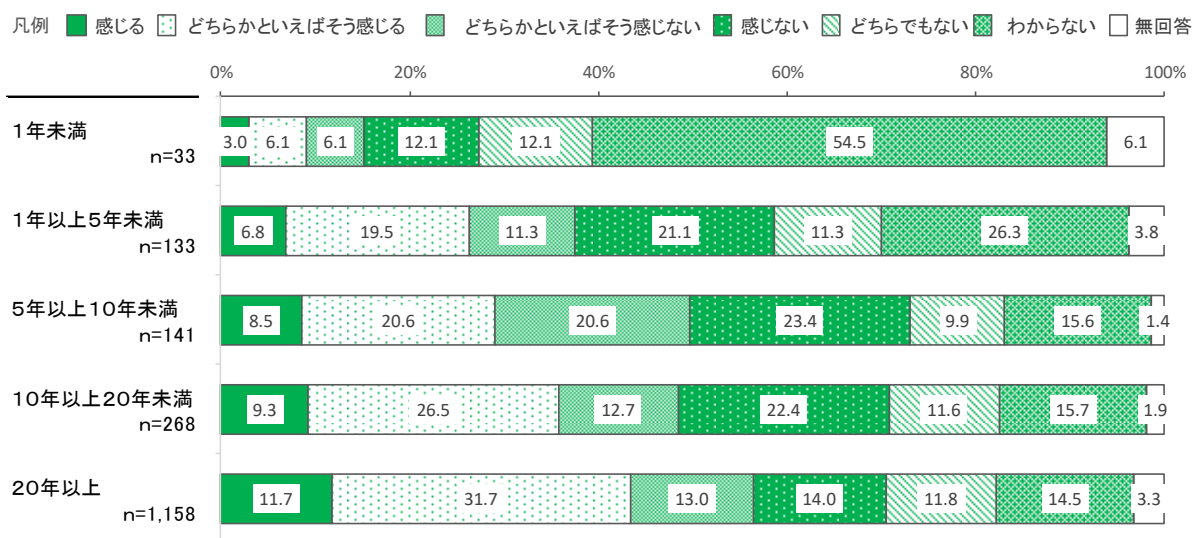
凡例 ■感じる ■どちらかといえばそう感じる ■どちらかといえばそう感じない ■感じない ■どちらでもない ■わからない □無回答



図表 6 1 安城市の文化や芸術への愛着や誇り（居住地区別）



図表 6 2 安城市の文化や芸術への愛着や誇り（居住年数別）



## 9. デンパークの満足度

問35 本市の貴重な観光資源であるデンパークについてお聞きします。次の中から1つ選び番号に○をつけてください。

### 主な取組み

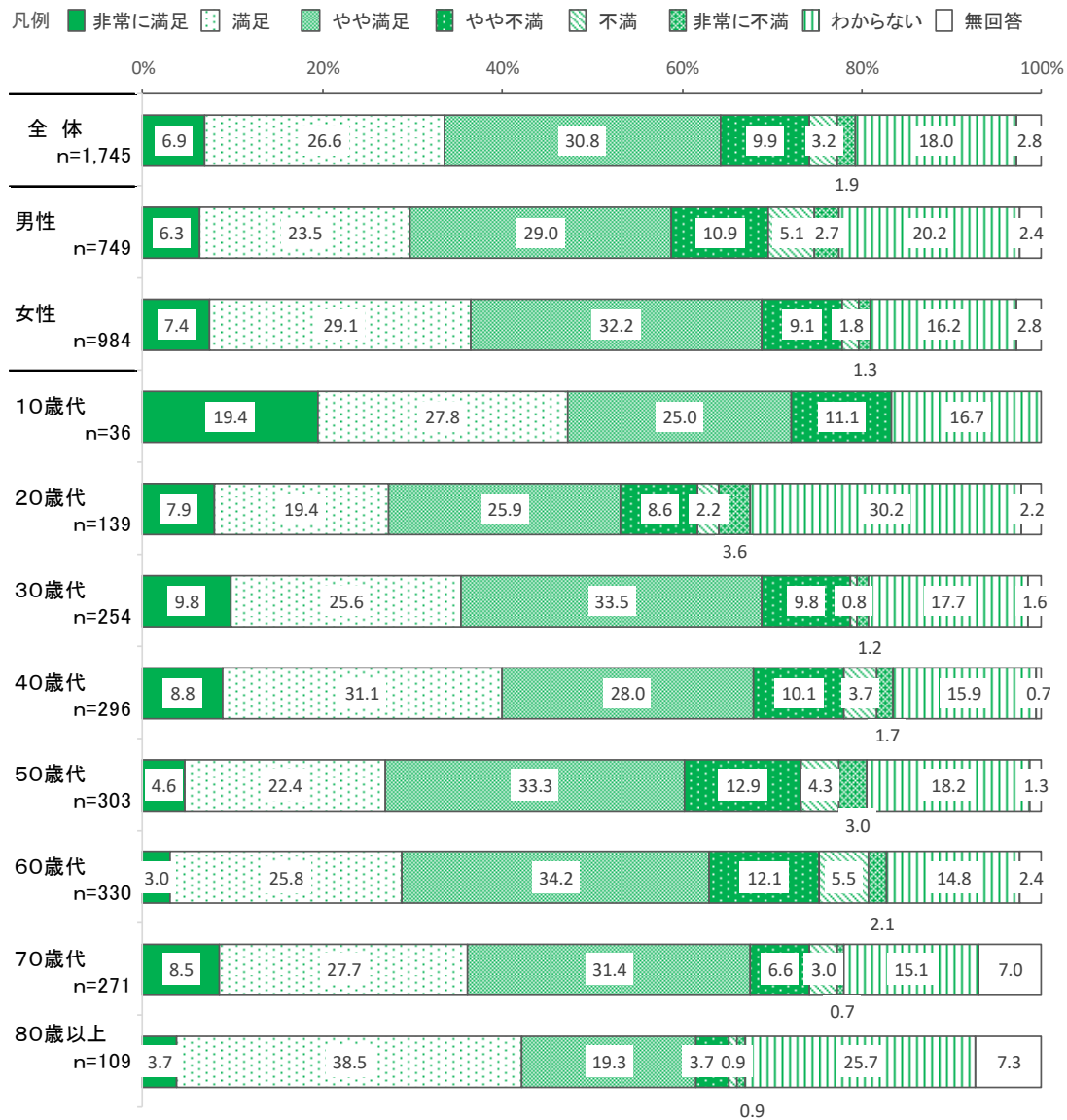
- ・花と緑の魅力ある公園づくり
- ・地元農産物や特産品のPR等地場産業の振興
- ・開園20周年を記念した子どもの遊び場リニューアルや様々なイベント

デンパークの満足度について、全体でみると、「非常に満足」(6.9%)と「満足」(26.6%)と「やや満足」(30.8%)をあわせた“満足”は64.3%となっています。

性別でみると、“満足”が男性は58.8%、女性は68.7%となっています。

年齢別でみると、10歳代・30歳代・40歳代・70歳代では7割近くが“満足”と答えています。一方、20歳代は“満足”が53.2%と他の年齢と比べて低くなっています。

図表 6 3 デンパークの満足度（全体・性・年齢別）



## 10. 子育て中の人への就労環境の整備

問36 本市は子育て中の人の仕事しやすい環境が整っていると思いますか。次の中から1つ選び番号に○をつけてください。

### 主な取組み

- ・児童クラブの学年拡大（定員に余裕のあるクラブから6年生まで受入）
- ・低年齢児の受け入れ拡大（みのわ保育園の移転建設）
- ・子育て女性の再就職支援（セミナー、相談会の開催）

子育て中の人仕事しやすい環境が整っているかについて、全体でみると「思う」（7.9%）と「どちらかといえばそう思う」（29.4%）をあわせた“そう思う”は37.3%、「思わない」（6.5%）と「どちらかといえばそう思わない」（8.0%）をあわせた“思わない”は14.5%となっています。一方で「わからない」が41.6%となっています。

性別でみると、男性は“思う”が34.8%、“思わない”が15.4%、女性は“思う”が39.2%、“思わない”が13.8%となっています。

年齢別でみると、子育て世代の30代・40代では“思う”が45.3%・45.9%と半数近い値となっており、他の年齢と比べて高い割合となっています。他の年齢では「わからない」が4割以上となっています。

図表 6 4 子育て中の人への就労環境の整備（全体・性・年齢別）

凡例 ■ 思う □ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ 思わない ■ どちらでもない ■ わからない □ 無回答



## 1 1. 消費生活に関する相談体制

問37 本市は消費生活に関する相談体制が整っていると思いますか。次の中から1つ選び番号に○をつけてください。

### 主な取組み

- ・消費生活センターの開設（週2日から週4日体制に拡充）
- ・消費生活講座の実施

消費生活に関する相談体制が整っているかについて、全体でみると、整っていると「思う」（4.1%）と「どちらかといえばそう思う」（18.1%）をあわせた“思う”が22.2%、「思わない」（4.6%）と「どちらかといえばそう思わない」（5.4%）をあわせた“思わない”が10.0%となっています。「わからない」は60.5%となっています。

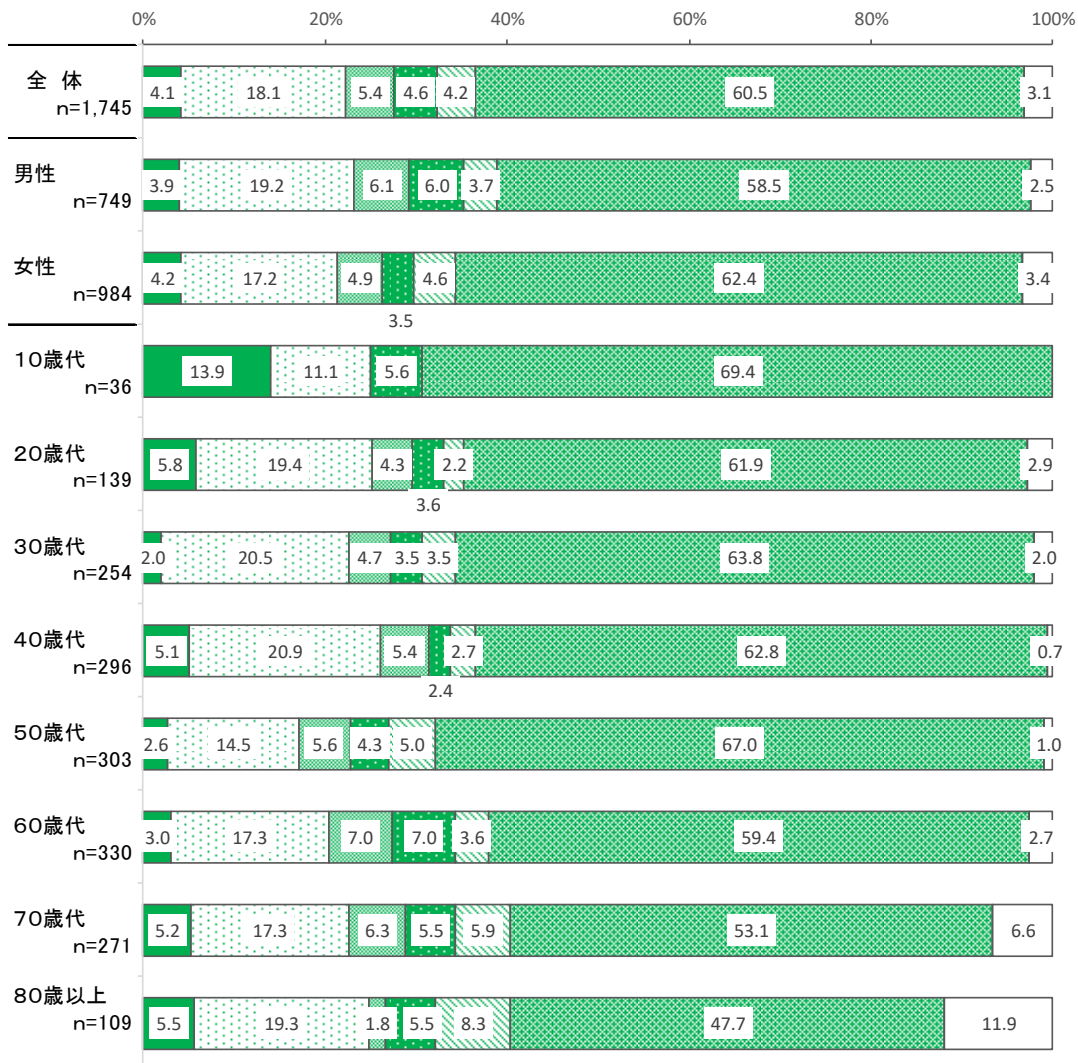
性別でみると、“思う”が男性23.1%、女性21.4%とほぼ同じですが、“思わない”は男性12.1%、女性8.4%となっています。

年齢別でみると、10歳代～50歳代では「わからない」が6割を超えています。60歳以上では年齢が高くなるにつれて「わからない」の割合が低くなる傾向にあります。



図表 6 5 消費生活に関する相談体制（全体・性・年齢別）

凡例 ■ 思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ 思わない ■ どちらでもない ■ わからない □ 無回答



## 1 2. 自治基本条例の認知度

問38 本市では市民が主役の自治の実現を目指して自治基本条例を制定しています。自治基本条例について、次の中から1つ選び番号に○をつけてください。

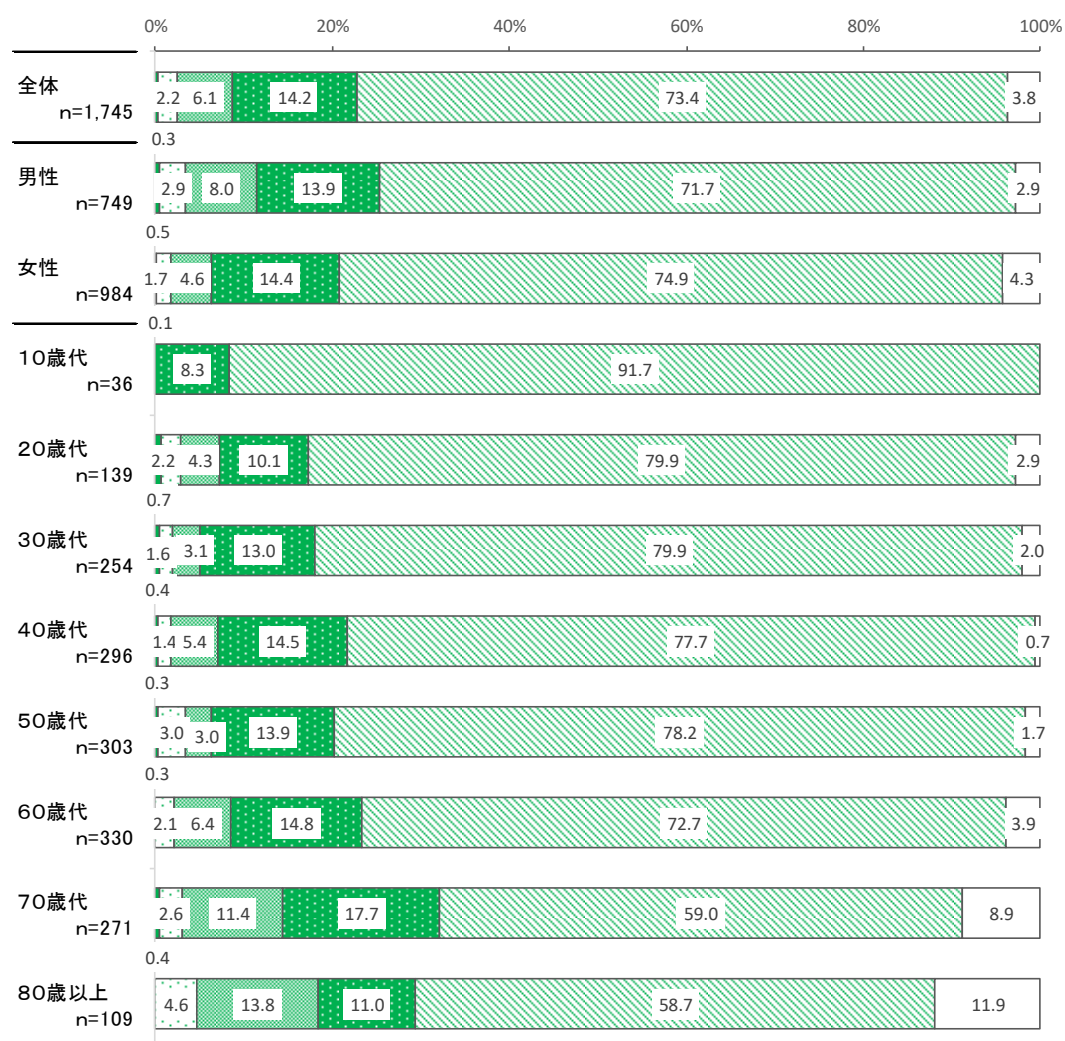
自治基本条例について、全体でみると、「知らない」が最も高く、73.4%となっています。次いで、「名前は聞いたことがある」(14.2%)となっています。「詳しく知っている」(0.3%)と「知っている」(2.2%)と「ある程度知っている」(6.1%)をあわせた“知っている”は8.6%となっています。

性別でみると、“知っている”が男性は11.4%、女性は6.4%となっています。

年齢別でみると、70歳代・80歳代では“知っている”が14.4%、18.4%となっており、他の年齢と比べると高くなっています。

図表 6 6 自治基本条例の認知度（全体・性・年齢別）

凡例 ■ 詳しく知っている ■ 知っている ■ ある程度知っている ■ 名前は聞いたことがある ■ 知らない □ 無回答



### 13. マイナンバーでの証明書等コンビニ交付サービスの利用予定状況

問39 マイナンバーカードがあればコンビニで住民票、印鑑証明書及び戸籍証明書が取得できます（ただし、一部条件により取得できない場合があります）。コンビニ交付サービスについて次の中から1つ選び番号に○をつけてください。

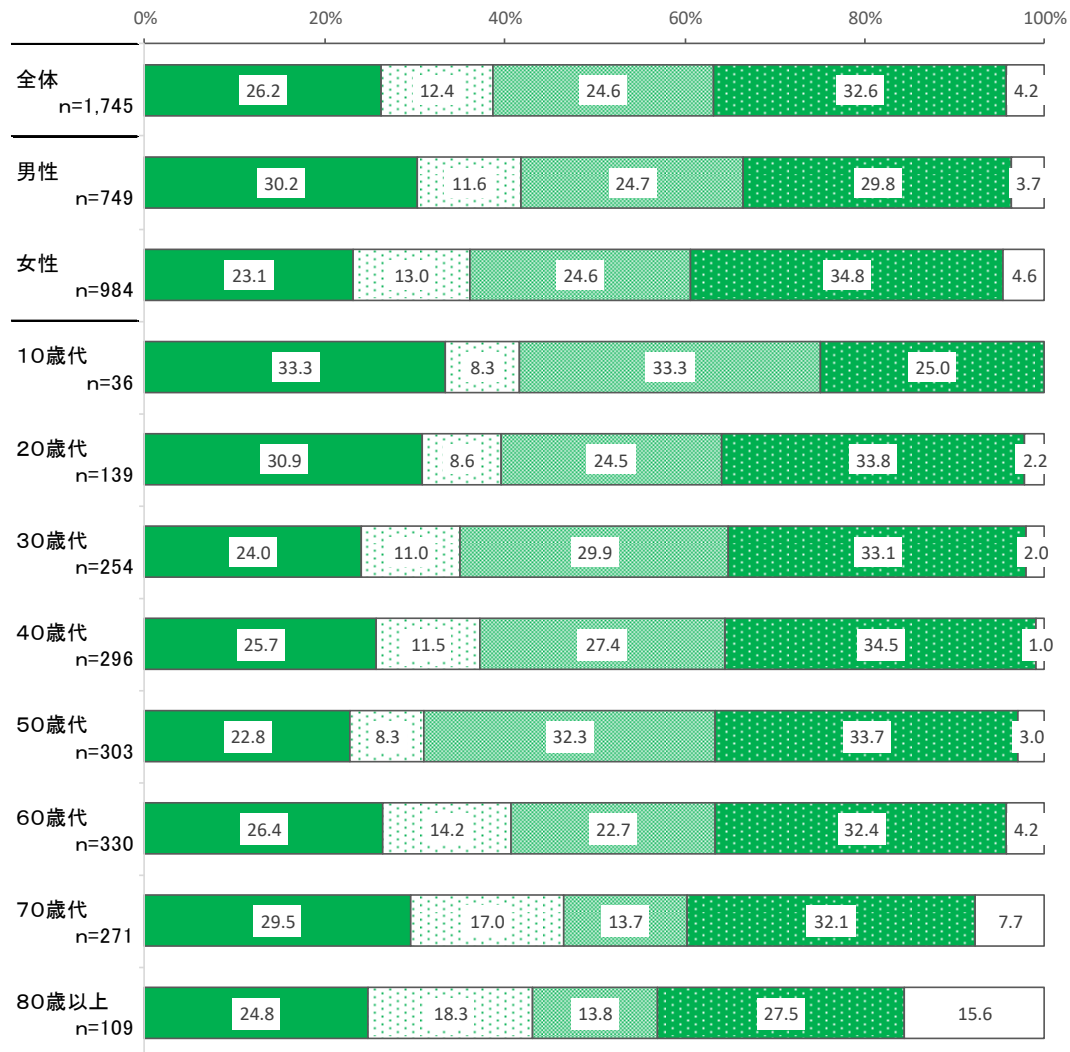
コンビニ交付サービスの利用について、全体でみると「マイナンバーカードを取得するつもりはない」が32.6%と最も高くなっています。次いで「マイナンバーカードを持っているので機会があれば利用したい」が26.2%となっています。「マイナンバーカードを持っているので機会があれば利用したい」（26.2%）と「今後、マイナンバーカードを取得して利用したい」（24.6%）をあわせた“利用したい”は50.8%となっています。

性別でみると、男性では「マイナンバーカードを持っているので機会があれば利用したい」（30.2%）、「マイナンバーカードを取得するつもりはない」（29.8%）の順となっており、女性では「マイナンバーカードを取得するつもりはない」（34.8%）、「今後、マイナンバーカードを取得して利用したい」（24.6%）の順となっています。

年齢別でみると、10歳代では“利用したい”が66.6%となっており、年齢が高くなるにつれ、“利用したい”割合が低くなる傾向にあります。

図表 6 7 マイナンバーでの証明書等コンビニ交付サービスの利用予定状況（全体・性・年齢別）

凡例 ■ マイナンバーカードを持っているので機会があれば利用したい ■ マイナンバーカードを持っているが利用するつもりはない ■ 今後、マイナンバーカードを取得して利用したい ■ マイナンバーカードを取得するつもりはない □ 無回答



## 1) 「マイナンバーカードは持っているが利用するつもりはない」理由

「マイナンバーカードを持っているが利用するつもりはない」理由として、「役所等の公的施設を利用する」「個人情報の取り扱いの不安」「情報漏えいが心配」等が挙げられました。

図表 6 8 「マイナンバーカードを持っているが利用するつもりはない」主な理由

- ・役所等の公的施設を利用する
- ・個人情報の取扱いの不安
- ・情報漏えいが心配
- ・信用ができない
- ・必要ない

## 2) 「マイナンバーカードを取得するつもりはない」理由

「マイナンバーカードを取得するつもりはない」理由としては、「必要性を感じない」「紛失が怖い」「役所等の公的施設を利用する」等が挙げられました。

図表 6 9 「マイナンバーカードを取得するつもりはない」主な理由

- ・必要性を感じない
- ・紛失が怖い
- ・役所等の公的施設を利用する
- ・利用する機会がない
- ・情報漏えいが心配
- ・取得手続きが面倒である

## 14. 「健幸」の認知度

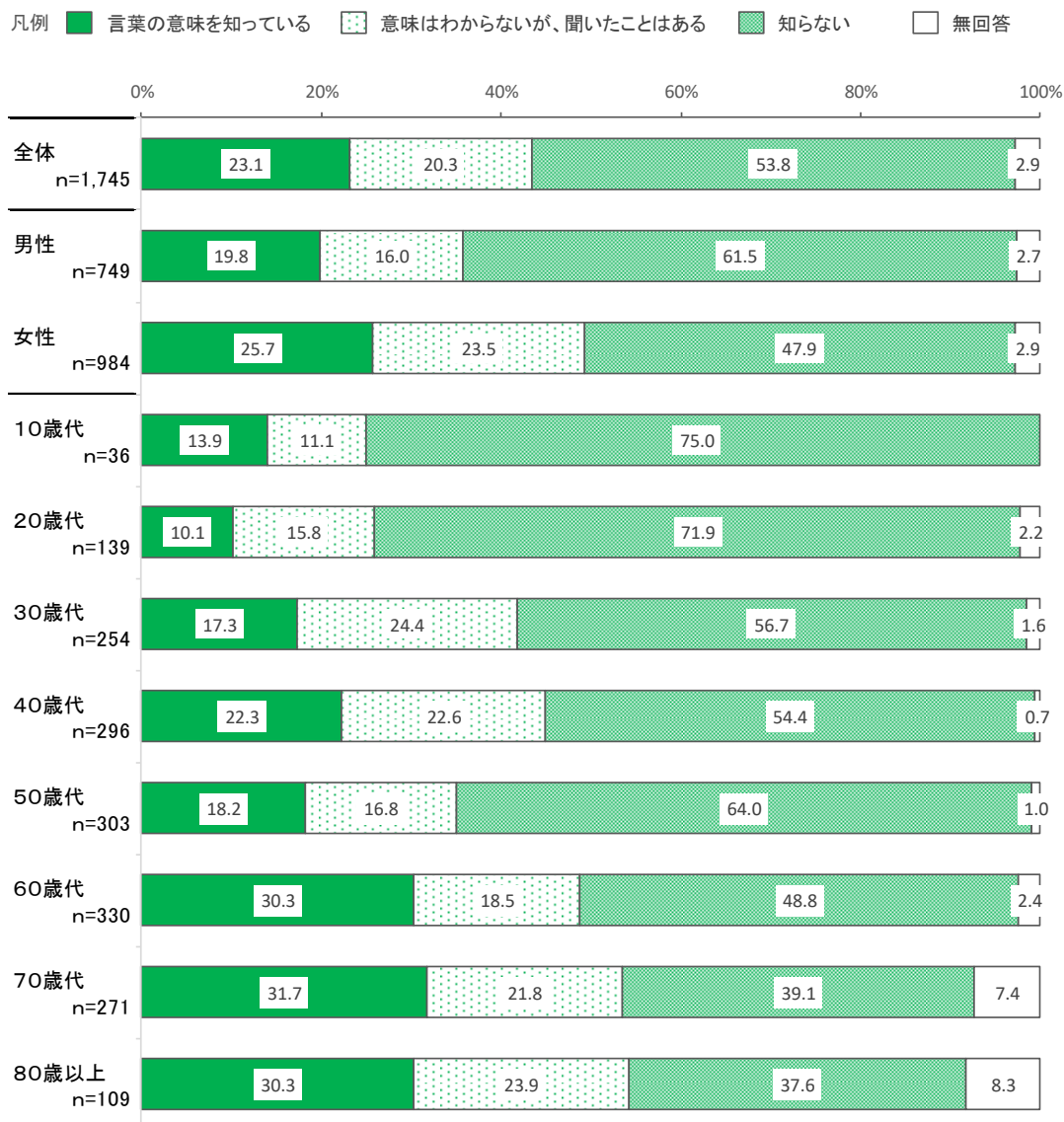
問40 「健幸（ケンサチ）」という言葉を知っていますか。次の中から1つ選び番号に○をつけてください。

「健幸」について、全体でみると、「知らない」が53.8%と最も高く、次いで「言葉の意味を知っている」（23.1%）となっています。「言葉の意味を知っている」（23.1%）と「意味はわからないが、聞いたことがある」（20.3%）をあわせた“知っている”は43.4%となっています。

性別でみると、“知っている”は男性が35.8%、女性が49.2%となっており、男性と比べて女性の方が高い割合となっています。

年齢別でみると、70歳代・80歳代では、“知っている”が5割を超えています。一方で10歳代・20歳代では、2割程度と他の年齢と比べて低くなっています。

図表70 「健幸」の認知度（全体・性・年齢別）



## 15. 「健幸」のために普段から心掛けていること

問41 「健幸（ケンサチ）」とは、市民一人ひとりが身体的・精神的に健康であることに加えて、趣味や社会貢献などの様々な活動を通じ、日々の生活に「いきがい」や「感動」を見出し、生きていることの喜びを実感することです。普段から心掛けていることを教えてください。次の中から該当するもの全てに○をつけてください。

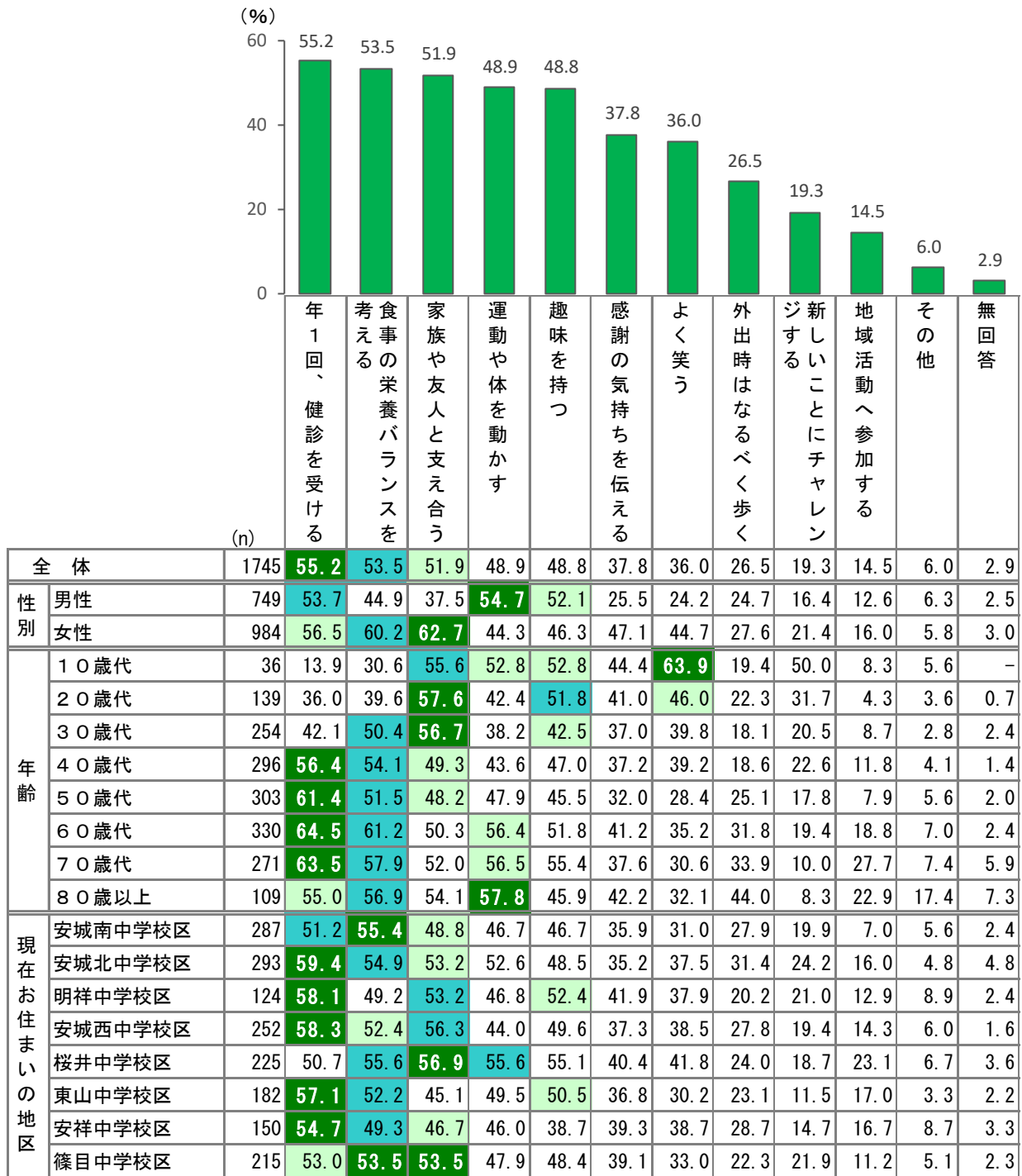
普段から心掛けていることについて、全体でみると、「年1回、健診を受ける」が55.2%と最も高くなっており、次いで「食事の栄養バランスを考える」(53.5%)、「家族や友人と支え合う」(51.9%)となっています。

性別でみると、男性は「運動や体を動かす」(54.7%)、「年1回、健診を受ける」(53.7%)、「趣味を持つ」(52.1%)、女性は「家族や友人と支え合う」(62.7%)、「食事の栄養バランスを考える」(60.2%)、「年1回、健診を受ける」(56.5%)の順となっています。

年齢別でみると、10歳代では「よく笑う」、20歳代・30歳代では「家族や友人と支え合う」、40歳代～70歳代では「年1回、健診を受ける」、80歳以上では「運動や体を動かす」が最も高くなっています。

居住地区別でみると、安城南中学校区では「食事の栄養バランスを考える」、桜井中学校区では「家族や友人と支え合う」、篠目中学校区では「食事の栄養バランスを考える」と「家族や友人と支え合う」が最も高くなっています。その他の中学校区では、「年1回、健診を受ける」が最も高くなっています。

図表 7 1 「健幸」のために普段から心掛けていること（全体・性・年齢別）



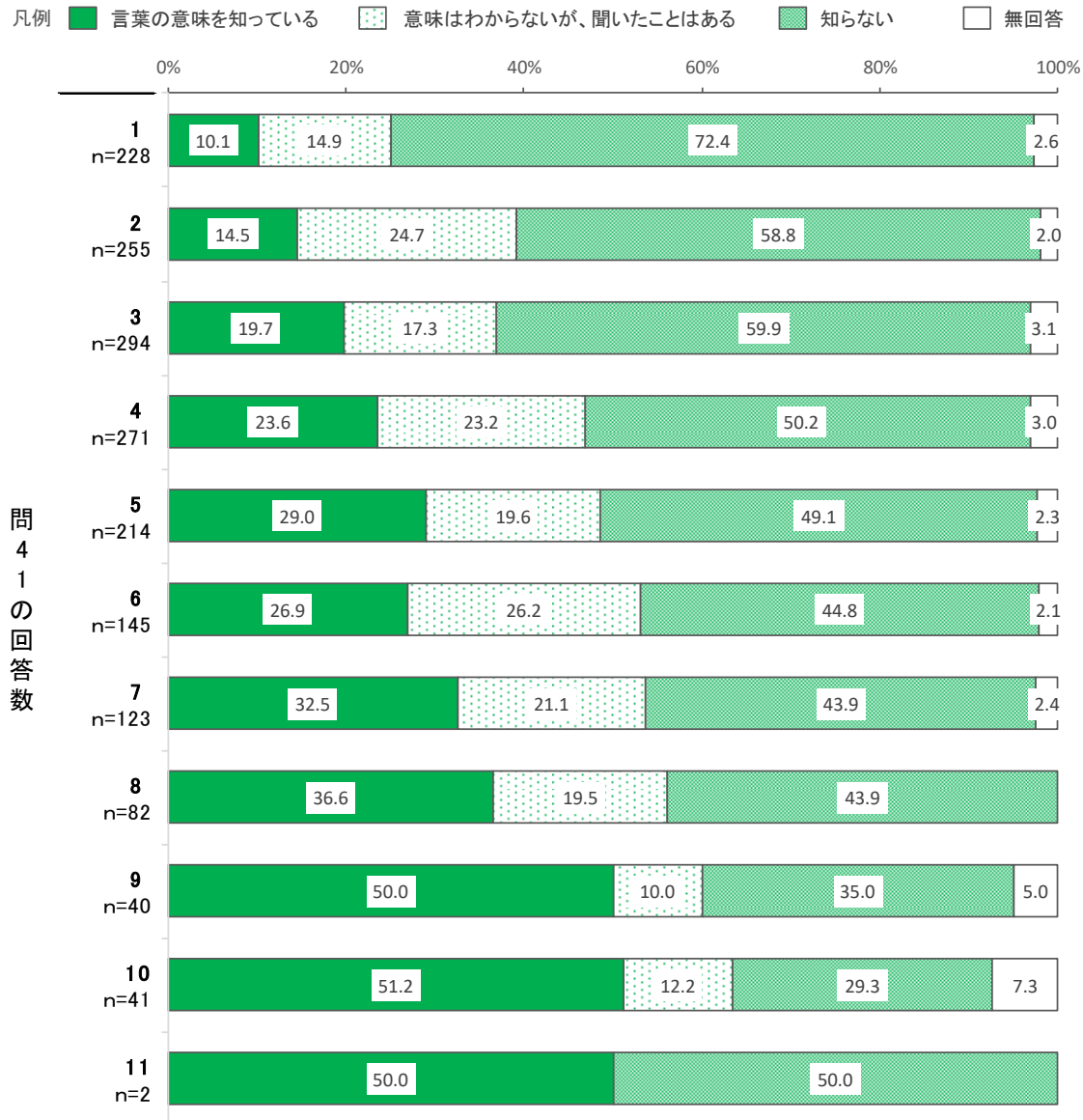
<「その他」の回答>

- 旅行や読書、カラオケなど楽しみを見つける
- 常にポジティブでいる、ストレスをためない
- 家族や仲間とよく会話をし、コミュニケーションをとる 等



「健幸」のために普段から心掛けていることの回答数と「健幸」の認知度をみると、回答数が多いほど「健幸」の認知度が高い傾向にあります。

図表 7 2 「健幸」のために普段から心掛けていることの回答数と「健幸」の認知度



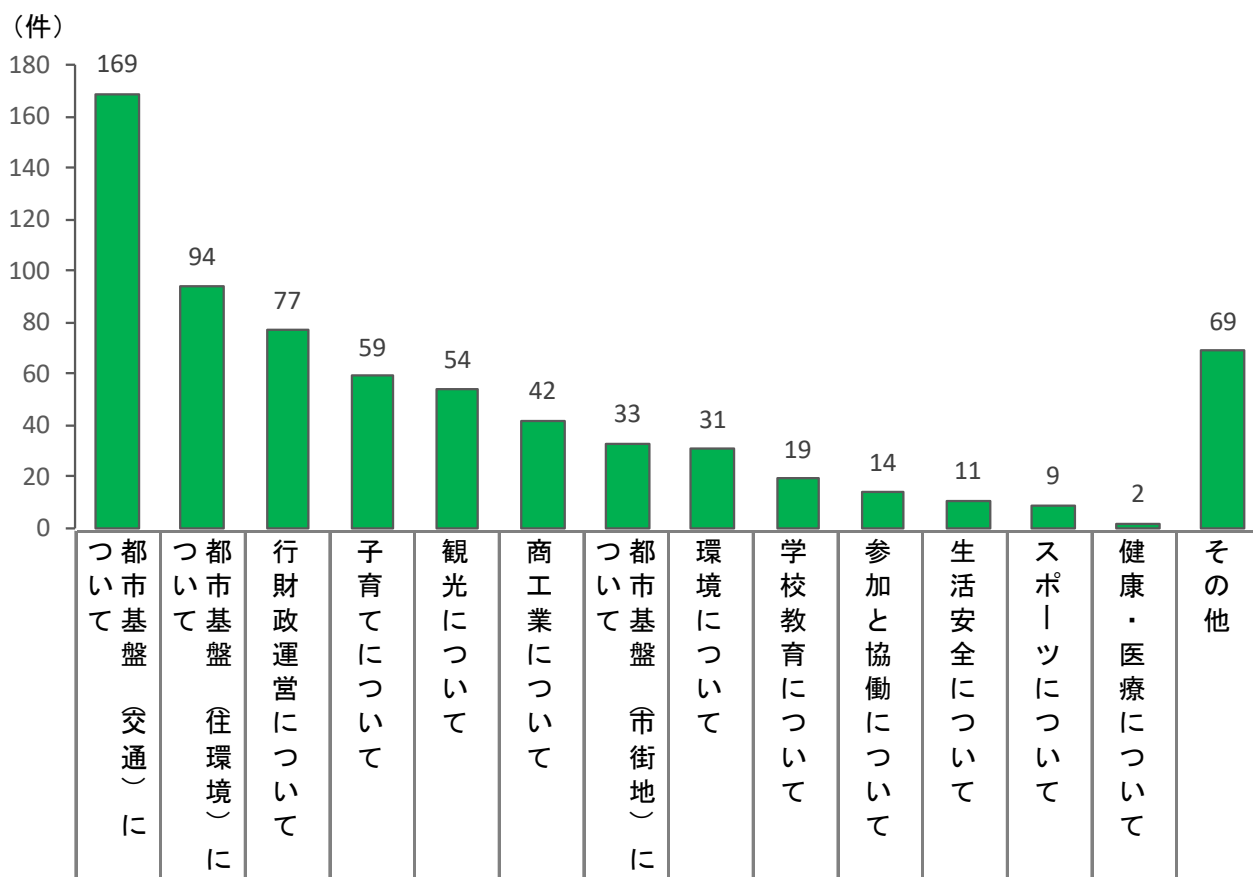
## 4 自由記入意見のまとめ

安城市の今後のまちづくりについて、計５８６人の方からの自由意見が寄せられ、延べ６８３件の意見が得られました。

### １． 自由記入意見の内訳

「都市基盤（交通）について」に関する内容が１６９件と最も多く、次いで「都市基盤（住環境）について」に関する内容が９４件、「行財政運営について」に関する内容が７７件、「子育てについて」に関する内容が５９件になっています。

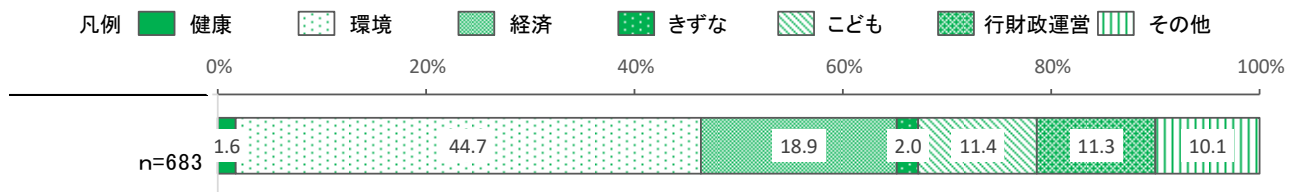
図表 7 3 自由記入意見の項目



施策分野別では、「環境」に関する内容が305件（44.7%）と最も多く、次いで「経済」に関する内容が129件（18.9%）、「こども」に関する内容が78件（11.4%）となっています。

図表 7 4 施策分野別自由記入意見の内訳

| 施策分野  | 件数  |
|-------|-----|
| 健康    | 11  |
| 環境    | 305 |
| 経済    | 129 |
| きずな   | 14  |
| こども   | 78  |
| 行財政運営 | 77  |
| その他   | 69  |
| 計     | 683 |



## 2. 主な意見

### ① 健康

#### ○健康について

##### 喫煙について

- 歩きたばこや公園での喫煙により、非喫煙者の健康が侵されていますが、市として何か活動してください。

#### ○スポーツについて

##### 運動施設の充実

- 家族で運動したいが団体利用が優先されすぎて個人利用できないことが多い。例えば多くの人が利用できるように土日のどちらかでもいいので、個人利用だけに開放するのはどうか。
- もっと幅広く興味深いスポーツの体験会をどんどんやってほしい。トランポリン、ボルダリング、スタックラインなど。託児有の講座がなくなり、スポーツセンターの講座も子ども内容が少なすぎると思います。平日の講座ばかりで利用ができない。

## ② 環境

### ○環境について

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ペットボトルごみに関して                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ ゴミの分別。ペットボトルの回収日もあると良い。高齢世帯だけの家庭ではリサイクルステーションに持っていく事も出来ないため。</li><li>・ ゴミの出し方についてお願いがあります。安城市ではペットボトルはスーパーなどに出すようになっていますが、ゴミステーションにも出せるようにしてほしいです。あちこち持っていくのが大変です。以前、住んでいた名古屋市では火曜にプラ、缶、スチール、びんとまとめて捨てられてとても便利でした。安城に来てからゴミ捨てが難しくストレスが溜まってしまいます。スーパーでもペットボトルの他にスチール缶、びんも出せると便利かと思います。改善されたらとても生活しやすくなると思います。</li></ul> |
| 鳥のフン害など                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 鳥の集団による騒音やフンの害が出ています。対策を行ってください。</li></ul>                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| ポイ捨てに関して                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ ゴミ・空き缶・たばこの吸い殻・ペットボトルのポイ捨てが多いため、市民全員で知恵を絞って看板も増やしてほしい。</li></ul>                                                                                                                                                                                                                                                       |
| ペットについて                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 猫の放し飼いが無くなると良い。犬・猫のフン対策。</li><li>・ 子どもとよく公園に遊びに行きますが、他の市などに比べて安城市は公園がたくさんあるし、遊具などもそろっていると思います。しかし犬のフンなどが多いことが残念です。公園以外の歩道や家の前にもフンがあったり、タバコの吸い殻が落ちていたりするので、そういった人たちが減ったら嬉しいです。</li></ul>                                                                                                                                |
| ごみ集積所について                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ ゴミ集積所すべてを金網にしてほしい(ゴミ散乱防止のため)。</li><li>・ ゴミ集積所が遠くて不便で将来不安です。歩ける距離じゃない。交通量の多い道路を横断しなければならない。誰もが歩いて行ける距離の場所か、各戸の玄関先に置いて集めてもらえるようにしてほしい。現在、わざわざ車でおきに行く高齢者もいる。(私は自転車)小グループか家の前だと責任もって分別して出すことが徹底できると思う。今はまだ分別守らない人多い。税金を、誰もが必要なゴミ処理に使ってほしい！！</li></ul>                                                                      |

### ○都市基盤（住環境）について

|                                                                                                                                                                         |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 歩道の整備                                                                                                                                                                   |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 安全な歩道を作ってください。</li><li>・ 自転車利用の拡充とともに歩道の整備も進めていただきたい。特に新安城駅横の踏切等、日頃危険を感じる場所が未だ多くあると感じています。</li></ul>                            |
| 街路樹の整備                                                                                                                                                                  |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 道路の歩道の清掃(雑草を取り除く)が行き届くといいと思います。</li><li>・ 街路樹がどんどん伐採されて少しさみしすぎる。秋のシーズンには丸ハゲ状態で物悲しいです。緑化というならもっと見て楽しめる、そんなまちづくりをしてほしい。</li></ul> |

|          |                                                                                                                                                                    |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 公園の整備    |                                                                                                                                                                    |
| ▪        | 児童館は安城は多いので、たまに利用させていただいてます。公園も多いのは、子を持つ親としてはすごくありがたいです。他の町よりはかなりいいと思ってます。なので特にありませんが、強いて言えば、公園などのトイレを和式ではなく洋式も作ってほしい。小さい子どもはできないので、トイレ探しも困ります。                    |
| ▪        | 公園の整備をしてほしいです。グラウンドがある公園なら何を目的として使用するのか明確にしてほしいです。野球をしてはいけないという決まりがあるのなら、立札の設置や学校へ子どもにルールを守るよう呼びかけをしっかりとしてほしいです。囲いを全面ネットで囲い、ボールなどが簡単に外へ出ないようにしてほしいです。子どもの飛び出しも危ない。 |
| ▪        | 公園がたくさんあって整備もされている。とてもきれいに使うことができるのはすばらしいと思うが、駐車場は少ないと思う。グラウンドなど併設されている公園はもう少し駐車場の数があると利用しやすいと思う。                                                                  |
| 街灯設置について |                                                                                                                                                                    |
| ▪        | 通学路と駅までの主要道に街灯設置を推進してほしい。自転車による通勤・通学に安心と安全を高めてほしい。                                                                                                                 |
| ▪        | 中学校、高校の周りの街灯が少なく、生徒の帰り道が暗く、防犯のためにももう少し増やしてほしいです。                                                                                                                   |
| 下水道について  |                                                                                                                                                                    |
| ▪        | 下水整備を早めにお願したい。                                                                                                                                                     |
| ▪        | 下水道や都市ガスの地域拡大をしてもらえるといいなと思う。(小さい町内は色々と不便に感じるくらい整備が整っていないと思う)                                                                                                       |
| 市営住宅     |                                                                                                                                                                    |
| ▪        | 市営住宅などに気軽に入居できるシステムづくり。                                                                                                                                            |

## ○生活安全について

|          |                                                               |
|----------|---------------------------------------------------------------|
| 通学路の整備   |                                                               |
| ▪        | 通学路の安全の整備など。交通規制などが正しく行われているか、一方通行、時間帯規制など今一度確認を。             |
| ミラーの設置希望 |                                                               |
| ▪        | 子どもたちの安全を考えてカーブミラーも増やしてほしい。申請をしてもなかなか行動に出てくれない。事が起きてからでは遅すぎる。 |
| 路上駐車     |                                                               |
| ▪        | 路上駐車が多く危ないので、巡回等を増やし改善してほしい。                                  |

## ○都市基盤（交通）について

|                                                                                                                                                                                                                                   |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 自転車等専用道の整備                                                                                                                                                                                                                        |
| <ul style="list-style-type: none"><li>▪ 車道・自転車道・歩道と区別できている道路整備を希望します。これから数年後、車から自転車へ移動手段を変更していこうと思っている一人として。</li><li>▪ 自転車が好きでよく乗っています。安城は平坦で自転車には最適な土地柄だと思います。すでにサイクリングロード等は整備されていますが、もっと充実した「自転車にやさしい街」にしていだけたら嬉しいです。</li></ul> |
| 渋滞に関して                                                                                                                                                                                                                            |
| <ul style="list-style-type: none"><li>▪ 渋滞の緩和に積極的に取り組んでほしい。</li><li>▪ 無理かもしれませんが、名鉄新安城駅付近の渋滞をなくすための策を講じていただきたいと思います。安城はとても住みやすく良い街だと思っています。いつまでもこの住みやすさが続くことを望んでおります。</li></ul>                                                   |
| あんくるバスについて                                                                                                                                                                                                                        |
| <ul style="list-style-type: none"><li>▪ あんくるバスなど、もっと時間や路線を増やして、色々な所へ行けるようになるといいです。</li><li>▪ あんくるバスのバス停がどこにあるのか、どこへ向かうのか分かりづらいです。</li></ul>                                                                                       |
| 高齢者のための交通機関                                                                                                                                                                                                                       |
| <ul style="list-style-type: none"><li>▪ 老人の自動車免許の返納推進をする。そのための交通機関の拡充が必要と思う。</li><li>▪ 私たちの世代が 75 歳を過ぎると運転できなくなります。交通の便をもっと充実してください。外に出なくなるとますますボケる気がします。</li></ul>                                                               |
| 駅までのアクセス                                                                                                                                                                                                                          |
| <ul style="list-style-type: none"><li>▪ 新安城駅から三河安城までのバスが無いから不便！</li><li>▪ 名鉄とJRの駅とのアクセスをよくしてほしい。</li></ul>                                                                                                                        |

### ③ 経済

#### ○商工業について

|                                                                                                                                                                                                                                                   |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 商店街の活性化                                                                                                                                                                                                                                           |
| <ul style="list-style-type: none"><li>安城駅周辺の商店街を活性化してほしいです。公共施設はどんどん立派になっていきますが、個人商店が寂しい感じがするので元気なまちづくりを目指してほしいです。</li><li>朝日町・日の出町の開発。路上駐車が前提の店舗ばかりが立ち並ぶ商店街は利用しづらいし、販売力・商品力の低い店舗ばかりなので地元の人にとってもさしてメリットは無いし、ましてや外からの顧客獲得は望むべくもないので先が暗い。</li></ul> |
| 魅力ある施設がほしい                                                                                                                                                                                                                                        |
| <ul style="list-style-type: none"><li>デンパーク以外にも見所があると良い。市外、県外の人にお勧めのスポットや店を聞かれても思い浮かばない。</li><li>大手ショッピングモールと言った、地域発展に繋がるような施設の建設を増やしてほしい。</li></ul>                                                                                              |

#### ○観光について

|                                                                                                                                                                                                                                                  |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 娯楽施設の増設希望                                                                                                                                                                                                                                        |
| <ul style="list-style-type: none"><li>美術館や音楽ホールなど心を豊かにする施設を希望します。</li><li>豊田市の鞍ヶ池公園の豊田市地域文化広場のように雨の日でも遊べる施設があるといい。</li></ul>                                                                                                                     |
| デンパークについて                                                                                                                                                                                                                                        |
| <ul style="list-style-type: none"><li>デンパークについて、花と緑がたくさんあって、子どもと歩くのにとっても良い環境だと思います。ありがとうございます。ただ、子どもが遊べる遊具がもう少しあるといいと思いました。</li><li>結婚を機に安城市に来て感じたことは、花があちこちに植えてあって、明るい街だと思います。住んでいても地元のテーマパーク(デンパーク)の市民特別入園券(年2回)を広報によりもらえると出かけやすいです。</li></ul> |
| イベント開催希望                                                                                                                                                                                                                                         |
| <ul style="list-style-type: none"><li>安城市は新幹線があって、交通関係でとても住みやすいです。あとは岡崎市みたいな花見や花火大会等のイベントがあれば最高！七夕まつりのほかにも季節イベントが欲しいです。</li><li>子育て世代に対するイベントを増やしてほしい。0歳～1歳までが遊べる施設をもっと充実させてほしい。</li></ul>                                                       |
| 七夕まつりについて                                                                                                                                                                                                                                        |
| <ul style="list-style-type: none"><li>七夕まつりの弱体化。テキ屋を追いつめたのは良いが、出店の数も激減し、そのほとんどが同じような食べ物の出店。”まつり”レベルではない。まつりのプロデュースをする専門家にアドバイスを求め、”まつり”としての本質を取り戻してほしい。</li></ul>                                                                                |
| 活気がない                                                                                                                                                                                                                                            |
| <ul style="list-style-type: none"><li>安城市全体的に活気がなく、夜は電気がついていないお店も少なく、行く所がない。もっと気合いのあるまちに復活してほしい。</li></ul>                                                                                                                                       |

○都市基盤（市街地）について

|           |                                                                                                                    |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 駅周辺の整備    |                                                                                                                    |
| ▪         | 南安城駅のバリアフリーを実現してほしいです。以前、足の不自由な叔母が安城コロナに映画を1人で観に電車で行こうと思ったらしいのですが、南安城駅の状態を考えた時にあの階段はきついと思い、泣く泣く行くのを諦めたと聞いたことがあります。 |
| ▪         | 若い人が多く、人口も増えて良いまちだと思います。駅前の整備が完成するとまちがもっと変わるでしょうか。時間はかかりそうですが。                                                     |
| 三河安城駅について |                                                                                                                    |
| ▪         | 三河安城駅に快速、新快速、区間快速の停車を希望します。                                                                                        |
| 駅周辺の開発    |                                                                                                                    |
| ▪         | 三河安城駅周辺の市街化促進。                                                                                                     |
| ▪         | 安城の駅前をもっと活性化させてほしい。店の閉店が多くひっそりとしています。                                                                              |



## ④ きずな

### ○参加と協働について

|                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 町内会について                                                                                                                                                                                                                                                         |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 子供会の強制度が強く、親の負担がとても大きいと思う。昔からの風習も大切だが、今の時代に合った変化が必要だと思う。</li><li>・ 人と関わる事を嫌う人が多くなっているせいか、町内会、子ども会などに入会する人が減ってきている中で、入会している人の負担が多くなっている。特に町内会に入会しないで町内に住み、ゴミを捨てたりしているのはどうかと思う。みんなで平等に住みよくできるよう市からも声かけして動いてほしい。</li></ul> |
| 地域のコミュニケーション                                                                                                                                                                                                                                                    |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 自分さえ良ければ…という人が増えている。上下左右のつながりを取ろうと思えるような行事を増やしていただきたい。例えば、町内清掃には家族で参加の推進とか訪問ボランティアとか…。</li><li>・ 老人としての意見ですが、個人がお互いを支え合って生きていくという考えができるような社会になることが大事だと思います。</li></ul>                                                   |
| マナー                                                                                                                                                                                                                                                             |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 畑などでの野焼きをきちんと取り締まってほしい。</li></ul>                                                                                                                                                                                       |

## ⑤ こども

### ○子育てについて

|              |                                                                                                                |
|--------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 放課後児童クラブについて |                                                                                                                |
| ・            | 児童クラブが定員ギリギリで申請時に遠いクラブに割り当てられるのではないかと、いつも心配になります。定員を増やす、民間のクラブを増やす等、利用しやすい環境を整えてほしいです。                         |
| ・            | 児童クラブでいろんな体験(講師を招いて英会話、工作、体操など選択制で)ができる様になってくれると本当に助かります。多少お金がかかっても構いません。                                      |
| 費用に関すること     |                                                                                                                |
| ・            | 保育園の無償化に取り組んでほしい。                                                                                              |
| ・            | 子どもが小さい頃はあまりお金はかかりません。進学する子ども達への資金サポートがあると助かります。                                                               |
| 仕事との両立       |                                                                                                                |
| ・            | 核家族の為、働きたくてもそれが制限されてしまっている現状があるため、一時保育の充実・学童の充実を更に図ってもらえると助かります。                                               |
| ・            | 子育て女性の再就職支援について興味があるのでもっとアピールしてください。自分も市が行っていることに関心を持っていけないといけないと思いました。                                        |
| 子育て支援サポート    |                                                                                                                |
| ・            | 第一子を市外で出産、第二子を安城市で出産し、講座や親同士が集まれる機会が増えて安城でよかったと思います。                                                           |
| ・            | 昨年出産し、子どもを持つ母親となって思うのは、安城市は子育てのサポートが色々整備されていて、子育てしやすい市だなということです。これからも子育て中のママさんをはじめ、子ども達へのサービスを強化して頂けたら嬉しく思います。 |
| 延長保育の希望      |                                                                                                                |
| ・            | 保育園での延長保育を増やしてほしいです。                                                                                           |
| 障がい児について     |                                                                                                                |
| ・            | 息子が発達障害です。もっとこういうタイプの子どもたちが社会でいきいきと活躍する場所を設けていただきたいと思います。まだ認知度が低いと感じています。                                      |

### ○学校教育について

|           |                                                                                                                                                             |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 学習環境の充実   |                                                                                                                                                             |
| ・         | 同居する小学校の孫たちをみていて、小・中学校の教育や部活動に子ども目線に立った新しい取り組みが欲しいと思います。                                                                                                    |
| ・         | 安城市は子育て支援はもう立派に充実しています。今後、小学校、中学校、そしてもう少しレベルの高い高校を安城市に増やすためにも、岡崎、刈谷に負けないようにもっと教育費に税金を使い、学校整備の充実、そしてもっと学力を高くしていかないと他市にどんどん負けていってしまいます。なんとか学校教育にお金をもっと使ってほしい。 |
| エアコンの設置希望 |                                                                                                                                                             |
| ・         | 公立学校にエアコンを設置してほしい。                                                                                                                                          |

## ⑥ 行財政運営

### ○行財政運営について

| 行財政運営について  |                                                                                                                                                                                   |
|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|            | <ul style="list-style-type: none"><li>▪ 不交付税団体になってもメリットは無いので、しっかりお金を使ってください。特に駅は市の玄関であり顔なので、しっかり整備してほしいと思います。</li></ul>                                                           |
|            | <ul style="list-style-type: none"><li>▪ 市役所の窓口業務や選挙の期日前投票などの待ち時間が長すぎる。人口に対する処理能力が不足しているように思えるので、効率化や分所の増設を検討してほしい。</li></ul>                                                      |
| わかりやすい情報発信 |                                                                                                                                                                                   |
|            | <ul style="list-style-type: none"><li>▪ 安城市は色々な事をやっているようですが、私たちの所まで何をやっているか伝わってない。誰にでもわかるように発信してほしい。</li></ul>                                                                    |
|            | <ul style="list-style-type: none"><li>▪ 市の取組みや実施している健幸、アンケートの内容について知らないことが多すぎる。勉強不足なのか、案内・広報不足なのかわからないが年に1回、数年に1回は案内冊子の配布、わかりやすいホームページ、その他の案内、広報の方法で誰でも情報がわかるようにしてください。</li></ul> |

## ⑦ その他

|           |                                                                                                                                                       |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 安城市について   |                                                                                                                                                       |
| ▪         | 安城は自然災害の無い環境的に住みやすい所。市民の皆様が何事にも協力的になれば、いつまでも住みやすい所であると思います。                                                                                           |
| ▪         | 安城市はとても住みやすく、心身ともに穏やかに暮らせます。子ども、老人はもちろんですが、働く若者のために、また、中高年の為にも、働く意欲がわく市政をよろしく願います。安城市民で良かったと思っています。                                                   |
| ▪         | 名古屋から移住して3年目ですが、子育てしやすく自然環境もあり、とても住みやすいです。土地を買い永住したいと思いますが、高く、諦めようかと思っています。もう少し安くと思いますが、安城の自然豊かな街並みが失われるなら仕方ないのかなと思います。とても良い街だと思います。                  |
| 市役所に関すること |                                                                                                                                                       |
| ▪         | まずは、市役所内の市民に対しての対応の態度を直してください。つっけんどんに返事をされたり、怒ったような顔で対応されると悲しくなります。また、マイナンバーの取り扱いが雑です。字が小さいからといって拡大コピーしている人がいました。その後、コピーは適切に処分されたのでしょうか。でも怖いから聞けないです。 |
| ▪         | 安城市役所は車も停められないくらい、駐車場が混むことがあります。その時、誘導のおじさんたちは立っているだけで整理をしません。駐車場を増やすのに限界があるのなら、せめて誘導はしっかりしてほしいです。色々書きましたが、ここに住んで良かったと思っています。                         |



安城市市民アンケート調査報告書

(平成30年度)

発行年月  
編集・発行



平成30年3月

安城市 企画部 企画情報課 企画政策係  
〒466-8501

愛知県安城市桜町18番23号

TEL 0566-76-1111 (代表) / 0566-71-2204 (直通)

FAX 0566-76-1112

e-mail:kikaku@city.anjo.lg.jp